資料番号: PS-10-12 改1

2018年3月5日日本原子力発電株式会社

東海第二発電所「可搬型重大事故等対処設備保管場所及びアクセスルートについて」 に係る入力データの適正化及び対策方針への影響確認について

1. 概要

東海第二発電所技術的能力まとめ資料 1.0.2「可搬型重大事故等対処設備保管場所及び アクセスルートについて」(以下「本審査資料」という。)において、アクセスルートへの 対策要否に係る評価等を実施している。

今般、「燃料有効長(TAF)誤り」(以下、「TAF誤り」という。)及び「東海第二発電所「可搬型重大事故等対処設備保管場所及びアクセスルートについて」におけるアクセスルートの対策実施箇所の修正について」(以下、「アクセスルートの対策実施箇所の修正」という。)の水平展開として実施した本審査資料に係る確認により、段差量評価に用いた建物等の路面高等の一部に本来の数値等と異なる箇所があり、適正化が必要となることを発見した。入力値の適正化を踏まえて再評価及び対策方針への影響確認を行った結果、評価結果の数値等の記載の適正化は必要であるものの、従来の対策方針に変更はない。(添付1)

なお、当該段差量の評価は、設置変更許可申請書の記載事項ではないが、2017 年 10 月 17 日の審査会合においてパワーポイント資料を用いて説明したものである。

2. アクセスルートの評価における数値の適正化

「TAF誤り」の水平展開として本審査資料を確認した結果,各建屋周囲の埋戻部の沈下量の算出とそれに基づくアクセスルートへの対策要否に係る評価において,2つの事象 (下記(1)及び(2)参照)で,建屋等が設置されている地盤標高(路面高)等の一部に入力値を適正化する必要があることを確認した。

また,「アクセスルートの対策実施箇所の修正」の水平展開として本審査資料を確認した結果,1つの事象(下記(3)参照)で,計算シートの入力の一部に本来の数式と異なる箇所を発見した。

さらに、上記の数値の入力の適正化に加え、設計の進捗等に伴って変更した数値を反映 した(下記(4)参照)。

なお、下記(1)~(3)における水平展開は、品質保証担当の指導のもと不適合処理の一環として実施している。

- (1)建屋等の設置されている地盤標高(路面高)の適正化…添付2
 - ①調査結果

本来は T.P.+11.0m 等とすべきところを T.P.+8.0m と入力していることを竣工図 等により確認した。

②原因

標高値の入力は平面図を参照しながら行ったが、平面図は標高の記載が十分でないことから、大部分のアクセスルートが分布する T.P.+8m 地盤と同一の標高と誤認したためである。標高値の入力データは、標高の十分な記載がされている竣工図、メーカ図書や現地確認データ等の標高値の信頼性の高い情報を用いて入力すべきであった。

②対策(本審査資料の記載の適正化) 本審査資料における上記データを適正化する。

③水平展開

TAF誤りの水平展開として,本審査資料に対し,竣工図,メーカ図書,現地確認データ等の信頼性の高い情報による数値の根拠の確認により,記載されている数値が正しいことの確認が実施されており,水平展開は実施済みである。

(2) 掘削範囲の評価の入力値の適正化…添付3

①調査結果

埋戻部の範囲を評価するための掘削範囲について、タービン建屋の掘削範囲が本 来の範囲と異なっていることを他の竣工図にて確認した。

②原因

タービン建屋の掘削範囲の入力にあたって、掘削形状の平面を示す竣工図から掘削範囲の寸法の値を読み取ったが、この竣工図の当該値を示す範囲の記述が不明瞭であったため、当該値がタービン建屋の掘削範囲の部分的な寸法値であることが分からなかった。入力データを掘削形状の断面を示す他の竣工図で確認したところ、当該値が本来の値ではないことを確認した。

③対策(本審査資料の記載の適正化) 本審査資料における上記データを適正化する。

④水平展開

TAF誤りの水平展開として、本審査資料に対し、竣工図、メーカ図書、現地確認データ等の信頼性の高い情報による数値の根拠の確認により、記載されている数値が正しいことの確認が実施されており、水平展開は実施済みである。また、念のため、本審査資料における各建屋の埋戻部の評価に用いた入力データについて確認した結果、他の数値については適切に入力されていることを確認した。

(3) 浮き上がり評価(計算シートの数式の入力)の適正化…添付4

①調査結果

地中埋設構造物の浮き上がり評価における計算シートを用いた計算に本来の引数(セル)と異なる引数(セル)を使用していることを確認した。

②原因

計算シート等を用いて評価を行った際、入力データのダブルチェックを実施したが、全数確認ではなく抜き取りで実施していたことから、確認に漏れが生じた。

③対策(本審査資料の記載の適正化) 本審査資料における上記データを適正化する。

④水平展開

「アクセスルートの対策実施箇所の修正」の水平展開として、本審査資料に対し、 計算シート等を用いて評価を行ったものについて、入力データのダブルチェックを 全数確認し、入力データが正しいことの確認が実施されており、水平展開は実施済 みである。

(4) 設計の進捗等に伴って変更した数値の反映

- ①建屋の基礎下端の数値の変更の反映…添付5 建屋の基礎下端の標高について、数値の丸め、既往建屋の比較により基礎高さを 設定した箇所の数値の精緻化等による変更を反映した。
- ②構造物等の損壊による屋外アクセスルートへの影響評価の変更反映…添付 6 構造物等の損壊による屋外アクセスルートへの影響評価について、アクセスルートに係る設計の進捗や構造物とアクセスルートまでの距離等の数値の精緻化を反映した。

3. 入力値の適正化を踏まえた再評価及び対策方針への影響確認

前述のアクセスルートの評価における入力データの適正化を踏まえたアクセスルートの再評価及び対策方針への影響確認を行った。

(1)アクセスルートの段差量評価(地山と埋戻部の境界 建屋)…添付2,3

入力データの適正化により、アクセスルートに想定される段差量(埋戻部の沈下量)を再評価した結果、アクセスルートへの影響があり、かつ埋戻部の沈下量が15cm以上として詳細評価が必要となる施設について、新たにNo.10 タービン建屋を抽出した。このため、No.10 タービン建屋について詳細評価を行った結果、地山と埋戻部の境界に段差はなく、横断勾配も2.0%程度であり、可搬型設備の通行に影響はないことを確認した。なお、アクセスルートの当該範囲は地震時に使用しないルートである。

また、それ以外の入力データを適正化した 54 施設については、埋戻部の沈下量の数値等の記載の適正化は必要であるが、アクセスルートの通行に影響はないことを確認している。

以上から、新たな対策が必要な箇所はないことを確認した。

(2) 地中埋設構造物の浮き上がり評価…添付4

入力データの適正化により、地中埋設構造物の浮き上がりについて再評価を行った 結果、浮き上がりに対する安全率について数値の記載の適正化は必要なものの、新た に浮き上がり対策が必要な箇所はないことを確認した。

(3) 構造物等の損壊による屋外アクセスルートへの影響評価の変更反映…添付 6 構造物等の損壊による屋外アクセスルートへの影響評価について,設計の進捗等の 変更を反映し再評価を行った結果,影響評価結果の数値は変わるものの,新たな対策 が必要な箇所はないことを確認した。

上記の通り、前述のアクセスルートの評価における入力データの適正化を踏まえたアクセスルートへの対策要否の再評価を行った結果、従来のアクセスルートの対策方針に変更はない。

4. まとめ

「TAF誤り」及び「アクセスルートの対策箇所の修正」の水平展開による記載内容の確認の結果、本審査資料において 3 つの事象で入力データを適正化する必要が確認された。設計の進捗等に伴う変更の反映も含め、適正化を踏まえたアクセスルートへの対策要否の再評価を行った結果、いずれも本審査資料について一部の記載の適正化が必要なものの、従来のアクセスルートの対策方針に変更はないことを確認した。

5. 添付資料

- 添付1 「TAF誤り」及び「アクセスルートの対策箇所の修正」の水平展開による確認 結果
- 添付2 建屋等の設置されている地盤標高(路面高)の適正化について
- 添付3 掘削範囲の評価の入力値の適正化について
- 添付4 浮き上がり評価(計算シートの数式の入力)の適正化について
- 添付5 建屋の基礎下端の数値の変更反映について
- 添付6 構造物等の損壊による屋外アクセスルートへの影響評価の変更反映について

以上

「TAF誤り」及び「アクセスルートの対策箇所の修正」の水平展開による確認結果

	項 目	確認対象の数値			当項目:			確認資料等	数値の	対策方針等の	特記事
			TAF	1	2	3	4	HEI心 只で1寸	見直し要否※2	変更要否※2	14,004
	かに	_									1
1	新規制基準への適合状況								1		1
ا ِ ر	「実用発電用原子炉及びその附属設備の位置、										
	構造及び設備の基準に関する規則」第四十三	_									
	条(重大事故等対処設備)										
	「実用発電用原子炉及びその附属施設の技術										
1.2	基準に関する規則」第五十四条(重大事故等対	_									
	処設備)										
	保管場所の設定及びアクセスルートの設定の考										+
	え方	_									
2 1	概要	-						·図面	×	×	+
		•標高	0					- 区間			+
2.2	基本方針	_									+
		·敷地位置	0					・既許可記載値	×	×	
2.3	東海第二発電所の特徴	・標高	0					•図面	×	×	
		・津波高さ	0					•解析結果	×	×	
	保管場所の設定	•標高	0					- 図面	×	×	
2.5	屋外アクセスルートの設定	・標高	0					•図面	×	×	
	屋内アクセスルートの設定	_									
7	東海発電所の廃止措置の影響	_							1		1
	保管場所及びアクセスルートの自然現象等に対					-			1		1
3		_									
	9 句影響評価								+		+
	自然現象	_							-		1
.2	外部人為事象	<u>-</u>							ļ		
3	屋内外作業に係る成立性評価の概要	·標高	0					•図面	×	×	
.ن	/エr コノ゙IF末に ホの 火ユ 江計 ツ帆女	·津波浸水範囲	0					•解析結果	×	×	
4	保管場所の影響評価	_									
	保管場所における主要可搬型設備等	_									
\neg		·標高	0					·図面	×	×	1
.2	地震、津波による保管場所への影響評価概要	·津波浸水範囲	10					・解析結果	×	×	+
-	·								+		+
		·標高	Ŏ					•図面	×	×	1
-		·送電鉄塔倒壊範囲	0					•図面	×	×	1
I		・斜面の勾配・高さ	0		0			•図面	×	×	
		・液状化による沈下率	0					- 文献	×	×	
		・揺すり込み沈下率					$\overline{\circ}$	・解析結果、計算シート入力値	×	×	
		・地層厚さ	0		0			・地質断面図	×	×	
2	地震による保管場所の影響評価	·地下水位	_					・調査結果	×	×	+
٦	地辰による休日物所の影音計画	- 地下水位 - 残留変位									_
								•解析結果	×	×	
		・保管エリアの幅	0					• 図面	×	×	
		・保管エリアの沈下量・傾斜					<u> </u>	・計算シート入力値	×	×	
		•鉛直最大応答加速度						・解析結果	×	×	
		·鉛直震度係数					0	・計算シート入力値	×	×	
		・地震時接地圧		0			Ō	・計算シート入力値	×	×	
5	屋外アクセスルートの評価	_							·		
5 1	アクセスルートの概要	_									1
'. ' 	地震及び津波時におけるアクセスルートの復旧										+
.2	地展及の洋水時におけるアプピスルードの後山	_									
	時間評価										+
).ও	地震による被害想定の方針,対応方針										
		•送電鉄塔倒壊範囲	0					•図面	×	×	
		・可燃物施設内容物の容量	0					•図面	×	×	
1		薬品タンク内容物容量等	0					•図面	×	×	
		・水タンク容量等	Ō					·図面	×	×	
-		対象物からアクセスルートまで							,	Ü	1
		の離隔距離	0					・CAD読み取り値	×	×	
		•標高	0					•図面	×	×	
		1x n			0	-		·図面	×	×	
		・斜面の勾配・高さ	Ŏ								1
		・斜面の勾配・高さ	0					• 文献	×	×	
		・斜面の勾配・高さ ・液状化による沈下率	0		U			・文献・図面	×	×	
.4	地震時の被害想定	・斜面の勾配・高さ ・液状化による沈下率 ・埋設構造物の路面高	0					•図面	×	×	
.4	地震時の被害想定	・斜面の勾配・高さ ・液状化による沈下率 ・埋設構造物の路面高 ・埋設構造物の下端高さ	000		0			・図面・図面	× × ×	×	
.4	地震時の被害想定	・斜面の勾配・高さ ・液状化による沈下率 ・埋設構造物の路面高 ・埋設構造物の下端高さ ・埋設構造物の寸法	0	0		0		·図面 ·図面 ·図面	× × ×	× × ×	
.4	地震時の被害想定	・斜面の勾配・高さ ・液状化による沈下率 ・埋設構造物の路面高 ・埋設構造物の下端高さ ・埋設構造物の寸法 ・埋設構造物の相対沈下量	000	0	0			・図面・図面・図面・計算シート入力値	× × × × ×	× × × ×	
.4	地震時の被害想定	・斜面の勾配・高さ ・液状化による沈下率 ・埋設構造物の路面高 ・埋設構造物の下端高さ ・埋設構造物の寸法 ・埋設構造物の相対沈下量 ・埋設構造物の浮き上がり評価	000	0	0			·図面 ·図面 ·図面	× × ×	× × ×	添付4参照
.4	地震時の被害想定	・斜面の勾配・高さ ・液状化による沈下率 ・埋設構造物の路面高 ・埋設構造物の下端高さ ・埋設構造物の寸法 ・埋設構造物の村対沈下量 ・埋設構造物の浮き上がり評価 ・埋戻部の沈下量評価(埋設構	000	0	0		Ŏ	・図面 ・図面 ・図面 ・計算シート入力値 ・計算シート入力値	x x x x x	× × × × × × ×	添付4参照
.4	地震時の被害想定	・斜面の勾配・高さ ・液状化による沈下率 ・埋設構造物の路面高 ・埋設構造物の下端高さ ・埋設構造物の寸法 ・埋設構造物の付法 ・埋設構造物の相対沈下量 ・埋設構造物の浮き上がり評価 ・埋戻部の沈下量評価(埋設構 造物)	00000	0	0		Ŏ	・図面・図面・図面・計算シート入力値・計算シート入力値・計算シート入力値	x x x x x O	× × × × × ×	
.4	地震時の被害想定	・斜面の勾配・高さ ・液状化による沈下率 ・埋設構造物の路面高 ・埋設構造物の下端高さ ・埋設構造物の寸法 ・埋設構造物の村対沈下量 ・埋設構造物の浮き上がり評価 ・埋戻部の沈下量評価(埋設構	0000	0	0		Ŏ	・図面 ・図面 ・図面 ・計算シート入力値 ・計算シート入力値 ・計算シート入力値 ・図面	x x x x x	× × × × × × ×	添付2参照
.4	地震時の被害想定	・斜面の勾配・高さ ・液状化による沈下率 ・埋設構造物の路面高 ・埋設構造物の下端高さ ・埋設構造物の寸法 ・埋設構造物の付法 ・埋設構造物の相対沈下量 ・埋設構造物の浮き上がり評価 ・埋戻部の沈下量評価(埋設構 造物)	00000	0	0 0		Ŏ	・図面・図面・図面・計算シート入力値・計算シート入力値・計算シート入力値	x x x x x O	× × × × × ×	
.4	地震時の被害想定	・斜面の勾配・高さ ・液状化による沈下率 ・埋設構造物の路面高 ・埋設構造物の下端高さ ・埋設構造物の寸法 ・埋設構造物の付対沈下量 ・埋設構造物の評さ上がり評価 ・埋戻部の沈下量評価(埋設構造物) ・建屋の路面高	0000	0	0		0	・図面 ・図面 ・図面 ・計算シート入力値 ・計算シート入力値 ・計算シート入力値 ・図面	x x x x x O	× × × × × × ×	添付2参照
4	地震時の被害想定	・斜面の勾配・高さ ・液状化による沈下率 ・埋設構造物の路面高 ・埋設構造物の下端高さ ・埋設構造物の寸法 ・埋設構造物の寸法 ・埋設構造物の相対沈下量 ・埋設構造物の浮き上がり評価 ・埋戻部の沈下量評価(埋設構造物) ・建屋の路面高 ・建屋の基礎下端高さ	0000	0	0 0		0	 ・図面 ・図面 ・図面 ・計算シート入力値 ・計算シート入力値 ・計算シート入力値 ・図面 ・図面 ・図面 	x x x x x O x	× × × × × × × × ×	添付2参照添付5参照
		・斜面の勾配・高さ ・液状化による沈下率 ・埋設構造物の路面高 ・埋設構造物の下端高さ ・埋設構造物の寸法 ・埋設構造物の寸法 ・埋設構造物の利対沈下量 ・埋設構造物の浮き上がり評価 ・埋戻部の沈下量評価(埋設構造物) ・建屋の路面高 ・建屋の基礎下端高さ ・建屋の基礎掘削影響範囲 ・埋戻部の沈下量評価(建屋)	0000	0	0 0		0	・図面 ・図面 ・計算シート入力値 ・計算シート入力値 ・計算シート入力値 ・図面 ・図面,調査結果 ・図面,計算シート入力値 ・計算シート入力値	x x x x x 0 x 0 0 0	× × × × × × × × × × × ×	添付2参照 添付5参照 添付3参照
		・斜面の勾配・高さ ・液状化による沈下率 ・埋設構造物の路面高 ・埋設構造物の下端高さ ・埋設構造物の寸法 ・埋設構造物の可法 ・埋設構造物の河き上がり評価 ・埋戻部の沈下量評価(埋設構造物) ・建屋の路面高 ・建屋の基礎下端高さ ・建屋の基礎掘削影響範囲 ・埋戻部の沈下量評価(建屋) ・標高	00000	0	0 0		0	・図面 ・図面 ・計算シート入力値 ・計算シート入力値 ・計算シート入力値 ・図面 ・図面, 調査結果 ・図面, 計算シート入力値 ・計算シート入力値 ・図面	x x x x x 0 x 0 0 x 0 0 0 x	× × × × × × × × × × × × ×	添付2参照 添付5参照 添付3参照
E	地震時及び津波時におけるアクセスルートの復	・斜面の勾配・高さ ・液状化による沈下率 ・埋設構造物の路面高 ・埋設構造物の下端高さ ・埋設構造物の寸法 ・埋設構造物の寸法 ・埋設構造物の引き上がり評価 ・埋設構造物の浮き上がり評価 ・埋戻部の沈下量評価(埋設構造物) ・建屋の路面高 ・建屋の基礎下端高さ ・建屋の基礎掘削影響範囲 ・埋戻部の沈下量評価(建屋) ・標高 ・移動距離	0000	0	0 0		0	・図面 ・図面 ・計算シート入力値 ・計算シート入力値 ・計算シート入力値 ・図面 ・図面,調査結果 ・図面,計算シート入力値 ・計算シート入力値	x x x x x 0 x 0 0 0	× × × × × × × × × × × ×	添付2参照 添付5参照 添付3参照
E		・斜面の勾配・高さ ・液状化による沈下率 ・埋設構造物の路面高 ・埋設構造物の下端高さ ・埋設構造物の寸法 ・埋設構造物の可法 ・埋設構造物の浮き上がり評価 ・埋戻部の沈下量評価(埋設構造物) ・建屋の路面高 ・建屋の基礎下端高さ ・建屋の基礎掘削影響範囲 ・埋戻部の沈下量評価(建屋) ・標高 ・移動距離 ・移動速度、撤去速度、所要時	00000	0	0 0		0 0	・図面 ・図面 ・計算シート入力値 ・計算シート入力値 ・計算シート入力値 ・図面 ・図面, 調査結果 ・図面, 計算シート入力値 ・計算シート入力値 ・図面	x x x x x 0 x 0 0 x 0 0 0 x	× × × × × × × × × × × × ×	添付2参照 添付5参照 添付3参照
.5	地震時及び津波時におけるアクセスルートの復 旧時間評価結果	・斜面の勾配・高さ ・液状化による沈下率 ・埋設構造物の路面高 ・埋設構造物の下端高さ ・埋設構造物の寸法 ・埋設構造物の可対沈下量 ・埋設構造物の浮き上がり評価 ・埋民部の沈下量評価(埋設構造物) ・建屋の路面高 ・建屋の基礎下端高さ ・建屋の基礎掘削影響範囲 ・埋戻部の沈下量評価(建屋) ・標高 ・移動距離 ・移動速度、撤去速度、所要時間、累積時間	00000	0	0 0		0 0 0 0	・図面 ・図面 ・計算シート入力値 ・計算シート入力値 ・計算シート入力値 ・図面 ・図面 ・図面 ・図面 ・図面 ・図面 ・公園 ・計算シート入力値 ・計算シート入力値 ・計算シート入力値	x x x x x x 0 0 0 0 0 0 x x	x x x x x x x x x x x x x x x x x x	添付2参照 添付5参照 添付3参照
.5	地震時及び津波時におけるアクセスルートの復	・斜面の勾配・高さ ・液状化による沈下率 ・埋設構造物の路面高 ・埋設構造物の下端高さ ・埋設構造物の可法 ・埋設構造物の可法 ・埋設構造物の相対沈下量 ・埋設構造物の深き上がり評価 ・埋戻部の沈下量評価(埋設構造物) ・建屋の路面高 ・建屋の路面高 ・建屋の基礎下端高さ ・建屋の基礎掘削影響範囲 ・埋戻部の沈下量評価(建屋) ・標高 ・移動距離 ・移動速度、撤去速度、所要時間、累積時間 ・アクセスルート復旧時間、作業	00000	0	0 0		0 0 0 0	・図面 ・図面 ・計算シート入力値 ・計算シート入力値 ・計算シート入力値 ・図面 ・図面 ・図面 ・図面 ・図面 ・図面 ・図面 ・図面 ・公園 ・公園 ・公園 ・CAD ・図面	x x x x x x 0 0 0 0 0 0 x x	x x x x x x x x x x x x x x x x x x	添付2参照 添付5参照 添付3参照
.5	地震時及び津波時におけるアクセスルートの復 旧時間評価結果 屋外作業の成立性	・斜面の勾配・高さ ・液状化による沈下率 ・埋設構造物の路面高 ・埋設構造物の下端高さ ・埋設構造物の可法 ・埋設構造物の可法 ・埋設構造物の利対沈下量 ・埋設構造物の浮き上がり評価 ・埋戻部の沈下量評価(埋設構造物) ・建屋の路面高 ・建屋の基礎下端高さ ・建屋の基礎掘削影響範囲 ・埋戻部の沈下量評価(建屋) ・移動距離 ・移動速度・撤去速度,所要時間、累積時間 ・アクセスルート復旧時間,作業時間	00000	0	0 0		0 0 0 0	・図面 ・図面 ・計算シート入力値 ・計算シート入力値 ・計算シート入力値 ・図面 ・図面 ・図面 ・図面 ・図面 ・図面 ・公園 ・計算シート入力値 ・計算シート入力値 ・計算シート入力値	x x x x x 0 x 0 x 0 0 0 0 0 x x	x x x x x x x x x x x x x x x x x x	添付2参照 添付5参照 添付3参照
.5	地震時及び津波時におけるアクセスルートの復 旧時間評価結果 屋外作業の成立性 屋内アクセスルートの評価	・斜面の勾配・高さ ・液状化による沈下率 ・埋設構造物の路面高 ・埋設構造物の下端高さ ・埋設構造物の寸法 ・埋設構造物の可法 ・埋設構造物の相対沈下量 ・埋設構造物の浮き上がり評価 ・埋戻部の沈下量評価(埋設構造物) ・建屋の路面高 ・建屋の路面高 ・建屋の基礎下端高さ ・建屋の基礎掘削影響範囲 ・埋戻部の沈下量評価(建屋) ・標高 ・移動距離 ・移動速度、撤去速度、所要時間、累積時間 ・アクセスルート復旧時間、作業時間	00000	0	0 0		0 0 0 0	・図面 ・図面 ・計算シート入力値 ・計算シート入力値 ・計算シート入力値 ・図面 ・図面 ・図面 ・図面 ・図面 ・図面 ・公園 ・計算シート入力値 ・計算シート入力値 ・計算シート入力値	x x x x x 0 x 0 x 0 0 0 0 0 x x	x x x x x x x x x x x x x x x x x x	添付2参照 添付5参照 添付3参照
.5	地震時及び津波時におけるアクセスルートの復旧時間評価結果 屋外作業の成立性 屋内アクセスルートの評価 影響評価対象	・斜面の勾配・高さ ・液状化による沈下率 ・埋設構造物の路面高 ・埋設構造物の下端高さ ・埋設構造物の可法 ・埋設構造物の可法 ・埋設構造物の利対沈下量 ・埋設構造物の浮き上がり評価 ・埋戻部の沈下量評価(埋設構造物) ・建屋の路面高 ・建屋の基礎下端高さ ・建屋の基礎掘削影響範囲 ・埋戻部の沈下量評価(建屋) ・移動距離 ・移動速度・撤去速度,所要時間、累積時間 ・アクセスルート復旧時間,作業時間	00000	0	0 0		0 0 0 0	・図面 ・図面 ・計算シート入力値 ・計算シート入力値 ・計算シート入力値 ・図面 ・図面 ・図面 ・図面 ・図面 ・図面 ・公園 ・計算シート入力値 ・計算シート入力値 ・計算シート入力値	x x x x x 0 x 0 x 0 0 0 0 0 x x	x x x x x x x x x x x x x x x x x x	添付2参照 添付5参照 添付3参照
5 6 6 1 2	地震時及び津波時におけるアクセスルートの復旧時間評価結果 屋外作業の成立性 屋内アクセスルートの評価 影響評価対象 評価方法	・斜面の勾配・高さ ・液状化による沈下率 ・埋設構造物の路面高 ・埋設構造物の下端高さ ・埋設構造物の寸法 ・埋設構造物の可法 ・埋設構造物の相対沈下量 ・埋設構造物の浮き上がり評価 ・埋戻部の沈下量評価(埋設構造物) ・建屋の路面高 ・建屋の路面高 ・建屋の基礎下端高さ ・建屋の基礎掘削影響範囲 ・埋戻部の沈下量評価(建屋) ・標高 ・移動距離 ・移動速度、撤去速度、所要時間、累積時間 ・アクセスルート復旧時間、作業時間	00000	0	0 0		0 0 0 0	・図面 ・図面 ・計算シート入力値 ・計算シート入力値 ・計算シート入力値 ・図面 ・図面 ・図面 ・図面 ・図面 ・図面 ・公園 ・計算シート入力値 ・計算シート入力値 ・計算シート入力値	x x x x x 0 x 0 x 0 0 0 0 0 x x	x x x x x x x x x x x x x x x x x x	添付2参照 添付5参照 添付3参照
.5 .6 6 .1 .2	地震時及び津波時におけるアクセスルートの復旧時間評価結果 屋外作業の成立性 屋内アクセスルートの評価 影響評価対象 評価方法 現場確認による評価	・斜面の勾配・高さ ・液状化による沈下率 ・埋設構造物の路面高 ・埋設構造物の下端高さ ・埋設構造物の可法 ・埋設構造物の可法 ・埋設構造物の相対沈下量 ・埋設構造物の深き上がり評価 ・埋戻部の沈下量評価(埋設構造物) ・建屋の路面高 ・建屋の基礎下端高さ ・建屋の基礎掘削影響範囲 ・埋戻部の沈下量評価(建屋) ・標高 ・移動距離 ・移動速度、撤去速度、所要時間、累積時間 ・アクセスルート復旧時間、作業時間	00000	0	0 0		0 0 0 0	・図面 ・図面 ・計算シート入力値 ・計算シート入力値 ・計算シート入力値 ・図面 ・図面 ・図面 ・図面 ・図面 ・図面 ・公園 ・計算シート入力値 ・計算シート入力値 ・計算シート入力値	x x x x x 0 x 0 x 0 0 0 0 0 x x	x x x x x x x x x x x x x x x x x x	添付2参照 添付5参照 添付3参照
.5 .6 6 .1 .2	地震時及び津波時におけるアクセスルートの復旧時間評価結果 屋外作業の成立性 屋内アクセスルートの評価 影響評価対象 評価方法 現場確認による評価	・斜面の勾配・高さ ・液状化による沈下率 ・埋設構造物の路面高 ・埋設構造物の下端高さ ・埋設構造物の可法 ・埋設構造物の可法 ・埋設構造物の利対沈下量 ・埋設構造物の深き上がり評価 ・埋設構造物の流下量評価(埋設構造物) ・建屋の路面高 ・建屋の路面高 ・建屋の基礎振削影響範囲 ・理戻部の沈下量評価(建屋) ・標高 ・移動速度、撤去速度、所要時間、累積時間 ・アクセスルート復旧時間、作業時間	00000	0	0 0		0 0 0 0	・図面 ・図面 ・計算シート入力値 ・計算シート入力値 ・計算シート入力値 ・図面 ・図面 ・図面 ・図面 ・図面 ・図面 ・公園 ・計算シート入力値 ・計算シート入力値 ・計算シート入力値	x x x x x 0 x 0 x 0 0 0 0 0 x x	x x x x x x x x x x x x x x x x x x	添付2参照 添付5参照 添付3参照
.5 .6 6 .1 .2 .3	地震時及び津波時におけるアクセスルートの復旧時間評価結果 屋外作業の成立性 屋内アクセスルートの評価 影響評価対象 評価方法 現場確認による評価 屋内作業への影響について	・斜面の勾配・高さ ・液状化による沈下率 ・埋設構造物の路面高 ・埋設構造物の下端高さ ・埋設構造物の可法 ・埋設構造物の可法 ・埋設構造物の利対沈下量 ・埋設構造物の深き上がり評価 ・埋設構造物の次下量評価(埋設構造物) ・建屋の路面高 ・建屋の路面高 ・建屋の基礎下端高さ ・建屋の基礎掘削影響範囲 ・埋戻部の沈下量評価(建屋) ・標高 ・移動速度、撤去速度、所要時間、累積時間 ・アクセスルート復旧時間、作業時間	00000	0	0 0		0 0 0 0	・図面 ・図面 ・と図面 ・計算シート入力値 ・計算シート入力値 ・図面 ・図面 ・図面 ・図面 ・図面 ・計算シート入力値 ・計算シート入力値 ・計算シート入力値	x x x x x x x 0 0 x 0 0 0 x x x x x	x x x x x x x x x x x x x x x x x x x	添付2参照 添付5参照 添付3参照
.5 .6 6 .1 .2 .3 .4	地震時及び津波時におけるアクセスルートの復旧時間評価結果 屋外作業の成立性 屋内アクセスルートの評価 影響評価対象 評価方法 現場確認による評価 屋内作業への影響について 作業の成立性	・斜面の勾配・高さ ・液状化による沈下率 ・埋設構造物の路面高 ・埋設構造物の下端高さ ・埋設構造物の可法 ・埋設構造物の可法 ・埋設構造物の相対沈下量 ・埋設構造物の深き上がり評価 ・埋設構造物の深き上がり評価 ・建屋の路面高 ・建屋の路面高 ・建屋の基礎下端高さ ・建屋の基礎掘削影響範囲 ・埋戻部の沈下量評価(建屋) ・標高 ・移動距離 ・移動速度、撤去速度、所要時間、累積時間 ・アクセスルート復旧時間、作業時間	00000	0	0 0		0 0 0 0	・図面 ・図面 ・計算シート入力値 ・計算シート入力値 ・計算シート入力値 ・図面 ・図面 ・図面 ・図面 ・図面 ・図面 ・公園 ・計算シート入力値 ・計算シート入力値 ・計算シート入力値	x x x x x 0 x 0 x 0 0 0 0 0 x x	x x x x x x x x x x x x x x x x x x	添付2参照 添付5参照 添付3参照
.5 .6 .1 .2 .3 .4 .5 .7	地震時及び津波時におけるアクセスルートの復旧時間評価結果 屋外作業の成立性 屋内アクセスルートの評価 影響評価対象 評価方法 現場確認による評価 屋内作業への影響について	・斜面の勾配・高さ ・液状化による沈下率 ・埋設構造物の路面高 ・埋設構造物の下端高さ ・埋設構造物の可法 ・埋設構造物の可法 ・埋設構造物の利対沈下量 ・埋設構造物の深き上がり評価 ・埋設構造物の次下量評価(埋設構造物) ・建屋の路面高 ・建屋の路面高 ・建屋の基礎下端高さ ・建屋の基礎掘削影響範囲 ・埋戻部の沈下量評価(建屋) ・標高 ・移動速度、撤去速度、所要時間、累積時間 ・アクセスルート復旧時間、作業時間	00000	0	0 0		0 0 0 0	・図面 ・図面 ・と図面 ・計算シート入力値 ・計算シート入力値 ・図面 ・図面 ・図面 ・図面 ・図面 ・計算シート入力値 ・計算シート入力値 ・計算シート入力値	x x x x x x x 0 0 x 0 0 0 x x x x x	x x x x x x x x x x x x x x x x x x x	添付2参照 添付5参照 添付3参照

-:該当なし

^{※1}該当項目凡例

TAF: TAF調査関連
①直営にてエビデンス資料の数値を変換して入力(単位換算に限らない)し、評価を行ったもの

②直営にて図面から読み取った断面寸法を使用して評価を行ったもの ③直営にてヒューム管の寸法を使用して評価を行ったもの ④計算シート等を用いて直営で評価を行い、入力データのダブルチェックを抜き取りで実施したもの

「TAF誤り」及び「アクセスルートの対策箇所の修正」の水平展開による確認結果

No I&#</th><th>項目</th><th>確認対象の数値</th><th>TAF</th><th>当項目※1 ② ③</th><th>4</th><th>確認資料等</th><th>数値の 見直し要否※2</th><th>対策方針等の 変更要否※2</th><th>特記事項</th></tr><tr><td></td><td>外部事象の抽出について 降水に対する影響評価について</td><td>_ </td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td> ·移動距離</td><td>0</td><td></td><td></td><td>·CAD読み取り値</td><td>×</td><td>×</td><td></td></tr><tr><td>3</td><td>屋外アクセスルート 除雪時間評価について</td><td>·車両仕様</td><td>ŏ</td><td></td><td></td><td>· 文献</td><td>×</td><td>×</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>•作業時間,除雪速度,所要時間</td><td></td><td></td><td>0</td><td>・計算シート入力値</td><td>×</td><td>×</td><td></td></tr><tr><td></td><td>屋外アクセスルート 降灰除去時間評価につい</td><td>•移動距離</td><td>0</td><td></td><td></td><td>・CAD読み取り値</td><td>×</td><td>×</td><td></td></tr><tr><td>4</td><td>在パグラミスル 「</td><td>·車両仕様</td><td>0</td><td></td><td></td><td>·文献</td><td>×</td><td>×</td><td></td></tr><tr><td>_</td><td></td><td>•作業時間,除灰速度,所要時間</td><td></td><td></td><td>0</td><td>・計算シート入力値</td><td>×</td><td>×</td><td></td></tr><tr><td></td><td>可搬型設備の小動物対策について</td><td>_</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>7</td><td>森林火災時における保管場所及びアクセス 保管場所及びアクセスルートへの自然現象の重 畳による影響について</td><td><u> </u></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>8</td><td> 平成23年(2011年) 東北地方大平洋沖地震の被</td><td>•過去地震規模</td><td>0</td><td></td><td></td><td>· 文献</td><td>×</td><td>×</td><td></td></tr><tr><td>9</td><td>可搬型設備の接続口の配置及び仕様について</td><td>·標高</td><td>0</td><td></td><td></td><td>- 図面</td><td>×</td><td>×</td><td></td></tr><tr><td></td><td>淡水及び海水の取水場所について</td><td>・タンクローリ給油口位置</td><td>ŏ</td><td></td><td></td><td>· 文献</td><td>×</td><td>×</td><td></td></tr><tr><td>11</td><td>海水取水場所での取水が出来ない場合の代替</td><td>·標高</td><td></td><td></td><td></td><td>- NV</td><td>,</td><td>v</td><td></td></tr><tr><td>11</td><td>手段について</td><td>* (標) </td><td>0</td><td></td><td></td><td>• 図面</td><td>×</td><td>×</td><td></td></tr><tr><td></td><td>鉄塔基礎の安定性について</td><td>•送電鉄塔現地踏査結果</td><td>0</td><td></td><td></td><td>・文献</td><td>×</td><td>×</td><td></td></tr><tr><td></td><td>崩壊土砂の到達距離について</td><td>·崩壊土砂到達距離等</td><td>0</td><td></td><td></td><td>•文献</td><td>×</td><td>×</td><td></td></tr><tr><td>14</td><td>屋外アクセスルート 現場確認結果について</td><td>_</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>・構造物高さ</td><td>0</td><td></td><td></td><td>•図面</td><td>0</td><td>×</td><td>1</td></tr><tr><td></td><td></td><td>・アクセスルート対象距離</td><td>0</td><td></td><td></td><td>•CAD読み取り値</td><td>0</td><td>×</td><td>添付6参照</td></tr><tr><td>15</td><td>屋外アクセスルート近傍の障害となり得る要因</td><td>・影響評価判定値</td><td><u> </u></td><td></td><td>0</td><td>・計算シート入力値</td><td>0</td><td>×</td><td></td></tr><tr><td>. •</td><td>と影響評価について</td><td>・東海発電所サービス建屋諸元・建屋各階の高さ</td><td>0</td><td></td><td></td><td>• 図面</td><td>×</td><td>×</td><td>-</td></tr><tr><td></td><td></td><td>・建屋各階の高さ ・廃棄物処理建屋ALCパネル部</td><td>0</td><td></td><td></td><td>•図面</td><td>×</td><td>×</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>諸元</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>・変圧器保有油量等</td><td>0</td><td></td><td></td><td>•図面</td><td>×</td><td>×</td><td></td></tr><tr><td>16</td><td>主要な変圧器等の火災について</td><td>・火炎中心からアクセスルートまでの距離</td><td>0</td><td></td><td></td><td>・CAD読み取り値</td><td>×</td><td>×</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>·可燃物施設影響評価判定値</td><td></td><td></td><td>0</td><td><u>-</u> ・計算シート入力値</td><td>×</td><td>×</td><td></td></tr><tr><td>17</td><td>自衛消防隊による消火活動等について</td><td>— — — — — — — — — — — — — — — — — — —</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>可搬型設備(車両)の走行について</td><td>·車両許容水深</td><td>0</td><td></td><td></td><td>· 文献</td><td>×</td><td>×</td><td></td></tr><tr><td>19</td><td>TD 上 11~TUマの長めない方公水時の影郷生</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>19</td><td>について</td><td>▪標高</td><td>0</td><td></td><td>L</td><td>• 図面</td><td>×</td><td>×</td><td><u>L</u></td></tr><tr><td>20</td><td>屋外アクセスルート確保の検証について</td><td>∙標高</td><td>0</td><td></td><td></td><td>·図面</td><td>×</td><td>×</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>·車両仕様</td><td>Ŏ</td><td></td><td></td><td>•文献</td><td>×</td><td>×</td><td></td></tr><tr><td></td><td>車両走行性能の検証について</td><td>_</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>2</td><td>屋外アクセスルートにおける地震後の被害想定</td><td>_</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>(一覧)について</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td></tr><tr><td></td><td></td><td>•車両仕様</td><td>0</td><td></td><td></td><td>·文献</td><td>×</td><td>×</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>0</td><td></td><td></td><td>·CAD読み取り値</td><td>×</td><td>×</td><td>1</td></tr><tr><td>23</td><td>がれき及び土砂撤去時のホイールローダ作業 量及び復旧時間について</td><td>*移動起離 ・移動速度, 撤去範囲, 想定がれ</td><td>0</td><td></td><td></td><td>・CAD読み取りill</td><td></td><td>^</td><td>1</td></tr><tr><td></td><td>重及ひ復旧時间について</td><td>*移動迷度, 撤去靶囲, 怨疋かれ き量等</td><td></td><td></td><td>0</td><td>・計算シート入力値</td><td>×</td><td>×</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>·作業量参考値</td><td>0</td><td></td><td></td><td>· 文献</td><td>×</td><td>×</td><td></td></tr><tr><td>24</td><td>屋外アクセスルートの復旧計画について</td><td>_</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>母告担訴及び長はマクセフリーL 生の占投につ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td></tr><tr><td></td><td>いて</td><td>_</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>防潮堤内他施設等の同時被災時におけるアク</td><td>_</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>20</td><td>セスルートへの影響について</td><td>_</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>27</td><td>資機材設置後の作業成立性について</td><td>_</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>8</td><td>地震による被害想定の方針,対応方針</td><td>-</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>屋外での通信機器通話状況の確認について</td><td>-</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>30</td><td>屋内アクセスルートの設定について</td><td>・建屋各階の高さ</td><td>0</td><td></td><td></td><td>•図面</td><td>×</td><td>×</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>・地震随伴火災源の機器評価結</td><td></td><td></td><td>0</td><td>・計算シート入力値</td><td>×</td><td>×</td><td></td></tr><tr><td>31</td><td>地震随伴火災源の影響評価について</td><td>* ・建屋各階の高さ</td><td>0</td><td></td><td></td><td>- 図面確認</td><td>×</td><td>×</td><td>1</td></tr><tr><td>32</td><td>地震随伴内部溢水の影響評価について</td><td>・緊急時の被ばく線量制限値</td><td>8</td><td></td><td></td><td>・文献</td><td>×</td><td>×</td><td></td></tr><tr><td></td><td>屋内アクセスルート確認状況(地震時の影響)に</td><td></td><td>_</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td></tr><tr><td>3</td><td> </td><td>・建屋各階の高さ</td><td>0</td><td></td><td></td><td>•図面</td><td>×</td><td>×</td><td></td></tr><tr><td>34</td><td>発電所構外からの災害対策要員の参集につい</td><td>_</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>,</td><td>基準津波を超え敷地に遡上する津波に対する</td><td> ·標高</td><td>0</td><td></td><td></td><td>- 図面</td><td>×</td><td>×</td><td></td></tr><tr><td>ວວ</td><td>対応について</td><td>敷地浸水深</td><td>ŏ</td><td></td><td></td><td>•解析結果</td><td>×</td><td>×</td><td></td></tr><tr><td>26</td><td>薬具類の湿えい時に使用する味難目について</td><td>_</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>. 7</td><td>使用済燃料乾式貯蔵建屋の西側斜面の安定性</td><td>・標高、斜面の勾配</td><td>0</td><td>0</td><td></td><td>•図面</td><td>×</td><td>×</td><td></td></tr><tr><td></td><td> 評価について</td><td>・すべり安全率</td><td></td><td></td><td></td><td>•解析結果</td><td>×</td><td>×</td><td></td></tr><tr><td>38</td><td>敷地の地質・地質構造の特徴及び想定されるリ</td><td>・地層厚さ</td><td>0</td><td>0</td><td></td><td>•調査結果</td><td>×</td><td>×</td><td></td></tr><tr><td></td><td>スクについて</td><td>•傾斜</td><td></td><td></td><td>0</td><td>・計算シート入力値</td><td>×</td><td>×</td><td></td></tr><tr><td>39</td><td>有効応力解析について</td><td>小田</td><td></td><td></td><td></td><td>一一一一一</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>10</td><td>保管場所及びアクセスルートにおける相対密度 の設定について</td><td>・地層厚さ・相対密度</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>·調査結果 ·試験結果. 計算結果</td><td>×</td><td>×</td><td>1</td></tr><tr><td>_</td><td>マロメルニー フル・し</td><td>·相对密度 ·地下水位</td><td></td><td></td><td><u> </u></td><td>·試験結果,計算結果 ·調査結果</td><td>×</td><td>×</td><td>1</td></tr><tr><td></td><td></td><td>・地下水位 ・地下水の流速</td><td></td><td></td><td></td><td>· 計算結果</td><td>×</td><td>×</td><td>1</td></tr><tr><td>ļ1</td><td>敷地内の地下水位の設定について</td><td>•透水係数</td><td></td><td></td><td></td><td>•調査結果</td><td>×</td><td>×</td><td>1</td></tr><tr><td>•</td><td></td><td>・土粒子の比重等</td><td></td><td></td><td></td><td>・調査結果</td><td>×</td><td>×</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>•限界流速</td><td></td><td></td><td>0</td><td>・計算シート入力値</td><td>×</td><td>×</td><td></td></tr><tr><td><u>۔</u></td><td>路盤補強(段差緩和対策)について</td><td>・標高、長さ、高さ、荷重</td><td>0</td><td>0</td><td></td><td>·図面、設計条件</td><td>×</td><td>×</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>·H鋼の応力評価結果</td><td></td><td></td><td></td><td>•計算結果</td><td>×</td><td>×</td><td></td></tr><tr><td></td><td>説明資料</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>1</td><td>原子炉建屋内の可搬型重大事故等対処設備の</td><td>・建屋各階の高さ</td><td>0</td><td></td><td></td><td>- 図面</td><td>×</td><td>×</td><td></td></tr><tr><td></td><td>配置について</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>可搬型代替注水大型ポンプ等使用時における</td><td>・ホース敷設距離</td><td>0</td><td></td><td></td><td>・CAD読み取り値</td><td>×</td><td>×</td><td></td></tr><tr><td></td><td>ホースの配備長さ並びにホースコンテナ及び</td><td>・ホース必要をさ</td><td></td><td></td><td>$\overline{}$</td><td><u>・計質シー</u>L 3 も<i>は</i></td><td>×</td><td>×</td><td></td></tr><tr><td></td><td>ホース展張車の配備イメージについて</td><td>・ホース必要長さ</td><td></td><td></td><td>0</td><td>・計算シート入力値</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>アクセスルート復旧時間評価の妥当性について</td><td></td><td>0</td><td></td><td></td><td>•図面</td><td>×</td><td>×</td><td></td></tr><tr><td>4</td><td>地震時における屋外アクセスルートへの放射線</td><td>_</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>_</td><td>影響について</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td> </td></tr><tr><td><u>ე</u></td><td>竜巻対策固縛を解除する時間の考慮について 重大事故対応時の中央制御客から原子に挿入</td><td>_</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td> </td></tr><tr><td></td><td>重大事故対応時の中央制御室から原子炉棟入</td><td>・建屋各階の高さ</td><td>0</td><td></td><td></td><td>•図面</td><td>×</td><td>×</td><td></td></tr><tr><td></td><td>口までの移動時間評価</td><td>~~ A A A A A </td><td>_</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>

-:該当なし

※1該当項目凡例

TAF: TAF調査関連
①直営にてエビデンス資料の数値を変換して入力(単位換算に限らない)し、評価を行ったもの

②直営にて図面から読み取った断面寸法を使用して評価を行ったもの ③直営にてヒューム管の寸法を使用して評価を行ったもの ④計算シート等を用いて直営で評価を行い、入力データのダブルチェックを抜き取りで実施したもの

建屋周囲の埋戻部の沈下量算出結果(1/2)

<見直し前>

<見直し後>

]:沈下量が	15cmを超える	箇所							: 沈下量が1	5cmを超える	箇所
		nh	基礎 ※	地下	I to state and the	アクセス	埋戻部の				7.5a	基礎 ※	地下	ter state and the	アクセス	埋戻部の
No.	名称	路面高	下端	水位	掘削形式	ルートへの 影響	沈下量		No.	名称	路面高	下端	水位	掘削形式	ルートへの 影響	沈下量
		T.P.+ (m)	T. P. + (m)	T.P.+ (m)		影響有:×	(cm)		1	Will be a Wards ITT and a safety	T. P. + (m)	T. P. + (m)	T. P. + (m)	開削,土留	77	(cm)
	機械工作室用ボンベ庫 監視所	8. 0 8. 0	7.0	8. 0 8. 0	開削開削	0	_	掘削図の寸法線	2	機械工作室用ボンベ庫 監視所	8. 0 8. 0	7.0	8. 0 8. 0	開削 開削	0	_
3	消防自動車車庫	8.0	7. 0	8. 0	開削	Ö	_		3	消防自動車車庫	8. 0	7.0	8. 0	開削	Ö	_
	H202ボンベ庫 機械工作室	8. 0 8. 0	7.0	8. 0 8. 0	開削開削	0	_	が不明瞭なため、	4	H202ボンベ庫 ## +4 エ #c ラ	8. 0	7.0	8. 0	開削	0	_
	<u>機械工作室</u> 屋内開閉所	8.0	7.0	8.0	開削	0	_	読取りを間違えた。	6	機械工作室 	8. 0 8. 0	6.3	8. 0 8. 0	開削 開削	0	_
	パトロール車車庫	8.0	7. 0	8. 0	開削	Ō			7	パトロール車車庫	8. 0	7.0	8. 0	開削	Ō	_
8	H2C02ガスボンベ貯蔵庫 主発電機用ガスボンベ庫	8. 0 8. 0	7.0	8. 0 8. 0	開削開削	0	-		8	H2C02ガスボンベ貯蔵庫 主発電機用ガスボンベ庫	8. 0 8. 0	7.0 7.0	8. 0 8. 0	開削 開削	0	_
	タービン建屋	8.0	-14. 9	8. 0	開削	0	-	添付3		タービン建屋	8. 0	-14.9	8. 0	開削	X	52. 7
	原子炉建屋	8.0	-15.0	-15.0	開削	X	23. 0	11301 2 =		原子炉建屋	8. 0	-15.0	-15.0	開削	X	23. 0
	サービス建屋 水電解装置建屋	8. 0 8. 0	7. 0 6. 8	8. 0 8. 0	開削開削	0	_			サービス建屋 水雷解装置建屋	8. 0 8. 0	6.3	8. 0 8. 0	開削 開削	0	_
14	ベーラー建屋	8.0	7. 0	8. 0	開削	Ö	_		14	ベーラー建屋	8. 0	4.0	8. 0	開削	Ö	_
	サンプルタンク室 (R/W)	8.0	7.0	8.0	開削	0	_		15	サンプルタンク室 (R/W)	8. 0	6.9	8. 0	開削	0	_
16 17	ヘパフィルター室 マイクロ無線機室	8. 0 8. 0	7. 0 7. 0	8. 0 8. 0	開削開削	0	_		16 17	ヘパフィルター室 マイクロ無線機室	8. 0 8. 0	4. 1 7. 0	8. 0 8. 0	開削 開削	0	_
	モルタル混練建屋	8.0	7. 0	8. 0	開削	Ŏ	_			モルタル混練建屋	8. 0	7.0	8. 0	開削	Ö	_
	廃棄物処理建屋	8.0	-13. 2	-13. 2	土留	X	21. 2	P10の図面により		廃棄物処理建屋	8. 0	-13.2	-13.2	土留	X	21. 2
	排気塔モニター <u>室</u> 機器搬入口建屋	8. 0 8. 0	7. 0 7. 0	8. 0 8. 0	開削開削	0	_			排気筒モニター室 機器搬入口建屋	8. 0 8. 0	7.0 7.0	8. 0 8. 0	開削 開削	0	
22	地下排水上屋 (東西)	8.0	7.0	8.0	開削	Ö	_	路面高さ8mと判断		地下排水上屋(東西)	8. 0	7.0	8. 0	開削	Ö	_
	CO2ボンベ室 チェックポイント	8. 0 8. 0	7.0	8. 0 8. 0	開削開削	0	_	した。		002ボンベ室	8. 0	7.0	8. 0	開削	0	_
	ナエック ホイ ント サービス建屋〜チェックポイント歩道上屋	8.0	7.0	8. 0	開削	0	_	0120		チェックポイント サービス建屋~チェックポイント歩道上屋	8. 0 8. 0	7.0 7.0	8. 0 8. 0	開削 開削	0	_
26	サービス建屋ボンベ室	8. 0	7.0	8.0	開削	Ö		1		サービス建屋ボンベ室	8. 0	7.0	8. 0	開削	Ö	_
	所内ボイラー用ボンベ庫 擁壁①	8. 0 8. 0	7.0	8. 0 8. 0	開削	0	_	地下水位(地表面		灰内ボイラー用ボンベ庫	8. 0	7.0	8. 0 8. 0	開削	0	_
28		8. 0 8. 0	7.0	8. 0 8. 0	開削		_		28 29	擁壁® 別館	8, 0 11, 0	7.0 9.0	8. 0 11. 0	開削 開削	0	_
30	PR第二電気室	8.0	7.0	8.0	開削	0	_	に設定)も路面高		PR第二電気室	11.0	10.0	11.0	開削	Ö	_
	給水処理建屋 固体廃棄物貯蔵庫A棟	8. 0 8. 0	7. 0 1. 6	8. 0 8. 0	開削 開削	×	- 14. 7	に応じて入力した。	31	給水処理建屋 固体廃棄物貯蔵庫A棟	11.0 8.0	10.0	11.0	開削 開削	O X	14.0
33					開削	×	12. 5	1-700 (71730720	32			1.6	8. 0	11.14.14.1	×	14.8 12.7
33	固体廃棄物貯蔵庫B棟	8.0	2.6	8.0	荆 刊		12. 5		33	固体廃棄物貯蔵庫B棟	8.0	2.5	8.0	開削	^	12. (
34	給水加熱器保管庫	5. 0	1.1.0	5. 0	開削	0	_		34	給水加熱器保管庫	5. 0	4.0	5. 0	開削	0	_
34 35	給水加熱器保管庫 取水口電気室	5. 0 8. 0	7.0	5. 0 8. 0	開削 開削	0	_ _		34 35	給水加熱器保管庫 取水口電気室	5, 0 3, 0	4.0	5, 0 3, 0	開削 開削	0	
34 35 36	給水加熱器保管庫	5. 0	1.1.0	5. 0	開削	0	_		34 35 36	給水加熱器保管庫	5. 0	4.0	5. 0	開削	0	_
34 35 36 37 38	給水加熱器保管庫 取水口電気室 屋外第二電気室 補修装置等保管倉庫 プロパンガスボンベ室	5. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8. 0	7.0 7.0 7.0 6.9 7.0	5. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8. 0	開削 開削 開削 開削 開削	0 0 0 0			34 35 36 37 38	総水加熱器保管庫 取水口電気室 屋外第二電気室 補修装置等保管倉庫 プロパンガスボンベ室	5, 0 3, 0 8, 0 8, 0 8, 0	4. 0 2. 0 4. 5 7. 0 7. 0	5, 0 3, 0 8, 0 8, 0 8, 0	開削 開削 開削 開削 開削	0 0 X 0	8.1 - -
34 35 36 37 38 39	給水加熱器保管庫 取水口電気室 屋外第二電気室 補修装置等保管倉庫 プロパンガスボンベ室 機材倉庫	5. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8. 0	7.0 7.0 7.0 6.9 7.0 7.0	5. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8. 0	開削開削開削開削開削開削開削	0 0 0 0			34 35 36 37 38 39	総水加熱器保管庫 取水口電気室 屋外第二電気室 補修装置等保管倉庫 プロパンガスボンベ室 機材倉庫	5. 0 3. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8. 0	4. 0 2. 0 4. 5 7. 0 7. 0 7. 0	5. 0 3. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8. 0	開削 開削 開削 開削 開削 開削	0 0 x 0 0	8.1 - - -
34 35 36 37 38 39 40 41	給水加熱器保管庫 取水口電気室 屋外第二電気室 補修装置等保管倉庫 プロパンガスボンベ室 機材倉庫 No.1保修用油倉庫 No.2保修用油倉庫	5.0 8.0 8.0 8.0 8.0 8.0 8.0 8.0	7.0 7.0 7.0 6.9 7.0 7.0 7.0 7.0	5. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8. 0	開削 開削 開削 開削 開削 開削 開削	0 0 0 0	- - - - - -		34 35 36 37 38 39 40	総水加熱器保管庫 取水口電気室 屋外第二電気室 補修装置等保管倉庫 プロパンガスボンベ室	5, 0 3, 0 8, 0 8, 0 8, 0	4. 0 2. 0 4. 5 7. 0 7. 0	5, 0 3, 0 8, 0 8, 0 8, 0	開削 開削 開削 開削 開削	0 0 X 0	8.1 - -
34 35 36 37 38 39 40 41 42	給水加熱器保管庫 取水口電気室 屋外第二電気室 補修装置等保管倉庫 プロパンガスボンベ室 機材倉庫 No.1保修用油倉庫 No.2保修用油倉庫 固体廃棄物作業建屋	5. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8	7.0 7.0 7.0 6.9 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0	5. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8	開削 開削 開削 開削 開削 開削 開削 開削 用削	0 0 0 0 0 0 0	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -		34 35 36 37 38 39 40 41 42	総水加熱器保管庫 取水口電気室 屋外第二電気室 補修装置等保管倉庫 プロパンガスボンベ室 機材倉庫 No. 1保修用油倉庫 No. 2保修用油倉庫 固体廃棄物作業建屋	5. 0 3. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8. 0	4.0 2.0 4.5 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 5.3	5. 0 3. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8. 0	開開 期 削 削 削 削 削 削 削 削 削 削 削 削 削 削 削 削 削 削	O O X O O O O X	8. 1 - - - - - - - 6. 3
34 35 36 37 38 39 40 41 42	給水加熱器保管庫 取水口電気室 屋外第二電気室 補修装置等保管倉庫 プロパンガスボンベ室 機材倉庫 No.1保修用油倉庫 No.2保修用油倉庫	5.0 8.0 8.0 8.0 8.0 8.0 8.0 8.0	7.0 7.0 7.0 6.9 7.0 7.0 7.0 7.0	5. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8. 0	開削 開削 開削 開削 開削 開削 開削	0 0 0 0 0	- - - - - -		34 35 36 37 38 39 40 41 42 43	総水加熱器保管庫 取水口電気室 屋外第二電気室 補修装置等保管倉庫 プロパンガスボンベ室 機材倉庫 No. 1保修用油倉庫 No. 2保修用油倉庫 固体廃棄物作業建屋 緊急時対策室建屋	5. 0 3. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8. 0	4.0 2.0 4.5 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 5.3 4.1	5. 0 3. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8. 0	開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開出日本出	0 0 x 0 0	8.1 - - - - -
34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44	総水加熱器保管庫 取水口電気室 屋外第二電気室 補修装置等保管倉庫 プロパンガスボンベ室 機材倉庫 No.1保修用油倉庫 No.2保修用油倉庫 固体廃棄物作業建屋 緊急時対策室建屋 事務本館 原子炉建屋(東海発電所)	5. 0 8. 0	7.0 7.0 7.0 6.9 7.0 7.0 7.0 7.0 5.0 4.0 7.0	5. 0 8. 0	開削 開削 開削 開開 削削 開開 削削 開開 削削 削削 削削 削削 削削 出土 粗削 用 削 用 租 配 用 削 用 用 削	O O O O O O O O O O O O O O O O O O O	- - - - - - - - - - - - - - 9. 2		34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44	総水加熱器保管庫 取水口電気室 屋外第二電気室 補修装置等保管倉庫 プロパンガスボンベ室 機材倉庫 No.1保修用油倉庫 No.2保修用油倉庫 固体廃棄物作業建屋 緊急時対策室建屋 事務本館 原子炉建屋(東海発電所)	5. 0 3. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8. 0	4.0 2.0 4.5 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 5.3	5. 0 3. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8. 0	開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開出土土開開	0 0 x 0 0 0 0	8.1 - - - - - - - - 6.3 9.0
34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45	総水加熱器保管庫 取水口電気室 屋外第二電気室 補修装置等保管倉庫 プロパンガスボンベ室 機材倉庫 No.1保修用油倉庫 No.2保修用油倉庫 固体廃棄物作業建屋 緊急時対策 野務本館 原子炉建屋(東海発電所) タービンホール(東海発電所)	5. 0 8. 0	7.0 7.0 6.9 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 5.0 4.0 7.0 -11.1	5. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8	開 削 開 開 開 門 門 門 門 門 門 門 門 門 門 門 門 門 門 門	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0			34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45	総水加熱器保管庫 取水口電気室 屋外第二電気室 補修装置等保管倉庫 プロパンガスボンベ室 機材倉庫 No. 1保修用油倉庫 No. 2保修用油倉庫 固体廃棄物作業建屋 緊急時対策空建屋 事務本館 原子炉建屋(東海発電所) タービンホール(東海発電所)	5. 0 3. 0 8. 0	4. 0 2. 0 4. 5 7. 0 7. 0 7. 0 7. 0 7. 0 7. 0 7. 0 7. 1 5. 3 4. 1 5. 7 1. 6 0. 9	5. 0 3. 0 8. 0	開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開出土土開開開	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	
34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47	総水加熱器保管庫 取水口電気室 屋外第二電気室 補修装置等保管倉庫 プロパンガスボンベ室 機材倉庫 No.1保修用油倉庫 No.2保修用油倉庫 固体廃棄物作業建屋 緊急時対策室建屋 事務本館 原子炉建屋(東海発電所)	5. 0 8. 0	7.0 7.0 7.0 6.9 7.0 7.0 7.0 7.0 5.0 4.0 7.0	5. 0 8. 0	開削 開削 開削 開開 削削 開開 削削 開開 削削 削削 削削 削削 削削 出土 粗削 用 削 用 租 配 用 削 用 用 削	O O O O O O O O O O O O O O O O O O O	- - - - - - - 6. 9 9. 2		34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46	総水加熱器保管庫 取水口電気室 屋外第二電気室 補修装置等保管倉庫 プロパンガスボンベ室 機材倉庫 No.1保修用油倉庫 No.2保修用油倉庫 固体廃棄物作業建屋 緊急時対策室建屋 事務本館 原子炉建屋(東海発電所)	5. 0 3. 0 8. 0	4.0 2.0 4.5 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 5.3 4.1 5.7 1.6	5. 0 3. 0 8. 0	開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開出土土開開	O O O O O O O O O O O O O O O O O O O	8.1 - - - - - - - 6.3 9.0 - -
34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48	給水加熱器保管庫 取水口電気室 屋外第二電気室 屋外第二電気室 補修装置等保管倉庫 プロパンガスボンベ室 機材倉庫 No. 1保修用油倉庫 No. 2保修用油倉庫 固体廃棄物作業建屋 緊急時対策室建屋 事務本館 原子炉建屋(東海発電所) タービンホール(東海発電所) サービス建屋(東海発電所) サービス建屋(東海発電所) 燃料倉庫 工具倉庫	5. 0 8. 0	7.0 7.0 7.0 6.9 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 5.0 4.0 7.0 -11.1 0.6 6.6 7.0 7.0	5. 0 8. 0	開削 開削削 開開期削 開開開開開開開 開開 開開開開開開 開開開開開開 開開期削 開開期削 開開期削	O O O O O O O O O O O O O O O O O O O	- - - - - - - - 6. 9 9. 2 - - - -		34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48	総水加熱器保管庫 取水口電気室 屋外第二電気室 補修装置等保管倉庫 プロパンガスボンベ室 機材倉庫 No. 1保修用油倉庫 No. 2保修用油倉庫 固体廃棄物作業建屋 緊急時対策室建屋 事務本館 原子炉建屋(東海発電所) サービス建屋(東海発電所) サービス建屋(東海発電所) サービス建屋(東海発電所) サービス建屋(東海発電所) メリカービス建屋(東海発電所) サービス建屋(東海発電所)	5. 0 3. 0 8. 0	4.0 2.0 4.5 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 5.3 4.1 5.7 1.6 0.9 6.6 7.0 7.0	5. 0 3. 0 8. 0	開開開開開開開開開開工土開開開開開開開工土開開開開開開開開工土開開開開開開開開	O	
34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50	給水加熱器保管庫 取水口電気室 屋外第二電気室 屋外第二電気室 補修装置等保管倉庫 プロパンガスボンベ室 機材倉庫 No. 1保修用油倉庫 No. 2保修用油倉庫 固体廃棄物作業建屋 緊急時対策室建屋 事務本館 原子炉建屋(東海発電所) タービンホール(東海発電所) サービス建屋(東海発電所) 燃料倉庫 工具倉庫 固化処理建屋	5. 0 8. 0	7.0 7.0 7.0 6.9 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 4.0 7.0 -11.1 0.6 6.6 7.0 7.0 7.0	5. 0 8. 0	開削 開削 開開 出土 土 開開	O O O O O O O O O O O O O O O O O O O	- - - - - - - 6. 9 9. 2 - - - - -		34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48	総水加熱器保管庫 取水口電気室 屋外第二電気室 補修装置等保管倉庫 プロパンガスボンベ室 機材倉庫 No. 1保修用油倉庫 No. 2保修用油倉庫 国体廃棄物作業建屋 緊急時対策室建屋 事務本館 原子炉建屋(東海発電所) タービンホール(東海発電所) サービス建屋(東海発電所) サービス建屋(東海発電所) 燃料倉庫 固化処理建屋	5. 0 3. 0 8. 0	4.0 2.0 4.5 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0	5. 0 3. 0 8. 0	開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開	O O O O O O O O O O O O O O O O O O O	- 8.1
34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51	給水加熱器保管庫 取水口電気室 屋外第二電気室 屋外第二電気室 補修装置等保管倉庫 プロパンガスボンベ室 機材倉庫 No. 1保修用油倉庫 No. 2保修用油倉庫 固体廃棄物作業建屋 緊急時対策室建屋 事務本館 原子炉建屋(東海発電所) タービンホール(東海発電所) サービス建屋(東海発電所) サービス建屋(東海発電所) 燃料倉庫 工具倉庫	5. 0 8. 0	7.0 7.0 7.0 6.9 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 5.0 4.0 7.0 -11.1 0.6 6.6 7.0 7.0	5. 0 8. 0	開削 開削削 開開期削 開開開開開開開 開開 開開開開開開 開開開開開開 開開期削 開開期削 開開期削	O O O O O O O O O O O O O O O O O O O	- - - - - - - - 6. 9 9. 2 - - - -	凡例	34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 50 51	総水加熱器保管庫 取水口電気室 屋外第二電気室 補修装置等保管倉庫 プロパンガスボンベ室 機材倉庫 No. 1保修用油倉庫 No. 2保修用油倉庫 固体廃棄物作業建屋 緊急時対策室建屋 事務本館 原子炉建屋(東海発電所) サービス建屋(東海発電所) サービス建屋(東海発電所) サービス建屋(東海発電所) サービス建屋(東海発電所) メリカービス建屋(東海発電所) サービス建屋(東海発電所)	5. 0 3. 0 8. 0	4.0 2.0 4.5 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 5.3 4.1 5.7 1.6 0.9 6.6 7.0 7.0	5. 0 3. 0 8. 0	開開開開開開開開開開工土開開開開開開開工土開開開開開開開開工土開開開開開開開開	O	- 8.1
34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53	総水加熱器保管庫 取水口電気室 屋外第二電気室 補修装置等保で倉庫 プロパンガスボンベ室 機材有庫 No.1保修用油倉庫 No.2保修用油倉庫 固体廃棄物作業建屋 緊急時対策室建屋 事務本障建屋(東海発電所) サービス建屋(東海発電所) サービス建屋(東海発電所) サービス建屋(東海発電所) サービス建屋(東海発電所) 数料倉庫 工具倉庫 固化処理建屋 サイトに変換の理施設 地下タンク上屋(東)	5. 0 8. 0	7.0 7.0 7.0 6.9 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 5.0 4.0 7.0 -11.1 0.6 6.6 7.0 7.0 -2.0 4.0 7.0	5. 0 8. 0	開開 削削 削削 削削 削				34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 51 52	総水加熱器保管庫 取水口電気室 屋外第二電気室 補修装置等保管倉庫 プロパンガスボンベ室 機材倉庫 No. 1保修用油倉庫 No. 2保修用油倉庫 国体廃棄物作業建屋 緊急時対策室建屋 事務本館 原子炉建屋(東海発電所) タービンホール(東海発電所) サービス建屋(東海発電所) サービス建屋(東海発電所) 数料倉庫 工具化処理建屋 サイトバンカー建屋 放射性廃液処理施設 地下タンク上屋(東)	5. 0 3. 0 8. 0	4. 0 2. 0 4. 5 7. 0 7. 0 7. 0 7. 0 7. 0 5. 3 4. 1 5. 7 1. 6 0. 9 6. 6 7. 0 7. 0	5. 0 3. 0 8. 0	開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開	O O O O O O O O O O O O O O O O O O O	
34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 51 52 53 54	総水加熱器保管庫 取水口電気室 屋外第二電気室 種修装置等保管倉庫 プロパンガスボンベ室 機核材庫 No.1保修用油倉庫 No.2保修用油倉庫 固体廃棄物作業建屋 緊急時対策室建屋 事務本館 原子炉建屋(東海発電所) サービス建屋(東海発電所) サービス建屋(東海発電所) サービス建屋(東海発電所) サービス建屋(東海発電所) が料倉庫 工具倉庫 固化処理建屋 サカド廃液処理施設 地下タンク上屋(東)	5. 0 8. 0	7.0 7.0 7.0 6.9 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 -11.1 0.6 6.6 7.0 7.0 -2.0 4.0 7.0	5. 0 8. 0	開			:TAF誤りの水平展	34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54	総水加熱器保管庫 取水口電気室 屋外第二電気室 補修装置等保で倉庫 プロパンガンベ室 機材倉庫 No.1保修用油倉庫 No.2保修用油倉庫 固体廃棄物作業建屋 緊急時対策室建屋 事務本館 原子炉建屋(東海発電所) サービス建屋(東海発電所) サービス建屋(東海発電所) サービス建屋(東海発電所) サービス建屋(東海発電所) サービス建屋(東海発電所) 地下タンク上屋(東) 地下タンク上屋(西)	5. 0 3. 0 8. 0	4.0 2.0 4.5 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 5.3 4.1 5.7 1.6 0.9 6.6 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0	5. 0 3. 0 8. 0	開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開		
34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55	総水加熱器保管庫 取水口電気室 屋外第二電気室 補修装置等保管倉庫 プロパンガスボンベ室 機材倉庫 No.1保修用油倉庫 No.2保修用油倉庫 B体廃棄物作業建屋 緊急時対策 要基屋 東海発電所) タービンホール(東海発電所) サービス建屋(東海発電所) サービス建屋(東海発電所) サードス建屋 固化処理建屋 サイトバンカー建屋 放射性廃液処理施設 地下タンク上屋(東) 地下タンク上屋(西) 使用済燃料貯蔵施設 Hバンカー	5. 0 8. 0	7.0 7.0 7.0 6.9 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 5.0 4.0 7.0 -11.1 0.6 6.6 7.0 7.0 -2.0 4.0 7.0	5. 0 8. 0	開開 削削 削削 削削 削				34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55	総水加熱器保管庫 取水口電気室 屋外第二電気室 補修装置等保管倉庫 プロパンガスボンベ室 機材倉庫 No. 1保修用油倉庫 No. 2保修用油倉庫 国体廃棄物作業建屋 緊急時対策室建屋 事務本館 原子炉建屋(東海発電所) タービンホール(東海発電所) サービス建屋(東海発電所) サービス建屋(東海発電所) 数料倉庫 工具化処理建屋 サイトバンカー建屋 放射性廃液処理施設 地下タンク上屋(東)	5. 0 3. 0 8. 0	4. 0 2. 0 4. 5 7. 0 7. 0 7. 0 7. 0 7. 0 5. 3 4. 1 5. 7 1. 6 0. 9 6. 6 7. 0 7. 0	5. 0 3. 0 8. 0	開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開	O O O O O O O O O O O O O O O O O O O	
34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56	総水加熱器保管庫 取水口電気室 屋外第二電気室 補修装置等保管倉庫 プロパンガスボンベ室 機材倉庫 No.1保修用油倉庫 No.2保修用油倉庫 Dara	5. 0 8. 0	7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0	5. 0 8. 0	開削 開開 開			:TAF誤りの水平展	34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 55	総水加熱器保管庫 取水口電気室 屋外第二電気室 補修装置等保管倉庫 プロパンガスボンベ室 機材倉庫 No.1保修用油倉庫 No.2保修用油倉庫 固体廃棄物生業建屋 緊急時対策室建屋 事務本館 原子炉建屋(東海発電所) タービンホール(東海発電所) サービス建屋(東海発電所) 燃料倉庫 国化処理建屋 サイトバンカー建屋 放射性廃液処理施設 地下タンク上屋(東) 地下タンク上屋(西) 使用済燃料貯蔵施設 旧バンカー 黒鉛スリーブ貯蔵庫	5. 0 3. 0 8. 0	4.0 2.0 4.5 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0	5. 0 3. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8	開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開		
34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58	総水加熱器保管庫 取水口電気室 屋外第二電気室 補修装置等保管倉庫 プロパンガスボンベ室 機材倉庫 No.1保修用油倉庫 No.2保修用油倉庫 B体廃棄物作業建屋 緊急時対策 要基屋 東海発電所) タービンホール(東海発電所) サービス建屋(東海発電所) サービス建屋(東海発電所) サードス建屋 固化処理建屋 サイトバンカー建屋 放射性廃液処理施設 地下タンク上屋(東) 地下タンク上屋(西) 使用済燃料貯蔵施設 Hバンカー	5. 0 8. 0	7.0 7.0 6.9 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 4.0 7.0 -11.1 0.6 6.6 7.0 7.0 7.0 7.0 6.7 2.0 4.0 7.0 7.0 6.6 7.0 7.0 7.0 7.0 6.6 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0	5. 0 8. 0	開 削 削 開 期 削 削 削 削 削 削 削 削 削 削 削 削 削 削 削			:TAF誤りの水平展開により判明した	34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58	総水加熱器保管庫 取水口電気室 屋外第二電気室 補修装置等保管倉庫 プロパンガスボンベ室 機材倉庫 No. 1保修用油倉庫 No. 2保修用油倉庫 DI 体廃棄物作業建屋 緊急時対策室建屋 事務本館 原子炉建屋(東海発電所) タービンホール(東海発電所) サービス建屋(東海発電所) サービス建屋(東海発電所) 数料倉庫 工具倉庫 固化処理建屋 サイトバンカー建屋 放射性廃液処理施設 地下タンク上屋(西) 使用済燃料貯蔵施設 田バンカー 黒鉛スリーブ貯蔵庫 燃料スプリッタ貯蔵庫	5. 0 3. 0 8. 0	4.0 2.0 4.5 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0	5. 0 3. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8	開開開開開開開開工土開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開		
34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60	総水加熱器保管庫 取水口電気室 屋外第二電気室 種修装置等保管倉庫 プロパンガスボンベ室 機核材庫 No.1保修用油倉庫 No.2保修用油倉庫 固体廃棄物作業建屋 緊急本館 原子炉建屋(東海発電所) サービス建屋(東海発電所) サービス連屋(東海発電所) サービス連屋(東海発電所) サービス連屋(東海発電所) 世界が上の地域とよった。 地下タンク上屋(西) 使用済燃料貯蔵施設 けバンカー 黒燃料スプリッタ上の 黒燃料スプリッタ 財蔵庫 低放射性固体廃棄物詰ドラム貯蔵庫 保修機材倉庫	5. 0 8. 0	7.0 7.0 7.0 6.9 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0	5. 0 8. 0	開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開			:TAF誤りの水平展開により判明した適正化する箇所	34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60	総水加熱器保管庫 取水口電気室 屋外第二電気室 補修装置等保で倉庫 プロパンガボンベ室 機材倉庫 No.1保修用油倉庫 No.2保修用油倉庫 国体廃棄物作業建屋 緊急時対策室建屋 事務本館 原子炉建屋(東海発電所) サービス建屋(東海発電所) サービス建屋(東海発電所) サービス建屋(東海発電所) サービス建屋(東海発電所) サービス建屋(東海発電所) 地下タンク上屋(東) 地下タンク上屋(西) 使用済燃料貯蔵施設 ルバンカー 黒鉛スリーブ貯蔵庫 燃料スプリッタ貯蔵庫 低放対性固体廃棄物 計ドラム貯蔵庫 保修機材倉庫	5. 0 3. 0 8. 0	4.0 2.0 4.5 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 5.3 4.1 5.7 1.6 0.9 6.6 7.0 7.0 5.7 1.9 2.9 - 7.0 6.1 6.2 6.2 7.0 6.8	5. 0 3. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8	開開開開開開開工土開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開		
34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61	総水加熱器保管庫 取水口電気室 屋外第二電気室 電電気室 補修装置等保管倉庫 プロパラスボンベ室 機材倉庫 No.1保修用油倉庫 No.2保修用油倉庫 No.2保修用油倉庫 国体廃棄物策室建屋 緊急時対策 原子炉建屋(東海発電所) タービンホール(東海発電所) サービス建屋(東海発電所) 燃料倉庫 固化処理建屋 サイトバンカー建屋 放射性廃液処理施設 地下タンク上屋(東) 地下タンク上屋(東) 地下タンク上屋(東) 地下タンク上屋(東) 地下タンク上屋(東) 地ボンカー 黒鉛スプリーブ貯蔵庫 燃料の対け直体廃棄物 に低放射性固庫 ボーリングコア倉庫	5. 0 8. 0	7.0 7.0 7.0 6.9 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0	5. 0 8. 0	開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開			:TAF誤りの水平展 開により判明した 適正化する箇所 :設計の進捗等に伴	34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61	総水加熱器保管庫 取水口電気室 屋外第二電気室 補修装置等保管倉庫 プロパラスボンベ室 機材倉庫 No.1保修用油倉庫 No.2保修用油倉庫 固体廃棄物作業建屋 緊急時対策室建屋 事務本館 原子炉建屋(東海発電所) タービンホール(東海発電所) サービス建屋(東海発電所) サービス建屋(東海発電所) 数料倉庫 固化処理建屋 サイトバンカー建屋 放射性廃液処理施設 地下タンク上屋(東) 地下タンク上屋(西) 使用済燃料貯蔵施設 Hバンカー 黒鉛スリーブ貯蔵庫 燃料スプリッタ廃棄物 に仮放射性自庫 ボーリングコア倉庫	5. 0 3. 0 8. 0	4.0 2.0 4.5 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 5.3 4.1 5.7 1.6 0.9 6.6 7.0 7.0 5.7 1.9 2.9 7.0 6.1 6.2 6.2 6.2 7.0 6.8 7.0	5. 0 3. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8	開開開開開開開工土開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開		
34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 55 56 57 58 59 60 61 62	総水加熱器保管庫 取水口電気室 屋外第二電気室 種修装置等保管倉庫 プロパンガスボンベ室 機核材庫 No.1保修用油倉庫 No.2保修用油倉庫 固体廃棄物作業建屋 緊急本館 原子炉建屋(東海発電所) サービス建屋(東海発電所) サービス連屋(東海発電所) サービス連屋(東海発電所) サービス連屋(東海発電所) 世界が上の地域とよった。 地下タンク上屋(西) 使用済燃料貯蔵施設 けバンカー 黒燃料スプリッタ上の 黒燃料スプリッタ 財蔵庫 低放射性固体廃棄物詰ドラム貯蔵庫 保修機材倉庫	5. 0 8. 0	7.0 7.0 7.0 6.9 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0	5. 0 8. 0	開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開			:TAF誤りの水平展開により判明した適正化する箇所	34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62	総水加熱器保管庫 取水口電気室 屋外第二電気室 補修装置等保管倉庫 プロパンガスボンベ室 機材倉庫 No.1保修用油倉庫 No.2保修用油倉庫 固体廃棄物作業建屋 緊急時対策室建屋 事務本館 原子炉建屋(東海発電所) タービンホール(東海発電所) サービス建屋(東海発電所) 数料倉庫 工具倉庫 固化処理建屋 サイトバンカー建屋 放射性廃液処理施設 地下タンク上屋(西) 使用済燃料貯蔵施設 ルドタンク上屋(西) 使用済燃料貯蔵施設 レバンカー 黒鉛スリーブ貯蔵庫 燃料スブリッタ貯蔵庫 低放射性固体廃棄物話ドラム貯蔵庫 保修機材倉庫 デーリンドリー建屋	5. 0 3. 0 8. 0	4.0 2.0 4.5 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0	5. 0 3. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8	開開開開開開工土開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開		
34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64	総水加熱器保管庫 取水口電気室 屋外第二電気室 補修装置等保管倉庫 プロパンガスボンベ室 機材倉庫 No.1保修用油倉庫 No.2保修用油倉庫 固体廃棄物作業建屋 緊急時対策室建屋 事務本庭 原子炉建屋(東海発電所) タービス建屋(東海発電所) サービス建屋(東海発電所) サービス建屋(東海発電所) 数射性魔庫 正具倉庫 固化ル理建屋 サイトに変更を サイトに変更を カケイを表します。 地下タンク上屋(西) 使用済燃料に厳しととので、 黒鉛スプリッタ貯蔵庫 低放射性固体廃棄物話ドラム貯蔵庫 低放射性固体廃棄物話ドラム貯蔵庫 低放射性固体廃棄物話ドラム貯蔵庫 に近り地ですって倉庫 ランドリー建屋 再利用物品置場テントNo. 4 再利用物品置場テントNo. 5	5. 0 8. 0	7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0	5. 0 8. 0	開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開			:TAF誤りの水平展 開により判明した 適正化する箇所 :設計の進捗等に伴	34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64	総水加熱器保管庫 取水口電気室 屋外第二電気室 補修装置等保管倉庫 プロパンガスボンベ室 機材倉庫 No. 1保修用油倉庫 No. 2保修用油倉庫 DI 体廃棄物作業建屋 緊急時対策室建屋 事務本館 原子炉建屋(東海発電所) タービンホール(東海発電所) サービス建屋(東海発電所) サービス建屋(東海発電所) 数料倉庫 工具倉庫 固化処理建屋 サイトバンカー建屋 放射性廃液処理施設 地下タンク上屋(西) 使用済燃料貯蔵施設 Hバンカー 黒鉛スリーブ貯蔵庫 燃料スプリッタ貯蔵庫 低放射性固体廃棄物詰ドラム貯蔵庫 低放射性固体廃棄物詰ドラム貯蔵庫 低放射性固体廃棄物詰ドラム貯蔵庫 低が射性角体廃棄物詰ドラム貯蔵庫 になります。 「大きないのでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	5. 0 3. 0 8. 0	4.0 2.0 4.5 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 5.3 4.1 5.7 1.6 0.9 6.6 7.0 7.0 5.7 1.9 2.9 7.0 6.1 6.2 6.2 6.2 7.0 6.8 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0	5. 0 3. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8	開開開開開開開出土土開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開		
34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65	総水加熱器保管庫 取水口電気室 屋外第二電気室 「種修装置等保で倉庫 「カロパンガンベ室 「機材有庫」 「No.1保修用油倉庫」 「No.1保修用油倉庫」 「No.2保修用油倉庫」 「No.2保修用油倉庫」 「国体廃棄物作業建屋」 「要務本炉建屋」 「要務本炉建屋」 「東海発電所」 「タービン建屋」 「東海発電所」 「サービス建屋」 「東海発電所」 「サービス建屋」 「東海発電所」 「サービス建屋」 「東海発電所」 「サービス建屋」 「東海発電所」 「サービス建屋」 「東海発電所」 「サービス建屋」 「東海発電所」 「カードで、「東海発電所」 「サービス連屋」 「東海発電所」 「カードで、「東海発電所」 「大いて、「東海発電所」 「大いて、「東海発電所」 「大いて、「東海発電所」 「大いて、「東海発電所」 「大いて、「東海発電所」 「大いて、「東海発電所」 「大いて、「東海発電所」 「東海発電所」 「東海経の、「東海発電の、「東海経の、「東海、「東海、「東海、「東海、「東海、「東海、「東海、「東海、「東海、「東海	5. 0 8. 0	7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0	5. 0 8. 0	開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開			:TAF誤りの水平展 開により判明した 適正化する箇所 :設計の進捗等に伴	34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 64 65	総水加熱器保管庫 取水口電気室 屋外第二電気室 補修装置等保で倉庫 プロパンガスボンベ室 機材倉庫 No.1保修用油倉庫 No.2保修用油倉庫 No.2保修用油倉庫 国体廃棄物作業建屋 緊急等本健量 東子炉建屋(東海発電所) タービンホール(東海発電所) サービス建屋(東海発電所) サービス建屋(東海発電所) サービス建屋(東海発電所) サービス建屋(東海発電所) サービス建屋(東海発電所) サービスは上で、東海発電所) サービスは、東海発電所) サービスは、東海発電所) サービスは、東海発電所) 地下タンク上屋(東) 地下タンク上屋(西) 使用済燃料貯蔵施設 ルバンカーブ貯蔵庫 燃料スプリック貯蔵庫 燃料スプリック貯蔵庫 低放射性 自体廃棄物誌ドラム貯蔵庫 保修機材倉庫 ボーリングコ建屋 デーンドリー建屋 デーンドリー建屋 デーストNo.4 再利用物品置場テントNo.5 再利用物品置場テントNo.6	5. 0 3. 0 8. 0	4.0 2.0 4.5 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 5.3 4.1 5.7 1.6 0.9 6.6 7.0 7.0 5.7 1.9 2.9 7.0 6.1 6.2 6.2 6.2 7.0 6.8 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 7	5. 0 3. 0 8. 0	開開開開開開開工土開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開		
34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 66	総水加熱器保管庫 取水口電気室 屋外第二電気室 補修装置等保管倉庫 プロパンガスボンベ室 機材倉庫 No.1保修用油倉庫 No.2保修用油倉庫 固体廃棄物作業建屋 緊急時対策室建屋 事務本庭 原子炉建屋(東海発電所) タービス建屋(東海発電所) サービス建屋(東海発電所) サービス建屋(東海発電所) 数射性魔庫 正具倉庫 固化ル理建屋 サイトに変更を サイトに変更を カケイを表します。 地下タンク上屋(西) 使用済燃料に厳しととので、 黒鉛スプリッタ貯蔵庫 低放射性固体廃棄物話ドラム貯蔵庫 低放射性固体廃棄物話ドラム貯蔵庫 低放射性固体廃棄物話ドラム貯蔵庫 に近り地ですって倉庫 ランドリー建屋 再利用物品置場テントNo. 4 再利用物品置場テントNo. 5	5. 0 8. 0	7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0	5. 0 8. 0	開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開			:TAF誤りの水平展 開により判明した 適正化する箇所 :設計の進捗等に伴	34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 78 88 89 60 61 62 63 64 65 66 66 66 66 66 66 66 66 66	総水加熱器保管庫 取水口電気室 屋外第二電気室 補修装置等保で倉庫 プロパンガスボンベ室 機材有庫 No.1保修用油倉庫 No.2保修用油倉庫 図体廃棄物作業建屋 緊急時対策室建屋 事務本館 関ケービンホール(東海発電所) サービス建屋(東海発電所) サービス建屋(東海発電所) サービス建屋(東海発電所) サービス建屋(東海発電所) 地大倉庫 工具化処理建屋 サイトバンカー建屋 あ射性廃液処理施設 地下タンク上屋(西) 使用済燃料貯蔵施設 レバンカー 黒鉛スプリッタ貯蔵庫 燃料スプリッタ貯蔵庫 低放射性固体廃棄物語ドラム貯蔵庫 低放射性固体廃棄物語ドラム貯蔵庫 保修機材倉庫 ボーリングコア倉庫 ランドリー建屋 再利用物品置場テントNo.4 再利用物品置場テントNo.5 再利用物品置場テントNo.6	5. 0 3. 0 8. 0	4.0 2.0 4.5 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 5.3 4.1 5.7 1.6 0.9 6.6 7.0 7.0 5.7 1.9 2.9 7.0 6.1 6.2 6.2 6.2 7.0 6.8 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0	5. 0 3. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8	開開開開開開開工土開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開		
34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 66 66 66 66 66	総水加熱器保管庫 取水口電気室 屋外第二電気室 電電気室 補修装置等保管倉庫 プロパ第二電気室 機材倉庫 No.1保修用油倉庫 No.2保修用油倉庫 No.2保修用油倉庫 固体廃棄物策室建屋 緊急時対解室建屋 緊急時対解室建屋 関クービス建屋(東海発電所) サービス建屋(東海発電所) サービス建屋(東海発電所) 数料倉庫 固化処理建屋 サイトバンカー建屋 サイトバンカー建屋 地地下タンク上屋(東) 地下アタンク上屋(東) 地下アタンク上屋(東) 地下アタンク上屋(東) 地下アタンク上屋(東) 地下アタンク上屋(東) 地下アタンク上屋(東) 地下アタンク上屋(東) 地下アタンク上屋(東) 地下アタンク上屋 西)は一貫燃料貯蔵施設 Hバンカー 黒鉛スプリコケア・ 黒鉛スプリコケア・ 黒鉛スプリコケア・ 黒鉛スプリコケア・ に仮放射性菌庫 低低放射性菌庫 低低放射性菌庫 低水が引き、カー・ に保修機材倉庫 ボーリングコ建屋 再利用物品置場テントNo. 5 再利用物品置場テントNo. 6	5. 0 8. 0	7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0	5. 0 8. 0	開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開			:TAF誤りの水平展 開により判明した 適正化する箇所 :設計の進捗等に伴	34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67	総水加熱器保管庫 取水口電気室 屋外第二電気室 補修装置等保で倉庫 プロパンガスボンベ室 機材倉庫 No.1保修用油倉庫 No.2保修用油倉庫 No.2保修用油倉庫 国体廃棄物作業建屋 緊急等本健量 東子炉建屋(東海発電所) タービンホール(東海発電所) サービス建屋(東海発電所) サービス建屋(東海発電所) サービス建屋(東海発電所) サービス建屋(東海発電所) サービス建屋(東海発電所) サービスは上で、東海発電所) サービスは、東海発電所) サービスは、東海発電所) サービスは、東海発電所) 地下タンク上屋(東) 地下タンク上屋(西) 使用済燃料貯蔵施設 ルバンカーブ貯蔵庫 燃料スプリック貯蔵庫 燃料スプリック貯蔵庫 低放射性 自体廃棄物誌ドラム貯蔵庫 保修機材倉庫 ボーリングコ建屋 デーンドリー建屋 デーンドリー建屋 デーストNo.4 再利用物品置場テントNo.5 再利用物品置場テントNo.6	5. 0 3. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8. 0 8	4.0 2.0 4.5 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 6.3 4.1 5.7 1.6 0.9 6.6 7.0 7.0 5.7 1.9 2.9 7.0 6.1 6.2 6.2 7.0 6.1 6.2 6.2 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0	5. 0 3. 0 8. 0	開開開開開開開工土開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開		

建屋周囲の埋戻部の沈下量算出結果(2/2)

<見直し前>

]:沈下量が1	.5cmを超える	笛所
					1	アクセス	
		路面高	基礎	地下	掘削形式	ルートへの	埋戻部の
No.	名 称	四田同	下端	水位	が出日リカシェグ	影響	沈下量
		T. P. + (m)	T. P. + (m)	T. P. + (m)	開削,土留	影響有:X	(cm)
69	C. W. P制御盤室	8.0	7.0	8.0	開削		(СШ)
	油倉庫	8.0	7. 0	8. 0	開削	Ö	_
	配電設備室	8.0	7. 0	8. 0	開削	Ô	
	水処理倉庫	8.0	7. 0	8. 0	開削	Ö	_
73	資料2号倉庫	8.0	7. 0	8. 0	開削	Ö	_
74	資料5号倉庫	8.0	7. 0	8. 0	開削	Ö	_
75	資料4号倉庫	8.0	7.0	8. 0	開削	0	_
76	擁壁②	8.0	7.0	8. 0	開削	Ö	_
77	常設代替高圧電源装置	8.0	7.0	8. 0	開削	0	_
	排水処理建屋	8.0	7. 0	8. 0	開削	Ö	_
79	送水ポンプ室	8.0	7.0	8. 0	開削	0	_
80	受水槽量水器小屋	8.0	7.0	8. 0	開削	0	_
81	加圧式空気圧縮機小屋	8.0	7.0	8. 0	開削	0	_
82	飲料水ポンプ室	8.0	7.0	8. 0	開削	0	_
83	空気圧縮機室	8.0	7.0	8.0	開削	0	_
84	ホットワークショップ	8.0	5.0	8.0	開削	0	_
85	屋外タンク上屋	8.0	7.0	8.0	開削		
86	飲料水次亜鉛滅菌装置室	8.0	7.0	8. 0	開削		
87	緊急時対策所建屋	23.0	22.0	23.0	開削	0	
88	原子力館	8.0	7.0	8. 0	開削	0	
89	正門監視所	8.0	7.0	8. 0	開削	0	
90	放管センター	8.0	7.0	8. 0	開削	0	
A	275kV送電鉄塔(No. 1)	8. 0	7.0	8. 0	開削	0	_
В	154kV·66kV送電鉄塔 (No. 6)	20. 0	19. 0	20.0	開削	0	
С	154kV・66kV送電鉄塔 (No. 7)	8. 0	7.0	8.0	開削	0	
D	154kV·66kV送電鉄塔 (No. 8)	8.0	7.0	8. 0	開削	0	
Е	多目的タンク	8. 0	7.0	8. 0	開削	0	
F	純水貯蔵タンク	8. 0	7. 0	8. 0	開削	0	
G	ろ過水貯蔵タンク	8.0	7. 0	8. 0	開削	0	
H	原水タンク	8.0	7. 0	8. 0	開削	0	
I	溶融炉苛性ソーダタンク	8.0	7. 0	8. 0	開削	0	
J	溶融炉アンモニアタンク	8.0	7. 0	8. 0	開削	0	
K	主要変圧器	8.0	7.0	8. 0	開削		
L	所内変圧器 起動変圧器	8.0	7.0	8. 0 8. 0	開削	0	
M N	<u>起動変圧器</u> 予備変圧器	8. 0 8. 0	7. 0	8. 0	開削 開削	0	
0	ア価変圧器	8.0	7.0	8. 0	開削	0	
U	疣未物及性足圧 揆刈至嗣ククト	0.0	1.0	0.0	用 日リ	U	
Р	排気筒	8.0	4. 5	8. 0	土留	0	_
Q	排気筒 (東海発電所)	8. 0	4. 5	8. 0	開削	0	_
R	No. 1所内トランスN2タンク	8. 0	7. 0	8. 0	開削	0	_
S	No. 1主トランスN2タンク	8. 0	7. 0	8. 0	開削	0	_
T	No. 2主トランスN2タンク	8. 0	7. 0	8. 0	開削	Ö	_
U	No. 2所内トランスN2タンク	8. 0	7. 0	8. 0	開削	Ö	_
	I /6 3 1	1	1	1	BB 36d	- ă	

 V
 600t純水タンク
 8.0
 7.0
 8.0
 開削

 ※ 基礎下端高さは、基礎高さ1m未満の建屋は、基礎高さを1mとする。

<見直し後>

P10の図面により 路面高さ8mと判断 した。

Bについては、緊急時対策所建屋付近であることから20mと判断した。

地下水位 (地表面に設定)も路面高に応じて入力した。

					: 沈下量が1	15cmを超える	箇所
No.	名称	路面高	基礎下端	地下水位	掘削形式	アクセス ルートへの 影響	埋戻部の 沈下量
		T. P. + (m)	T. P. + (m)	T. P. + (m)	開削,土留	影響有:×	(cm)
69	C. W. P制御盤室	8.0	7.0	8.0	開削	0	_
70	油倉庫	8.0	7.0	8.0	開削	0	_
71	配電設備室	8.0	7.0	8.0	開削	0	_
72	水処理倉庫	8.0	7.0	8.0	開削	0	_
73	資料2号倉庫	8.0	7.0	8.0	開削	0	
74	資料5号倉庫	8.0	7.0	8. 0	開削	0	
75	資料4号倉庫	8.0	7.0	8.0	開削	0	_
76	擁壁②	8.0	7.0	8.0	開削	0	_
77	常設代替高圧電源装置	11.0	-24. 0	11.0	土留	_	
78	排水処理建屋	11.0	8.4	11.0	開削	0	
	送水ポンプ室	11.0	10.0	11.0	開削	0	_
80	受水槽量水器小屋	11.0	6.4	11.0	開削	0	_
81	加圧式空気圧縮機小屋	11.0	10.0	11.0	開削	0	_
82	飲料水ポンプ室	11.0	10.0	11.0	開削	0	_
83	空気圧縮機室	8.0	7.0	8. 0	開削	0	_
84	ホットワークショップ	8.0	4.5	8. 0	開削	0	_
85	屋外タンケ上屋	8.0	7.0	8. 0	開削	0	_
86	飲料水次亜鉛滅菌装置室	8.0	7.0	8. 0	開削	0	
_	緊急時対策所建屋	23.0	20.8	23.0	開削	_	
88	原子力館	8.0	6.8	8. 0	開削	0	_
89	正門監視所	8.0	7.0	8. 0	開削	0	_
90	放管センター	8.0	6.2	8. 0	開削	0	
A	275kV送電鉄塔(No.1)	8.0	2.7	8.0	開削	0	
В	154kV・66kV送電鉄塔(No. 6)	16. 4	13. 6	16. 4	開削	0	
С	154kV·66kV送電鉄塔 (No. 7)	18.6	14. 3	18.6	開削	0	
D	154kV・66kV送電鉄塔 (No. 8)	14. 1	9.9	14. 1	開削	0	
Е	多目的タンク	11.0	10.0	11.0	開削	0	
F	純水貯蔵タンク	11.0	10.0	11.0	開削	0	_
G	ろ過水貯蔵タンク	11. 0	10.0	11.0	開削	0	_
H	原水タンク	11.0	10.0	11.0	開削	0	
I	溶融炉苛性ソーダタンク	8.0	7.0	8. 0	開削	0	
J	溶融炉アンモニアタンク	8.0	7.0	8. 0	開削	0	
K	主要変圧器	8.0	3.5	8. 0	開削	0	
L	所内変圧器 起動変圧器	8.0	7.0	8. 0	開削	0	
M	起動変圧器	8.0	4.0	8.0	開削	0	
N	予備変圧器	8.0	4.0	8.0	開削	0	
0 P	廃棄物処理建屋 換気空調ダクト 主排気ダクト	_	_		_	_	
	土併気タクト 排気筒	0 0	4 5	0 0		0	
Q	排风同 排気筒 (東海発電所)	8.0	4.5	8.0	土留	0	
R S	1	8.0	7.0		開削	0	
T	No. 1所内トランスN2タンク No. 1主トランスN2タンク	8.0	7.0	8. 0 8. 0	開削	0	
U	No. 1主トランスNZタンク No. 2主トランスN2タンク	8.0	7.0	8. 0	開削	0	
V	No. 2 <u>年トランスN2タンク</u> No. 2所内トランスN2タンク	8.0	7.0	8. 0	開削	0	
W	NO. 2月 円 ト ノン <n2タ ンク<br="">600t純 水 タ ン ク</n2タ>	8.0	7.0	8. 0	開削	0	
	154kV引留鉄構	11.0	9.7	11.0	開削	0	

X 154kV引留鉄構 11.0 9.7 11.0 開削 ○ - ※ 基礎下端高さは、基礎高さ1m未満の建屋は、基礎高さを1 m とする。

凡例

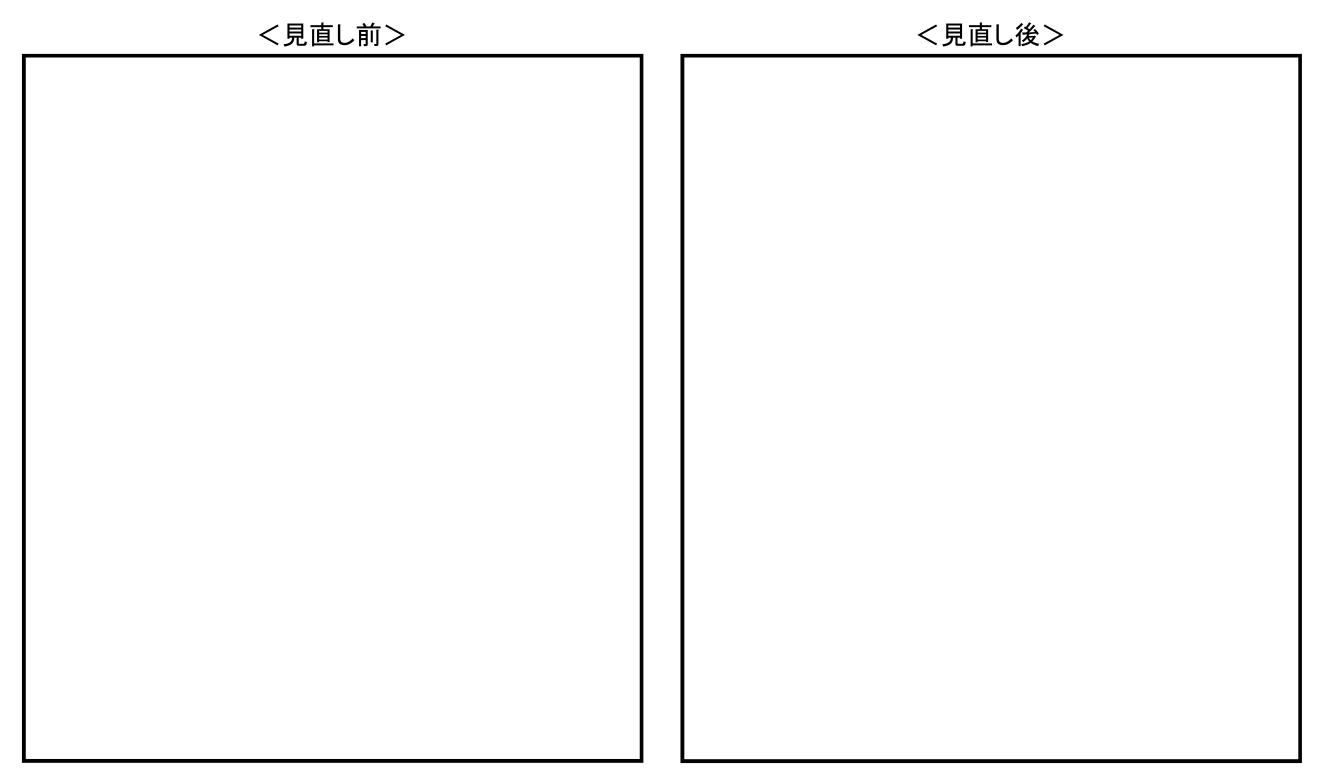
:TAF誤りの水平展 開により判明した 適正化する箇所

:設計の進捗等に伴って変更した箇所

路面高の誤り	に対する	ス煙草値	亚当性鸡	宇沙方法儿	-01	17
始曲向い誤り	1—XI 9 7		女士儿儿	主心、刀、还し	ー ノし	, , , (

• 下図等を基に、各建屋の路面高を確認した。

- TAF誤りの水平展開により判明した、№.10 東2タービン建屋の掘削範囲の誤りについて、適正化を実施した。
- ●この結果, 新たにNo.10 東2タービン建屋の詳細評価が必要となった。
- なお, 建屋等の基礎下端の数値の変更に伴う再評価を反映した。(添付5)



掘削範囲に係る図面判読の誤りについて

刊	ひ訳がに ひいて	
	、力にあたって, 掘削形状の平面を示す竣工図から掘削範囲の寸法の値を読み取っただったため, 当該値がタービン建屋の掘削範囲の部分的な寸法値であることが分からなか	
		赤枠の値を青線の値として 入力していた。
		1

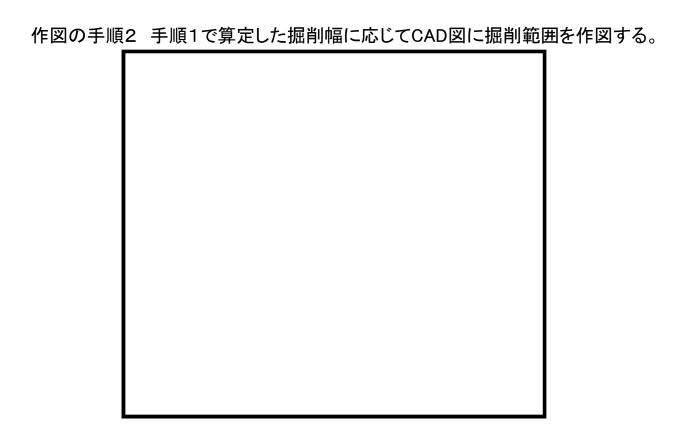
掘削範囲に係る図面判読の誤りについて(寸法の妥当性の確認)

•前述の竣工図(平面図)の寸法線が不明瞭であったことから、別の竣工図(断面図:右図)で数値を確認した。

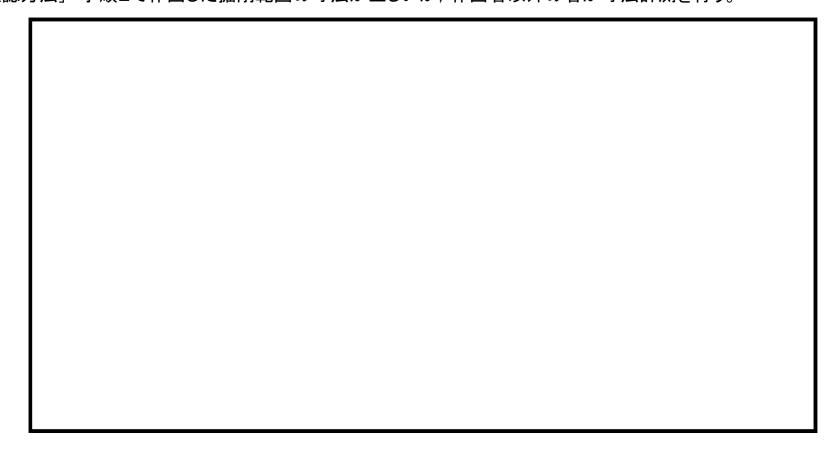
掘削範囲の確認方法について(1/2)

• アクセスル	ートの評価において	掘削範囲がアクセスル	ートに重なるか判定を行うため	,掘削図にて確認した掘削	範囲(掘削幅)を平面図に作図
する。また	掘削範囲の入力に	ついては,以下の方法に	より,平面図に正しく作図されて	ていることを確認した。	

掘削範囲の確認方法について(2/2)

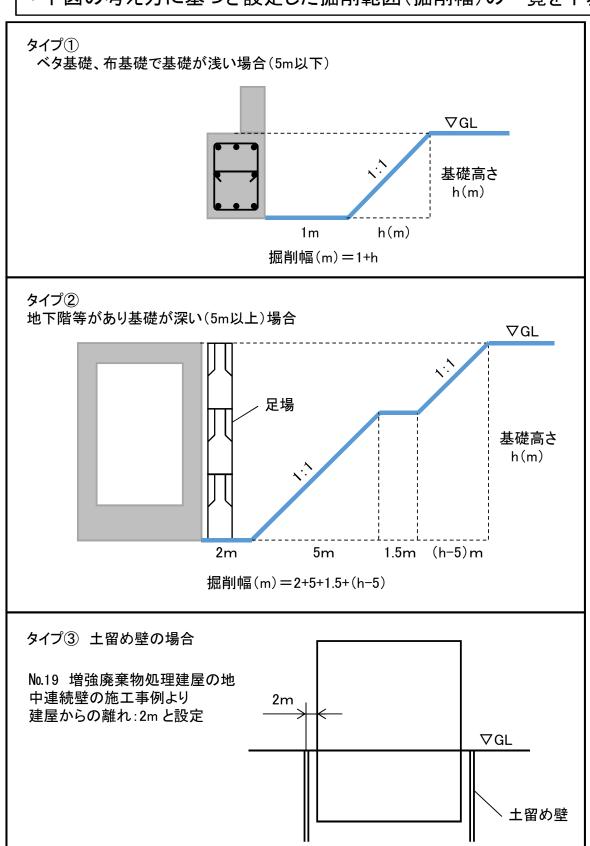


[確認方法] 手順2で作図した掘削範囲の寸法が正しいか,作図者以外の者が寸法計測を行う。



掘削図がない建屋の掘削範囲の設定について

- •掘削図がない建屋の掘削範囲は、下図の考え方に基づき設定した。
- 下図の考え方に基づき設定した掘削範囲(掘削幅)の一覧を下表に示す。



	T		44 +44 - 1/1·	1	1	<u> </u>
No.	建屋名	路面高	基礎下端	基礎高さ(m)	掘削幅根拠	掘削幅(m)
	· ·	T.P.+(m)	T.P.+(m)			
6	屋内開閉所	8.0	6.0	2.0	タイプ①	3.0
10	タービン建屋	8.0	-14.9	22.9	掘削図による	炉心を起点に N164.45、S80
11	原子炉建屋	8.0	-15.0	23.0	掘削図による	E82.25, W82.25
13	水電解装置建屋	8.0	6.9	1.1	タイプ①	2.1
19	廃棄物処理建屋	8.0	-13.2	21.2	タイプ③	2.0
29	別館	11.0	9.0	2.0	タイプ①	3.0
32	固体廃棄物貯蔵庫A棟	8.0	1.6	6.4	掘削図による	9.62
33	固体廃棄物貯蔵庫B棟	8.0	2.5	5.5	掘削図による	9.52
36	屋外第二電気室	8.0	4.5	3.5	タイプ①	4.5
42	固体廃棄物作業建屋	8.0	5.3	2.7	タイプ③	2.0
43	緊急時対策室建屋	8.0	4.1	3.9	タイプ③	2.0
44	事務本館	8.0	5.7	2.3	タイプ①	3.3
45	原子炉建屋(東海発電所)	8.0	1.6	6.4	施工記録による	14.8
46	タービンホール(東海発電所)	8.0	0.9	7.1	タイプ②	10.6
47	サービス建屋(東海発電所)	8.0	6.6	1.4	タイプ①	2.4
50	固化処理建屋	8.0	5.7	2.3	タイプ①	3.3
51	サイトバンカー建屋	8.0	1.9	6.1	タイプ②	9.6
52	放射性廃液処理施設	8.0	2.9	5.1	タイプ②	8.6
55	使用済燃料貯蔵施設	8.0	6.1	1.9	タイプ①	2.9
56	Hバンカー	8.0	6.2	1.8	タイプ①	2.8
57	黒鉛スリーブ貯蔵庫	8.0	6.2	1.8	タイプ①	2.8
58	燃料スプリッタ貯蔵庫	8.0	6.2	1.8	タイプ①	2.8
60	保修機材倉庫	8.0	6.8	1.2	タイプ①	2.2
67	使用済燃料乾式貯蔵建屋	8.0	5.8	2.2	タイプ①	3.2
78	排水処理建屋	11.0	8.4	2.6	タイプ①	3.6
80	受水槽量水器小屋	11.0	6.4	4.6	タイプ①	5.6
84	ホットワークショップ	8.0	4.5	3.5	タイプ①	4.5
88	原子力館	8.0	6.8	1.2	タイプ①	2.2
90	放管センター	8.0	6.2	1.8	タイプ①	2.8
Α	275kV送電鉄塔(No.1)	8.0	2.7	5.3	タイプ②	8.8
В	154kV·66kV送電鉄塔(No.6)	16.4	13.6	2.8	タイプ①	3.8
С	154kV·66kV送電鉄塔(No.7)	18.6	14.3	4.3	タイプ①	5.3
D	154kV·66kV送電鉄塔(No.8)	14.1	9.9	4.2	タイプ①	5.2
Q	排気筒	8.0	4.5	3.5	タイプ③	2.0

基礎高さが1mを超える基礎について掘削幅を抽出。

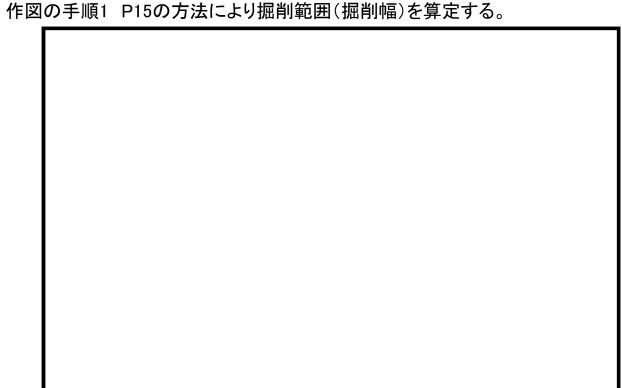
[確認方法]

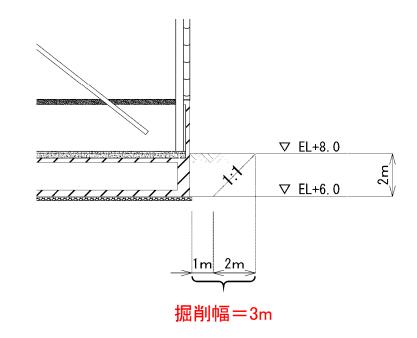
計算が正しいか作成者以外の者が確認する。

掘削範囲の確認方法(掘削図がない建屋)について

- アクセスルートの評価において、掘削範囲がアクセスルートに重なるか判定を行うため、前頁で確認した掘削範囲(掘削幅)を平面図に作図する。 また、掘削範囲の入力については、以下の方法により、平面図に正しく作図されていることを確認した。
- ・掘削図がない建屋の掘削範囲の確認方法について、以下に例示する。

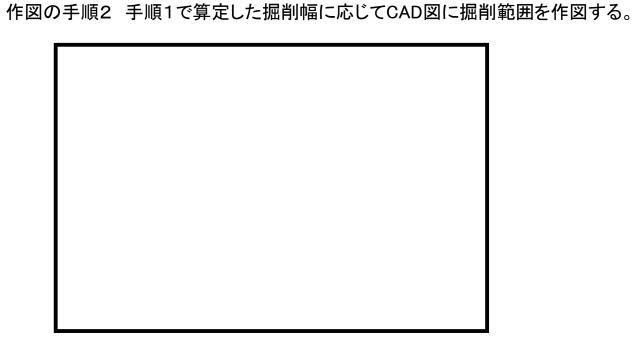
No.6 屋内開閉所(開削)の例





掘削幅算定のモデル図(前頁の考え方)

[確認方法] 手順2で作図した掘削範囲の寸法が正しいか,作図者以外の者



掘削範囲の確認方法について

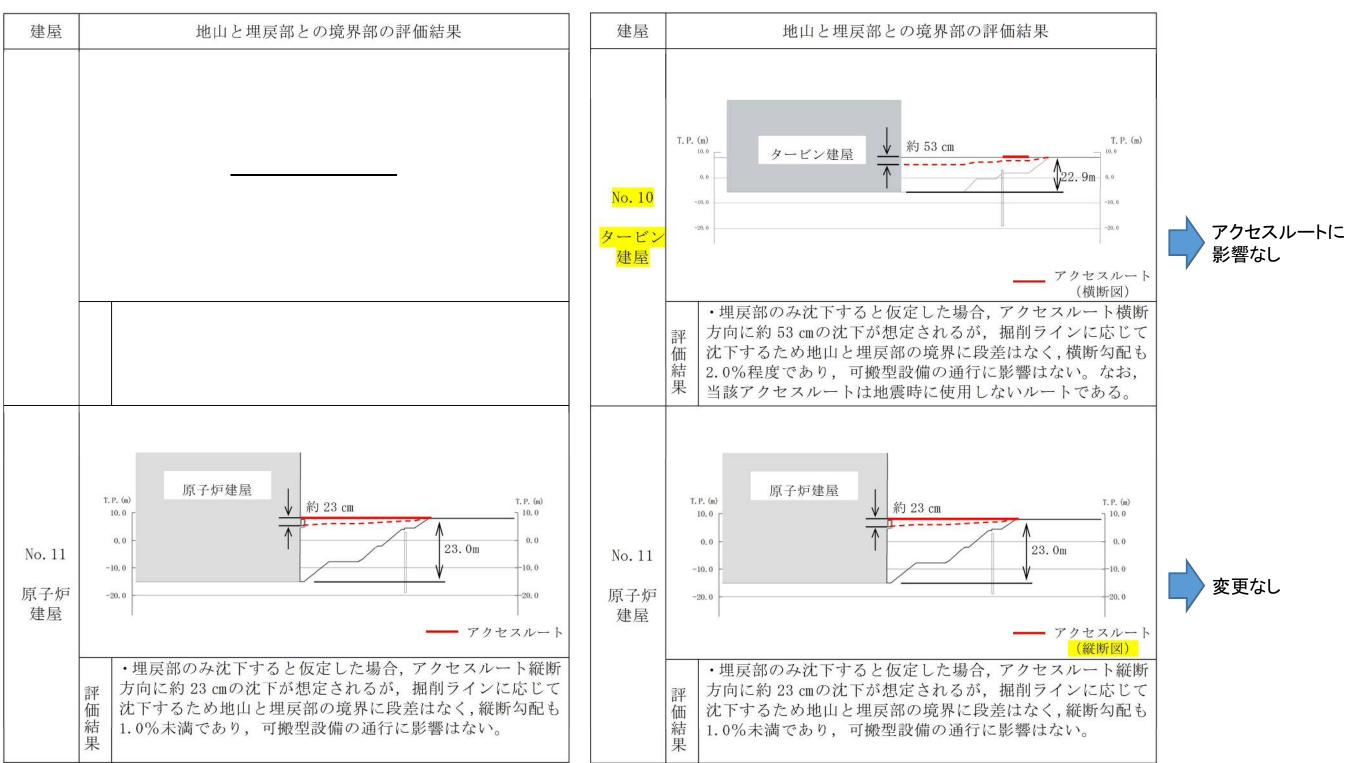
No.19 増強廃棄物処理建屋(土留)の例

作図	の手順1	P15のタイプ③に基っ	づき掘削幅を2mとする。		[確認方法]	手順2で作図した掘削範囲の寸法が正しいか,作図者以外の者が寸流計測を行う。	法
作図(L の手順2	CAD図に掘削範囲を	_ F作図する。				
				1			

地山と埋戻部との境界部の評価結果(1/2)

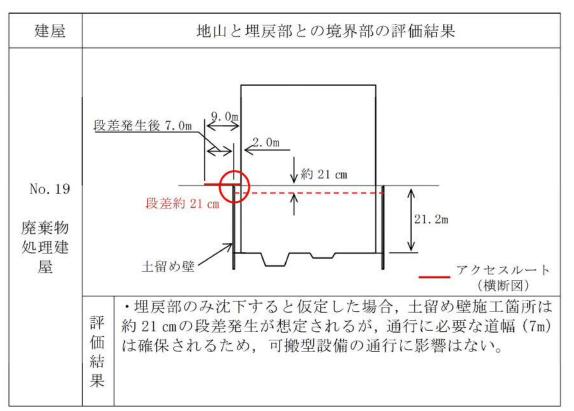
<見直し前>

<見直し後>

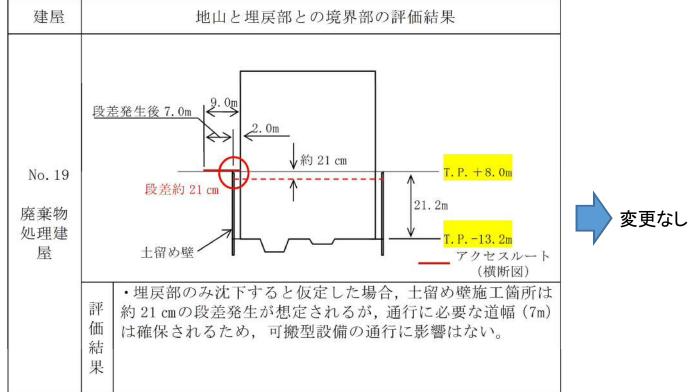


地山と埋戻部との境界部の評価結果(2/2)

<見直し前>



<見直し後>



浮き上がり評価結果の前後比較(1/2)

<見直し前>

					: 浮き上がり) が15cmを超	える箇所		
No.	名称	路面高	基礎下端	構造物高	地下水位	揚圧力	浮き上がり 抵抗力	安全率	浮き上がり 量
		T. P. + (m)	T. P. + (m)	(m)	T. P. + (m)	(kN/m)	(kN/m)		(m)
1	排油配管	8.000	5. 410	0. 267	8. 000	13. 4	12.9	0.96	0.10
2	電線管路	8.000	7. 230	0. 100	8. 000	_	-	_	- 25
3	電線管路 電線管路	8.000 8.000	5. 740 5. 740	0. 900 0. 900	8. 000 8. 000	39. 5 39. 5	27.8 27.8	0.71 0.71	0. 67 0. 67
5	電線管路	8.000	5. 660	0. 850	8. 000	40. 4	29.7	0.71	0.62
6	電線管路	8,000	5. 660	0.850	8. 000	42. 2	30.9	0.73	0.63
7	電線管路	8.000	6.580	0. 320	8. 000	10.5	20.2	1.94	_
8	電線管路	8.000	6.720	0. 160	8. 000	6.3	11.9	1.89	_
9	電線管路	8.000	6.840	0. 160	8. 000	5.5	10.5	1. 91	
10	電線管路	8.000	6.640	0. 160 0. 160	8. 000	6.4	11.7	1.82	_
11	電線管路 電線管路	8.000 8.000	6. 540 6. 540	0. 160	8. 000 8. 000	6. 5 6. 5	11.3	1.73 1.73	
13	電線管路	10.000	8. 450	0. 130	10,000	-	-	-	_
14	電線管路	8.000	7. 140	0. 100	8. 000	_	_	_	_
15	電線管路	8.000	6.480	0. 200	8. 000	6.6	10.3	1. 55	_
16	電線管路	8.000	6. 590	0. 250	8. 000	7.5	12.5	1. 67	
17	電線管路	8.000	6. 780	0. 100	8. 000	_			
18 19	電線管路 電線管路	8.000 8.000	6. 830 7. 340	0. 150 0. 100	8. 000 8. 000	_	_		1
20	電線管路	8.000	6, 920	0. 100	8. 000		_		
21	電線管路	8.000	6.870	0. 130	8. 000	_	_	_	_
22	電線管路	8.000	6.920	0. 140	8. 000	_	_	_	_
23	電線管路	8.000	6.610	0. 130	8. 000	_	_	_	_
24	電線管路	8.000	6. 570	0. 150	8. 000		_		
25	電線管路	8.000 8.000	7. 440	0. 110	8. 000	_	_		
26 27	電線管路 電線管路	8.000	7. 440	0. 110 0. 110	8. 000 8. 000		_		
28	電線管路	8.000	7. 580	0. 100	8. 000	_	_	_	_
29	電線管路	8.000	7. 190	0. 110	8. 000	_	_	_	_
30	浄化槽配管	8.000	6.300	0. 400	8. 000	13. 5	12. 1	0.90	0.17
31	浄化槽配管	8.000	6.300	0.400	8. 000	13. 5	12. 1	0.90	0.17
32	消火配管	8.000	6. 335	0. 165	8. 000	5.3	5. 4	1.01	_
33	消火配管 消火配管	8.000 8.000	6. 635 6. 686	0. 165 0. 114	8. 000 8. 000	4.4	4. 4	1.01	
35	消火配管	8.000	6. 886	0.114	8.000	_	_	_	_
36	ろ過水配管	8.000	6.611	0. 089	8. 000	_	_	_	_
37	ろ過水配管	8.000	6.611	0. 089	8. 000	_	_	_	_
38	ろ過水配管	8.000	6.482	0.319	8. 000	9.4	9. 3	0.99	0.02
39	ろ過水配管	8.000	6. 935	0. 165	8. 000	3.4	3. 4	1.01	_
40	ろ過水配管 ろ過水配管	8.000 8.000	6. 835 6. 186	0. 165 0. 114	8. 000 8. 000	3.7	3. 8	1.01	
42	ストームドレン配管	8.000	6. 786	0.114	8, 000		_		
43	ストームドレン配管	8.000	6. 786	0. 114	8. 000	_	_	_	_
44	D/Yドレン配管	8.000	6. 586	0. 114	8. 000	_	_	_	_
45	D/Yドレン配管	8.000	6.586	0. 114	8. 000	_	-	_	_
46		8.000	6. 586	0. 114	8. 000	41.0	20.0	0.05	0.10
47	RHRS配管 OG配管	8.000 8.000	5. 387 3. 738	0. 813 0. 762	8. 000 8. 000	41. 2 63. 0	39. 2 57. 3	0. 95 0. 91	0.13
49	OG配管	8.000	4. 438	0. 762	8. 000	52. 7	47. 0	0. 91	0.39
50	min tota	8.000	6. 235	0. 165	8. 000	5. 7	5. 7	1.01	
51	MUW配管	8.000	5. 835	0. 165	8.000	6.9	7. 0	1.00	_
52	MUW配管	8.000	6.640	0.061	8. 000	_		_	_
53	MUW配管	8.000	5. 835	0. 165	8. 000	6.9	7. 0	1.00	- 0.00
54	DGSW配管	8.000	4. 343	0. 457	8.000	32. 4	32. 2	0. 99	0.03
55 56	ケーブル管路 ケーブル管路	8.000 8.000	6. 680 6. 680	0. 120 0. 120	8. 000 8. 000	_			_
57	ケーブル管路	8.000	6. 680	0. 120	8.000	_	_	_	_
58	ケーブル管路	8.000	6.680	0. 120	8.000	_		_	
59	ケーブル管路	8.000	6.680	0.120	8.000	_	_	_	_
60	ケーブル管路	8.000	6. 680	0. 120	8.000	_	_	_	_
61	ケーブル管路	8.000	6.680	0. 120	8. 000 8. 000	_	_		_
62 63	ケーブル管路 ケーブル管路	8.000 8.000	6. 680 6. 680	0. 120 0. 120	8.000	_	_	_	_
64	ケーブル管路	8.000	6. 680	0. 120	8, 000	_		_	
65	ケーブル管路	8.000	6. 680	0. 120	8. 000	_	_	_	_
66	電気マンホール	10.000	8.360	1. 640	10.000	41. 4	6.8	0.16	1.37
67	消火系トレンチ	8.000	7.400	0.600	8.000	11.6	3. 6	0.31	0.41
68	排水構	8.000	7. 400	0.600	8. 000	9.3	3. 1	0.34	0.40

<見直し後>

: 浮き上がり量が15cmを超える箇所

揚圧力の計算式 を誤入力していた。 (計算式の対象セ ルを一列誤っ た。)

No.	名称	路面高	基礎下端	構造物高	地下水位	揚圧力	浮き上がり 抵抗力	安全率	浮き上がり量
	III VI with Anto	T. P. + (m)	T. P. + (m)	(m)	T. P. + (m)	(kN/m)	(kN/m)		(m)
2	排油配管 電線管路	8. 000 8. 000	5. 410	0. 267 0. 100	8.000	13. 4	12. 9	0. 96	0.10
3	電線管路	8. 000	7. 230 5. 740	0. 100	8.000 8.000	39. 5	27.8	0. 71	0.67
4	電線管路	8. 000	5. 740	0.900	8. 000	39. 5	27.8	0. 71	0.67
5	電線管路	8. 000	5. 660	0.850	8.000	40. 4	29. 7	0. 73	0.62
6	電線管路	8.000	5.660	0.850	8.000	42. 2	30. 9	0. 73	0.63
7	電線管路	8.000	6. 580	0.320	8.000	12. 1	20. 2	1. 67	_
8	電線管路	8.000	6. 720	0.160	8.000	8. 7	11. 9	1. 37	_
9	電線管路 電線管路	8.000	6.840	0.160	8.000	7. 4 8. 7	10.5	1. 41	_
10 11	電線管路	8. 000 8. 000	6. 640 6. 540	0.160 0.160	8, 000 8, 000	8. <i>t</i> 8. 5	11.7 11.3	1. 35 1. 33	
12	電線管路	8. 000	6. 540	0.100	8.000	8. 5	11.3	1. 33	
13	電線管路	10.000	8. 450	0. 130	10, 000	_	-	_	_
14	電線管路	8.000	7.140	0.100	8.000	_	_	_	_
15	電線管路	8.000	6. 480	0.200	8.000	7. 4	10.3	1. 39	_
16	電線管路	8. 000	6. 590	0.250	8.000	8. 2	12.5	1. 53	_
17	電線管路	8.000	6. 780	0.100	8.000	_	_		_
18	電線管路	8.000	6. 830	0.150	8.000		_		_
19	電線管路	8. 000 8. 000	7. 340 6. 920	0. 100 0. 140	8.000 8.000		_		
21	電線管路	8. 000	6. 920	0.140	8.000	-	_		
22	電線管路	8. 000	6. 920	0.140	8.000	_	_	_	_
23	電線管路	8.000	6.610	0.130	8.000	_	_	_	_
24	電線管路	8.000	6. 570	0.150	8.000	_	_	_	_
25	電線管路	8.000	7. 440	0.110	8.000	_	_		_
26	電線管路	8.000	7. 440	0.110	8.000	_	_		_
27	電線管路電線等路	8. 000	7. 440 7. 580	0.110	8.000		_		_
28 29	電線管路電線管路	8. 000 8. 000	7. 190	0.100 0.110	8.000 8.000		_		_
30	浄化槽配管	8. 000	6. 294	0.400	8.000	13. 5	12. 1	0. 90	0. 17
31	浄化槽配管	8, 000	6. 294	0.400	8,000	13. 5	12. 1	0. 90	0.17
32	消火配管	8.000	6. 335	0.165	8.000	5. 3	5.4	1.01	_
33	消火配管	8.000	6.635	0.165	8.000	4. 4	4.4	1.01	_
34	消火配管	8. 000	6. 686	0.114	8.000	_	_		_
35	消火配管	8.000	6. 886	0.114	8.000	_	_		_
36 37	ろ過水配管 ろ過水配管	8. 000 8. 000	6. 611 6. 611	0.089 0.089	8.000 8.000		_		
38	ろ過水配管	8. 000	6. 482	0. 319	8.000	9. 4	9.3	0. 99	0.02
39	ろ過水配管	8. 000	6. 935	0. 165	8,000	3. 4	3. 4	1. 01	-
40	ろ過水配管	8.000	6.835	0.165	8.000	3. 7	3.8	1.01	_
41	ろ過水配管	8.000	6. 186	0.114	8.000	_	_	_	_
42	ストームドレン配管	8.000	6. 786	0.114	8.000	_	_		_
43	ストームドレン配管	8.000	6. 786	0.114	8.000	_	_		_
44	D/Yドレン配管	8. 000	6. 586	0.114	8.000 8.000	_	_		_
45 46	<u>D/Yドレン配管</u> D/Yドレン配管	8. 000 8. 000	6. 586 6. 586	0.114	8.000				
47	RHRS配管	8. 000	5. 387	0.813	8.000	41. 2	39. 2	0. 95	0.13
48	OG配管	8. 000	3. 738	0.762	8.000	63. 0	57. 3	0. 91	0.39
49	OG配管	8. 000	4. 438	0.762	8.000	52. 7	47.0	0.89	0.39
50	MUW配管	8.000	6. 235	0.165	8.000	5. 7	5.7	1. 01	_
51	MUW配管	8.000	5. 835	0.165	8.000	6. 9	7.0	1. 00	_
	MUW配管 MUW配管	8. 000 8. 000	6. 640 5. 835	0.061 0.165	8. 000 8. 000	6. 9	7.0	1. 00	
54	DGSW配管	8. 000	4. 343	0. 165	8.000	32. 4	32. 2	0. 99	0.03
55	ケーブル管路	8. 000	6. 680	0. 120	8,000	-	-	-	-
56	ケーブル管路	8. 000	6. 680	0.120	8.000	1	_	_	_
57	ケーブル管路	8.000	6.680	0.120	8.000	-	_	_	_
58	ケーブル管路	8.000	6.680	0.120	8.000	_	_	_	_
59	ケーブル管路	8. 000	6. 680	0.120	8.000	_	_		_
60	<u>ケーブル管路</u> ケーブル管路	8. 000 8. 000	6.680	0.120	8.000	-			_
61 62	ケーブル管路	8.000	6. 680 6. 680	0. 120 0. 120	8.000 8.000	_	_		_
63	ケーブル管路	8. 000	6. 680	0.120	8.000		_		_
64	ケーブル管路	8. 000	6. 680	0.120	8.000	_	_	_	_
65	ケーブル管路	8. 000	6. 680	0.120	8.000		_	_	_
66	電気マンホール	10.000	8.360	1.640	10.000	41. 4	6.8	0.16	1.37
67		8.000	7. 400	0.600	8.000	11.6	3.6	0. 31	0.41
68	排水溝	8.000	7. 400	0.600	8.000	9. 3	3.1	0. 34	0.40

浮き上がり評価結果の前後比較(2/2)

<見直し前>

]:浮き上がり	0 が15cmを超	える箇所		
No.	名称	路面高	基礎下端	構造物高	地下水位	揚圧力	浮き上がり 抵抗力	安全率	浮き上がり 量
	ELT WITTING	T.P.+ (m)	T. P. + (m)	(m)	T.P.+ (m)	(kN/m)	(kN/m)	0.00	(m)
69 70	原水系,消火系トレンチ 消火系トレンチ	8. 000 8. 000	6. 920 7. 240	1.080 0.760	8. 000 8. 000	28. 9 14. 2	5. 7 3. 9	0. 20 0. 27	0.87 0.55
_	電線管トレンチ	8.000	7. 660	0.340	8. 000	3.0	1. 7	0. 55	0.15
	油系トレンチ	8.000	7. 270	0.730	8.000	11. 3	3. 4	0.30	0.51
	排水枡 電線管トレンチ	8. 000 8. 000	6. 900 7. 540	1.100 0.460	8. 000 8. 000	13. 4 8. 3	3. 9	0. 29 0. 37	0.78
	ろ過水系トレンチ	8.000	7. 060	0.940	8. 000	19. 9	4. 6	0. 23	0.72
-	消火系トレンチ	8.000	7. 290	0.710	8.000	13.8	3. 9	0. 28	0.51
	海水系トレンチ 消火系トレンチ	8. 000 8. 000	6. 120 7. 000	1.880 1.000	8. 000 8. 000	242. 9 23. 1	20.3 5.0	0. 08 0. 22	1.72 0.78
79	消火系トレンチ	8.000	7. 250	0.750	8. 000	14. 4	3. 9	0. 27	0.55
	プロパン配管トレンチ	8.000	7. 550	0.450	8.000	6.4	2.6	0.41	0. 27
	消火系トレンチ 排水構	8. 000 8. 000	6. 770 7. 580	1.230 0.420	8. 000 8. 000	23. 1 4. 7	5. 0 2. 2	0. 22 0. 46	0.96 0.23
	排水溝	8. 000	7. 400	0.600	8. 000	9.3	3. 1	0. 34	0.40
	補助蒸気系トレンチ	8.000	7. 540	0.460	8.000	7.5	2. 9	0.38	0.28
	原水系トレンチ 排水構	8. 000 8. 000	7. 010 7. 710	0.990 0.290	8. 000 8. 000	9. 2 3. 0	3. 3 1. 8	0. 36 0. 58	0.64
	5過水系トレンチ	8. 000	6. 800	1.200	8. 000	21. 0	4. 8	0. 23	0.12
-	排水溝	8.000	7. 490	0.510	8.000	4.9	2. 2	0.44	0.28
	起動変圧器洞道	8. 000	2. 950	2.950 3.000	8. 000 8. 000	264.5	198. 0	0.75	1. 27
	主変圧器洞道 RHRS配管	8. 000 8. 000	2. 900 4. 200	2.000	8.000	267. 1 149. 8	222. 8 126. 3	0. 83 0. 84	0.85
	RHRS配管	8.000	4. 400	1.800	8.000	127.7	108.6	0.85	0.54
93	ケーブル管路	8. 000	5. 900	0.900	8.000	91.1	333.3	3. 66	_
94 95	<u>ケーブル管路</u> ケーブル管路	8. 000 8. 000	5. 900 5. 900	0.900 0.900	8. 000 8. 000	91. 1 91. 1	333. 3 333. 3	3. 66 3. 66	_
	取水配管	8.000	2. 400	3.200	8. 000	353.3	260.6	0.75	1.37
	取水配管	8.000	2. 400	3.200	8.000	353.3	266. 6	0.75	1. 37
	取水配管 補機冷却水管路	8. 000 8. 000	2. 400 4. 780	3. 200 3. 120	8.000 8.000	353.3 243.6	266. 6 144. 8	0. 75 0. 59	1.37
	放水路	8. 000	-3.100	4.600	8. 000	2648. 7	2283. 7	0.86	1.53
	放水配管	8. 000	1.400	3.200	8.000	416.4	329. 7	0.79	1.37
	放水配管 放水配管	8. 000 8. 000	1. 400 1. 400	3.200 3.200	8. 000 8. 000	416. 4 416. 4	329. 7 329. 7	0. 79 0. 79	1.37
	補機冷却水管路	8. 000	4. 780	3.120	8. 000	243.6	75.0	0. 73	2.23
105	非常用冷却水路	8. 000	5. 200	2.800	8. 000	363.9	97.4	0.27	2.05
	非常用冷却水路 電力ケーブル暗渠	8. 000 8. 000	5. 200 4. 550	2.800 2.850	8. 000 8. 000	363.9 220.9	97. 4 141. 1	0. 27 0. 64	2.05 1.25
	RHRS配管	8. 000	2.000	2.000	8. 000	193.6	210. 2	1.09	1. 23
109	RHRS配管	8. 000	2. 200	1.800	8.000	170.8	184. 1	1.08	/-/
	ケーブル管路	8. 000	5. 900	0.900	8. 000	91.1	283. 3	3.66	
	ケーブル管路 取水配管	8. 000 8. 000	6. 200 2. 400	0.600 3.200	8. 000 8. 000	31. 3 353. 3	83. 4 266. 6	2,66 0,75	1.37
	取水配管	8. 000	2.400	3.200	8.000	353.3	266.6	0.75	1.37
	取水配管	8. 000	2. 400	3.200	8. 000	353 3	<u> 286. 6</u>	0.75	1.37
	ケーブル管路 補機冷却水管路	8. 000 8. 000	5. 100 1. 080	1.300 3.070	8. 000 8. 000	137. 2 510. 1	472. 1 409. 0	3. 44 0. 80	1.37
_	放水路	8. 000	-3.000	4.600	8. 000	2624.8	2259. 9	0.88	1.53
	復水器冷却用取水路 (東海発電所)	8.000	-7.700	8.500	8. 000	2984.9	3128.3	1 05	- 0.07
119 120	一般排水配管 一般排水配管	8. 000 8. 000	6. 300 6. 400	0.700 0.360	8. 000 8. 000	23. 1 11. 2	18. 1 9. 9	0. 78	0.37 0.18
121	一般排水配管	8.000	6. 300	0.470	8.000	15.5	13.3	0.86	0.18
122	一般排水配管	8.000	2. 187	0.470	8. 000	53.0	50.8	0.96	0.24
123 124	一般排水配管 一般排水配管	8. 000 8. 000	5. 276 3. 660	0.584 0.700	8. 000 8. 000	30. 9 58. 9	27. 4 53. 9	0. 89 0. 91	0.31
125		8.000	6. 140	0.700	8. 000	14. 1	1/3 /	0.95	0.37
126	蒸気系配管	8.000	5. 324	0.076	8.000	4.0	4.1	1.03	_
	電線管路 電線管路	8. 000 8. 000	6. 900 6. 230	0.300 0.450	8. 000 8. 000	11. 2 21. 4	29. 0 48. 2	2. 60 2. 25	_
	RHRS配管	8.000	5. 500	2.000	8. 000	21. 4 97. 0	74.4	0.77	0.58
130	RHRS配管	8.000	5. 700	1.800	8.000	80.3	61.9	0.77	0.53
131 132	O G 配管 一般排水配管	8.000	3.784	0.216	8. 000 8. 000	17.7	17.4	0.98	0.07
132	一般排水配管 一般排水配管	8. 000 8. 000	6. 738 6. 939	0.360 0.360	8. 000 8. 000	8.8 7.4	7. 6 6. 2	0. 86 0. 83	0.18 0.18
134	一般排水配管	8. 000	6. 942	0.254	8. 000	5.2	4. 7	0.90	0.11
	OG配管	8.000	3. 738	0.762	8. 000	63.0	57.3	0.91	0.39
	MUW配管 DGSW配管	8. 000 8. 000	6. 740 4. 343	0.061 0.457	8. 000 8. 000	32. 4	32.2	0.99	0.03
191	ロひつwmm	0.000	4. 343	v. 40 (0.000	JZ. 4	34.4	0.99	0.03

揚圧力の計算式 を誤入力していた。 (計算式の対象セ ルを一列誤っ た。)

浮き上がり抵抗 力の計算式を誤 入力していた。 (計算式の対象セ ルを一列誤っ た。)

<見直し後>

					: 浮き上がり) 量が15cmを	超える箇所		
No.	名称	路面高	基礎下端	構造物高	地下水位	揚圧力	浮き上がり 抵抗力	安全率	浮き上がり 量
	ELT WITTING	T. P. + (m)	T. P. + (m)	(m)	T. P. + (m)	(kN/m)	(kN/m)	0.00	(m)
69 70	原水系,消火系トレンチ 消火系トレンチ	8. 000 8. 000	6. 920 7. 240	1.080 0.760	8. 000 8. 000	28. 9 14. 2	5. 7 3. 9	0. 20 0. 27	0. 87 0. 55
71	電線管トレンチ	8. 000	7. 660	0. 700	8.000	3.0	1. 7	0. 55	0. 15
72	油系トレンチ	8. 000	7. 270	0.730	8.000	11. 3	3. 4	0. 30	0. 51
73	排水枡	8. 000	6. 900	1.100	8.000	13. 4	3. 9	0. 29	0.78
74	電線管トレンチ	8. 000	7. 540	0.460	8.000	8.3	3. 1	0. 37	0. 29
75 76	ろ過水系トレンチ 消火系トレンチ	8. 000 8. 000	7.060 7.290	0.940 0.710	8. 000 8. 000	19. 9 13. 8	4. 6 3. 9	0. 23 0. 28	0. 72 0. 51
77	海水系トレンチ	8. 000	6. 120	1. 880	8.000	242. 9	20. 3	0. 08	1. 72
78	消火系トレンチ	8. 000	7.000	1.000	8.000	23. 1	5. 0	0. 22	0.78
79	消火系トレンチ	8. 000	7. 250	0.750	8.000	14. 4	3. 9	0. 27	0.55
80	プロパン配管トレンチ	8. 000	7. 550	0.450	8.000	6.4	2.6	0. 41	0. 27
81 82	消火系トレンチ 排水溝	8. 000 8. 000	6. 770 7. 580	1. 230 0. 420	8. 000 8. 000	23. 1	5. 0 2. 2	0. 22	0. 96 0. 23
83	排水溝	8. 000	7. 400	0.600	8.000	9.3	3. 1	0. 34	0. 40
84	補助蒸気系トレンチ	8. 000	7. 540	0.460	8.000	7.5	2.9	0.38	0. 28
85	原水系トレンチ	8. 000	7. 010	0.990	8.000	9.2	3. 3	0.36	0.64
86	排水溝	8. 000	7. 710	0. 290	8.000	3.0	1.8	0. 58	0. 12
87 88	ろ過水系トレンチ 排水溝	8. 000 8. 000	6.800 7.490	1. 200 0. 510	8. 000 8. 000	21. 0 4. 9	4.8 2.2	0. 23	0. 93 0. 28
89	起動変圧器洞道	8. 000	2. 950	2. 950	8.000	264. 5	198.0	0. 75	1. 27
90	主変圧器洞道	8. 000	2.900	3.000	8.000	267. 1	222.8	0.83	0.85
91	RHRS配管	8. 000	4. 200	2.000	8.000	149.8	126.3	0.84	0.60
92	RHRS配管 たっずル等略	8. 000	4. 400	1.800 0.900	8.000	127. 7	108.6	0.85	0.54
93	ケーブル管路 ケーブル管路	8. 000 8. 000	5. 900 5. 900	0.900	8. 000 8. 000	146. 7 146. 7	333.3 333.3	2. 27 2. 27	_
95	ケーブル管路	8, 000	5. 900	0.900	8.000	146. 7	333.3	2. 27	_
96	取水配管	8. 000	2. 400	3. 200	8.000	353. 3	266.6	0. 75	1. 37
97		8. 000	2.400	3. 200	8.000	353. 3	266.6	0.75	1. 37
98	取水配管	8. 000	2. 400	3. 200	8.000	353. 3	266.6	0.75	1. 37
99 100	補機冷却水管路 放水路	8. 000 8. 000	4. 7 80 -3. 100	3. 120 4. 600	8. 000 8. 000	243. 6 2648. 7	144. 8 2283. 7	0. 59 0. 86	1. 31 1. 53
101	放水配管	8.000	1. 400	3. 200	8.000	416. 4	329.7	0. 79	1. 37
		8.000	1.400	3. 200	8.000	416. 4	329.7	0.79	1. 37
		8.000	1.400	3. 200	8.000	416.4	329.7	0.79	1.37
104	補機冷却大管路	8.000	4. 780	3. 120	8.000	243. 6	75. 0	0.31	2. 23
	非常用冷却水路 非常用冷却水路	8. 000 8. 000	5. 200 5. 200	2. 800 2. 800	8. 000 8. 000	363. 9 363. 9	97. 4 97. 4	0.27 0.27	2. 05 2. 05
	電力ケーブル暗渠	8.000	4. 550	2. 850	8.000	220. 9	141.1	0.64	1. 25
	RHRS配管	8.000	2.000	2.000	8.000	193. 6	210.2	1.09	_
	RHRS配管	8.000	2. 200	1.800	8.000	170.8	184.1	1.08	_
110	, H 2H	8.000	5. 900	0.900	8.000	146. 7	333.3	2. 27	_
111	ケーブル管路 取水配管	8. 000 8. 000	6. 200 2. 400	0. 600 3. 200	8. 000	41. 9 353. 3	83. 4 266. 6	1. 99 0. 75	1. 37
	取水配管	8. 000	2. 400	3. 200	8.000	353. 3	266.6	0.75	1. 37
114	取水配管	8.000	2. 400	3. 200	8.000	353 3	266.6	0.75	1. 37
	ケーブル管路	8.000	5. 100	1. 300	8.000	202. 5	472.1	2.33	- 1 05
	補機冷却水管路 放水路	8. 000 8. 000	1. 080 -3. 000	3. 070 4. 600	8. 000 8. 000	510. 1 2624. 8	409.0 2259.9	0.80	1. 37 1. 53
	(水)	8. 000	-3. 000 -7. 700	8. 500	8.000	2984. 9	3128.3	1. 05	- 1.00
119		8.000	6. 300	0.700	8.000	23. 1	18. 1	0.78	0.37
120	一般排水配管	8.000	6. 400	0.360	8.000	11. 2	9.9	0.89	0.18
121	一般排水配管	8.000	6. 300	0.470	8.000	15. 5	13.3	0.86	0. 24
122 123	一般排水配管 一般排水配管	8. 000 8. 000	2. 187 5. 276	0. 470 0. 584	8. 000 8. 000	53. 0 30. 9	50. 8 27. 4	0.96 0.89	0. 24
124	一般排水配管	8.000	3. 660	0. 700	8.000	58. 9	53. 9	0.89	0.37
125	予備変圧器洞道	8.000	6, 140	0.265	8,000	14. 1	13 4	0.95	0.09
126		8.000	5. 324	0.076	8.000	10.0	4. 0	1.00	_
		8.000	6. 900	0.300	8.000	16. 0 27. 5	29.0	1.81 1.75	_
	電線管路 RHRS配管	8. 000 8. 000	6. 230 5. 500	0. 450 2. 000	8.000	97. 0	48. 2 74. 4	0.77	0. 58
	RHRS配管	8.000	5. 700	1.800	8.000	80. 3	61. 9	0.77	0.53
131	OG配管	8.000	3. 784	0.216	8.000	17. 7	17. 4	0.98	0.07
132	一般排水配管	8. 000	6. 738	0.360	8.000	8.8	7.6	0.86	0.18
133	一般排水配管 一般排水配管	8. 000 8. 000	6. 939 6. 942	0.360 0.254	8. 000 8. 000	7.4 5.2	6. 2 4. 7	0.83	0.18
	OG配管	8.000	3. 738	0. 762	8.000	63. 0	57. 3	0.91	0. 39
	MUW配管	8.000	6. 740	0.061	8.000		_	_	
137	DGSW配管	8.000	4. 343	0.457	8.000	32. 4	32. 2	0.99	0.03

計算式入力誤りの内容と見直し結果の確認方法

①計算式入力誤りの内容

<計算部> 揚圧力=A+B

<評価結果>

No.	名称	路面高	基礎下端	構造物高	地下水位	揚圧力	浮き上がり 抵抗力	安全率	浮き上がり 量
		T. P. + (m)	T. P. + (m)	(m)	T. P. + (m)	(kN/m)	(kN/m)		(m)
1	排油配管	8.000	5. 410	0. 267	8.000	13.4	12. 9	0.96	0.10
2	電線管路	8.000	7. 230	0.100	8.000	_	_	_	_
3	電線管路	8. 000	5. 740	0.900	8.000	39. 5	27.8	0.71	0.67
4	電線管路	8.000	5. 740	0.900	8.000	39. 5	27.8	0.71	0.67
5	電線管路	8.000	5.660	0.850	8.000	40.4	29. 7	0.73	0.62
6	電線管路	8. 000	5.660	0.850	8.000	42.2	30. 9	0.73	0.63
7	電線管路	8.000	6.580	0.320	8.000	12. 1	20. 2	1. 67	_
8	電線管路	8.000	6.720	0.160	8.000	8. 7	11. 9	1. 37	_
9	電線管路	8.000	6.840	0. 160	8.000	7.4	10.5	1.41	_
10	電線管路	8.000	6.640	0.160	8.000	8. 7	11.7	1. 35	_
11	電線管路	8. 000	6.540	0.160	8.000	8. 5	11.3	1. 33	_
12	電線管路	8, 000	6, 540	0.160	8,000	8, 5	11.3	1, 33	_

●A列の式に誤りがあった

(誤) ①×(水の単位体積重量)×②

(正) ①×(水の単位体積重量)×③

<言	算部	>				3	2						1				Α	В			
No.		名称			外往	径		P	內径		頂部標高	被り厚さ	地下水位基礎下端までの高	上載荷重	躯体荷重	内容物荷 重	静水圧による揚圧力	過剰間隙水 圧による揚 圧力	安全率	安定不足荷重	浮き上 り量
			種	類		幅 (m)	高さ (m)	厚さ	幅 (m)	高さ (m)	T. P. + (m)	(m)	さ (m)	(kN/m)	(kN/m)	(kN/m)	(kN/m)	(kN/m)		(kN/m)	(m)
1	排油配管		配管	250A	0	0. 2	674	sch40 0.009	0.2	488	5.677	2. 323	2.590	12.051	0.878		6. 788	6.650	0.962	0.509	0.100
2	電線管路																				
3	電線管路		カルノ	バート		0.9000	0.9000	50mm	0.8000	0.8000	6.640	1.360	2. 260	23.746	4. 080		1			. 634	0.670
4	電線管路		カルノ	バート		0.9000	0.9000	50mm	0.8000	0.8000	6.640	1.360	2. 260	23.746	4. 080		19	·算式設	ያአ ታ	. 634	0.670
5	電線管路		カルノ	バート		0.8900	0.8500	50mm	0.7900	0.7500	6.510	1.490	2.340	25. 726	3.936		20	开业切	ペノヘノコ	. 740	0.620
6	電線管路		カルノ	バート		0.9300	0.8500	50mm	0.8300	0.7500	6.510	1.490	2.340	26.883	4.032		2 . 32.1	20.892	0.732	11.304	0.630
7	電線管路		ケーフ	ブル東		0.4400	0.3200		_	-	6.900	1.100	1.420	9.390	10.842		6. 123	5. 998	1.669	[
8	電線管路		ケーフ	ブル東		0.3500	0.1600		_	-	6.880	1.120	1.280	7.605	4.312		4.390	4. 301	1.371	[
9	電線管路		ケーフ	ブル東		0.3300	0.1600		_	-	7.000	1.000	1.160	6.402	4.066		3.751	3. 675	1.410		
10	電線管路			ブル東		0.3300	0.1600		-	-	6.800	1.200	1.360	7. 682	4.066		4.398	4. 308	1.349		
11	電線管路		ケーフ	ブル東		0.3000	0.1600		-	-	6.700	1.300	1.460	7. 566	3.696		4.292	4. 205	1.325		

②見直し結果の確認方法

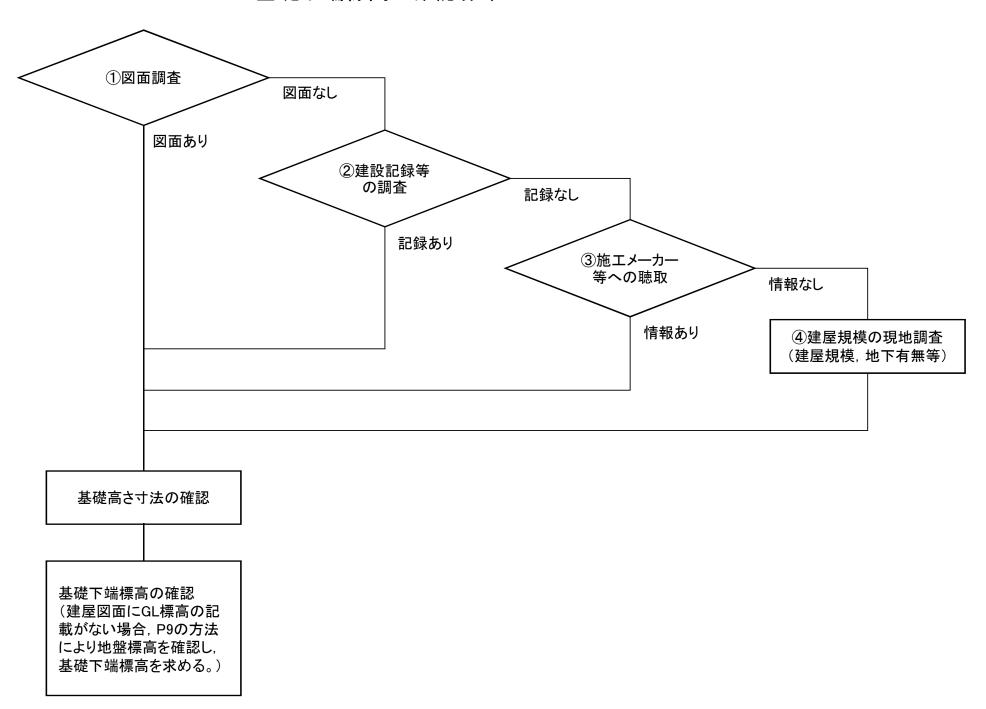
計算式誤入力箇所の見直しを行った後、Excelデータの数式表示機能により各セルの計算式を表示した 帳票により、全ての式の内容について、ダブルチェックを実施した。

No.	名称	静水圧による揚圧力	過剰間隙水圧による揚圧力	安全率
		(kN/m)	(kN/m)	
1	排油配管	=AI19*\$D\$11*W19	=(\$D\$7-\$D\$11)*W19*AI19	= (A019+AP19+AQ19) / (AR19+AS19)
2	電線管路			
3	電線管路	=AI21*\$D\$11*W21	=(\$D\$7-\$D\$11)*W21*AI21	= (A021+AP21+AQ21) / (AR21+AS21)
4	電線管路	=AI22*\$D\$11*W22	=(\$D\$7-\$D\$11)*W22*AI22	= (A022+AP22+AQ22) / (AR22+AS22)
5	電線管路	=AI23*\$D\$11*W23	=(\$]	3+AP23+AQ23) / (AR23+AS23)
6	電線管路	=AI24*\$D\$11*W24	計算式を表え	(4+AP24+AQ24) / (AR24+AS24)
7	電線管路	=AI25*\$D\$11*W25	=(\$ 日昇丸で仪/	25+AP25+AQ25) / (AR25+AS25)
8	電線管路	=AI26*\$D\$11*W26	=(\$] \\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	6+AP26+AQ26) / (AR26+AS26)
9	電線管路	=AI27*\$D\$11*W27	=(\$D\$7-\$D\$11)*W27*AI27	= (A027+AP27+AQ27) / (AR27+AS27)
10	電線管路	=AI28*\$D\$11*W28	=(D\$7-D\$11)*W28*AI28	= (A028+AP28+AQ28) / (AR28+AS28)
11	電線管路	=AI29*\$D\$11*W29	=(D\$7-D\$11)*W29*AI29	= (A029+AP29+AQ29) / (AR29+AS29)
12	電線管路	=AI30*\$D\$11*W30	=(\$D\$7-\$D\$11)*W30*AI30	= (A030+AP30+AQ30) / (AR30+AS30)

建屋基礎高さ及び下端標高の確認方法について(1/5)

- 建屋基礎高さ及び下端標高の確認は、根拠資料に基づき確認を行った。
- 根拠資料は基礎寸法が確認できる図面を基本とするが、図面が確認できない建屋については、下記のフローに従い、根拠資料の検索を行った。

基礎下端標高の確認作業フロー



建屋基礎高さ及び下端標高の確認方法について(2/5)

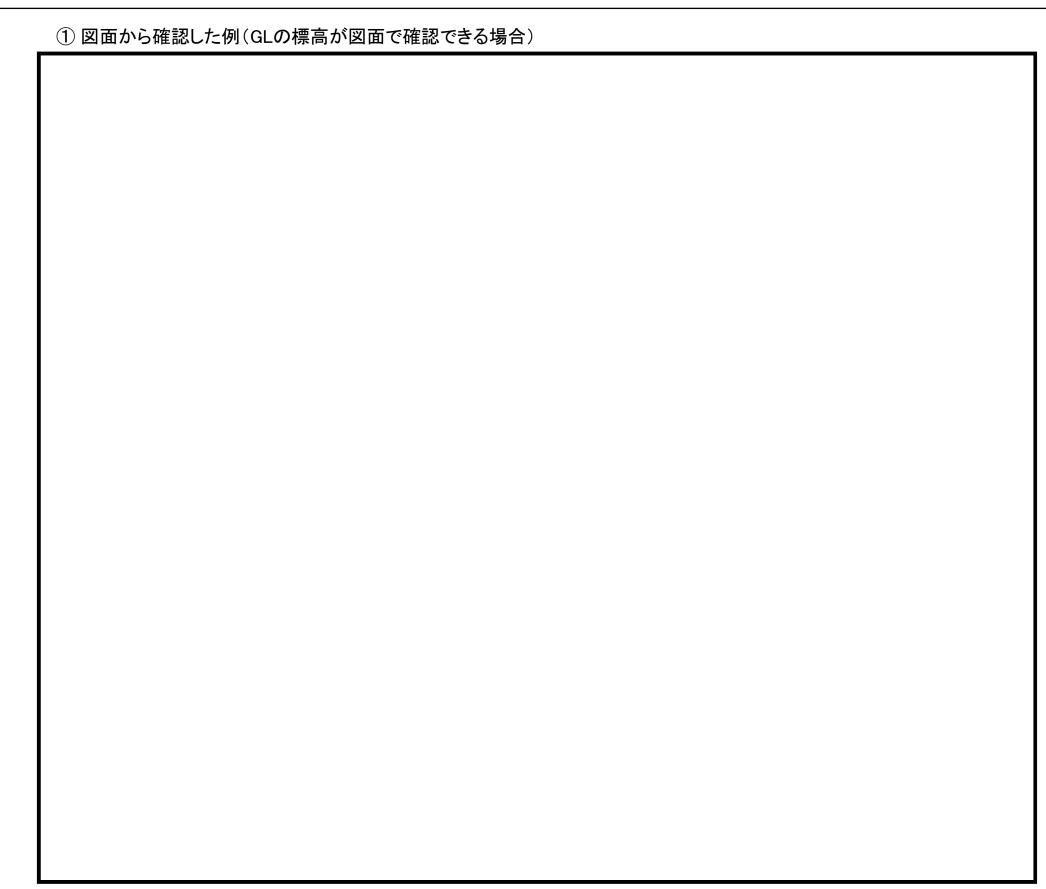
• 下表に建屋基礎高さを確認した根拠資料の一覧を示す。

No.	名称	根拠資料
1	機械工作室用ボンベ庫	①図面
2	監視所	①図面
3	消防自動車車庫	①図面
4	H202ボンベ庫	①図面
5	機械工作室	①図面
6	屋内開閉所	①図面 ○図 ▼
7 8	パトロール車車庫 H2CO2ガスボンベ貯蔵庫	①図面 ①図面
9	主発電機用ガスボンベ庫	
10	タービン建屋	①図面
11	原子炉建屋	①図面
12	サービス建屋	①図面
13	水電解装置建屋	①図面
14	ベーラー建屋	①図面
15	サンプルタンク室 (R/W)	①図面
16	ヘパフィルター室	①図面
17	マイクロ無線機室	①図面
18	モルタル混練建屋	①図面
19	廃棄物処理建屋	①図面 ①図 =
20	排気筒モニター室 機器搬入口建屋	①図面
22	地下排水上屋(東西)	①図面
23	CO2ボンベ室	①図面
24	チェックポイント	①図面
25	サービス建屋~チェックポイント歩道上屋	①図面
26	サービス建屋ボンベ室	①図面
27	所内ボイラー用ボンベ庫	①図面
28	擁壁①	①図面 ②図 工
30	別館 PR第二電気室	①図面 ①図面
31	給水処理建屋	
32	固体廃棄物貯蔵庫A棟	①図面
33	固体廃棄物貯蔵庫B棟	①図面
34	給水加熱器保管庫	①図面
35	取水口電気室	①図面
36	屋外第二電気室	①図面
37	補修装置等保管倉庫	①図面
38	プロパンガスボンベ室 機材倉庫	①図面 ①図面
40	No.1保修用油倉庫	①図面
41	No. 2保修用油倉庫	①図面
42	固体廃棄物作業建屋	①図面
43	緊急時対策室建屋	①図面
44	事務本館	①図面
45	原子炉建屋(東海発電所)	①図面
46	タービンホール (東海発電所) サービス建屋 (東海発電所)	①図面 ①図面
	燃料倉庫	
49	工具倉庫	④ 建屋規模の現地調査
50	固化処理建屋	①図面
51	サイトバンカー建屋	①図面
52	放射性廃液処理施設	①図面
53	地下タンク上屋(東)	①図面
54	地下タンク上屋(西)	①図面
55 56	使用済燃料貯蔵施設 Hバンカー	①図面 ①図面
57	黒鉛スリーブ貯蔵庫	①図面
58	燃料スプリッタ貯蔵庫	①図面
59	低放射性固体廃棄物詰ドラム貯蔵庫	①図面
60	保修機材倉庫	①図面
61	ボーリングコア倉庫	①図面
62	ランドリー建屋	①図面
63	再利用物品置場テントNo.4	①図面
64	再利用物品置場テントNo.5	①図面
65 66	再利用物品置場テントNo.6 ボイラー上屋	①図面 ①図面
67	使用済燃料乾式貯蔵建屋	①図面
68	非常用ディーゼルポンプ室	①図面

No.	名称	根拠資料
69	C. W. P制御盤室	①図面
70	油倉庫	①図面
71	配電設備室	①図面
72	水処理倉庫	④建屋規模の現地調査
73	資料2号倉庫	①図面
74	資料5号倉庫	①図面
75	資料4号倉庫	①図面
76	擁壁②	①図面
77	常設代替高圧電源装置	①図面
78	排水処理建屋	①図面
79	送水ポンプ室	①図面
80	受水槽量水器小屋	①図面
81	加圧式空気圧縮機小屋	①図面
82	飲料水ポンプ室	②構造計算書
83	空気圧縮機室	①図面
84	ホットワークショップ	①図面
85	屋外タンク上屋	①図面
86	飲料水次亜鉛滅菌装置室	①図面
87	緊急時対策所建屋	①図面
88	原子力館	①図面
89	正門監視所	①図面
90	放管センター	①図面
A	275kV送電鉄塔 (No. 1)	③メーカーからの情報
В	154kV・66kV送電鉄塔(No. 6)	③メーカーからの情報
С	154kV・66kV送電鉄塔(No.7)	③メーカーからの情報
D	154kV・66kV送電鉄塔(No. 8)	③メーカーからの情報
Е	多目的タンク	①図面
F	純水貯蔵タンク	①図面
G	ろ過水貯蔵タンク	①図面 ○ B = C = C = C = C = C = C = C = C = C =
H	原水タンク	①図面 ②図 図
I	溶融炉苛性ソーダタンク	①図面
J	溶融炉アンモニアタンク	①図面 ②図 工
K	主要変圧器	
L	所内変圧器 起動変圧器	
M	起動変圧器	①図面
N	予備変圧器 廃棄物加速長 梅复空調 ばれし	①図面
0 P	廃棄物処理建屋 換気空調ダクト 主排気ダクト	建屋屋上に設置されている設備のため対象外 建屋屋上に設置されている設備のため対象外
	土排気ダクト 排気筒	建屋屋上に設直されている設備のため対象外 ①図面
Q R	排気筒 (東海発電所)	□凶田 建屋屋上に設置されている設備のため対象外
S		国図面
T	No. 1所内トランスN2タンク No. 1主トランスN2タンク	①図面
IJ	No. 2主トランスN2タンク No. 2主トランスN2タンク	①図面
V	No. 2所内トランスN2タンク	①図面
W	No. 2月17 トラン ハN2テンラ 600t純水タンク	①図面
X	154kV引留鉄構	①図面
Λ	110年1171田 欧門	UDH

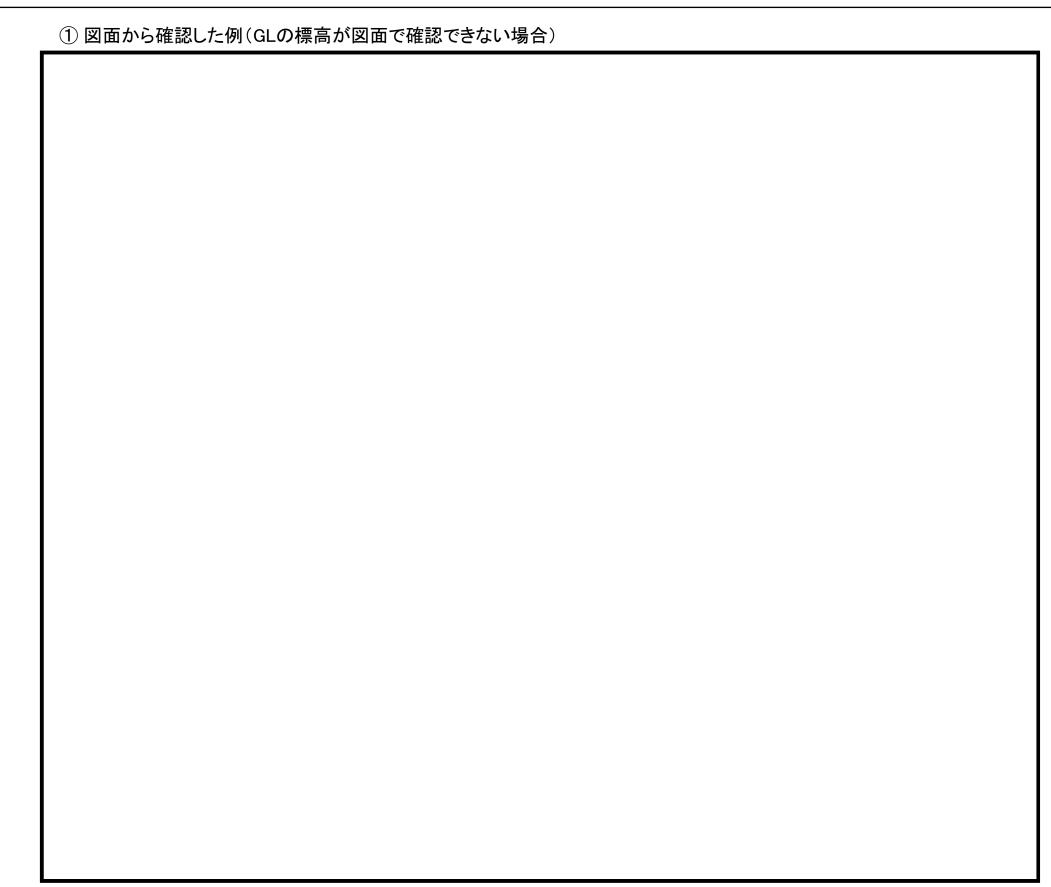
建屋基礎高さ及び下端標高の確認方法について(3/5)

• 以下に収集した根拠資料に基づき基礎高さを確認した結果を例示する。



建屋基礎高さ及び下端標高の確認方法について(4/5)

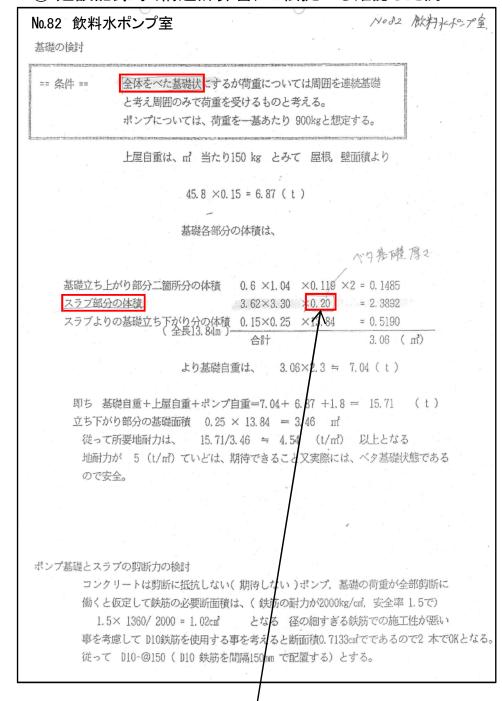
• 以下に収集した根拠資料に基づき基礎高さを確認した結果を例示する。



建屋基礎高さ及び下端標高の確認方法について(5/5)

以下に収集した根拠資料に基づき基礎高さを確認した結果を例示する。

② 建設記録等(構造計算書)の根拠から確認した例



ベタ基礎厚さ0.2mと読み取れるが、根入れ深さが不明な ため、安全側に設置地盤標高から0.2mを差し引いた値を 基礎下端標高とした。

4	建屋	規模の現地調査から確認した例
	No.72	水処理倉庫

①~③の手順でも根拠資料が見つからなかったため、現地調査 により建屋規模を確認した。

結果. 極小規模の倉庫であり. 地下室等も確認されなかったた め. 類似する建屋の基礎高さから1m未満と判断した。

建屋基礎下端標高を適正化した内容

- 建屋基礎下端標高を適正化した内容は、下記のとおりである。
- ① 数値の丸め方(少数点以下第二位を四捨五入→切り捨て)及び基礎下端とする位置(砕石下端→躯体下端)を見直した。
- ② 同一建屋において高さの異なる基礎があり、採用する基礎下端標高を見直した。
- ③ 同一規模の建屋との比較により基礎高さを1mと判断していたが、図面調査等により基礎高さを確認できたため、基礎下端標高を見直した。
- 下表に適正化の分類を示す。

✓目古| 前へ

					: 沈下量が	.5cmを超える	箇所
0.	名称	路面高	基礎 ※ 下端	地下水位	掘削形式	アクセス ルートへの 影響	埋戻部0 沈下量
1	機械工作室用ボンベ庫	T. P. + (m)	T. P. + (m) 7. 0	T. P. + (m) 8. 0	開削,土留	影響有:×	(cm)
1 2	機械工作至用ホンへ庫 監視所	8. 0 8. 0	7. 0	8.0	開削開削	0	
3	消防自動車車庫	8. 0	7.0	8.0	開削	0	
<u>3</u> 4	H202ボンベ庫	8. 0	7.0	8.0	開削	Ö	
5	機械工作室	8. 0	7. 0	8.0	開削	0	
6	屋内開閉所	8. 0	7. 0	8. 0	開削	Ö	
7	パトロール車車庫	8. 0	7. 0	8. 0	開削	Ö	_
8	H2C02ガスボンベ貯蔵庫	8. 0	7. 0	8. 0	開削	Ö	_
9	主発電機用ガスボンベ庫	8. 0	7. 0	8. 0	開削	Ô	_
.0	タービン建屋	8. 0	-14.9	8.0	開削	Ö	
.1	原子炉建屋	8. 0	-15.0	-15.0	開削	×	23.0
2	サービス建屋	8. 0	7.0	8.0	開削	0	_
.3	水電解装置建屋	8. 0	6.8	8.0	開削	0	_
4	ベーラー建屋	8. 0	7.0	8.0	開削	0	_
.5	サンプルタンク室 (R/W)	8. 0	7.0	8.0	開削	0	_
6	ヘパフィルター室	8. 0	7. 0	8.0	開削	0	_
.7	マイクロ無線機室	8. 0	7. 0	8.0	開削	0	_
.8	モルタル混練建屋	8. 0	7. 0	8.0	開削	0	_
9	廃棄物処理建屋	8. 0	-13. 2	-13. 2	土留	×	21.2
0.0	排気塔モニター室	8. 0	7. 0	8.0	開削	0	_
21	機器搬入口建屋	8. 0	7. 0	8.0	開削	0	_
22	地下排水上屋 (東西)	8. 0	7. 0	8.0	開削	0	
23	C02ボンベ室	8. 0	7.0	8.0	開削	0	_
24	チェックポイント	8. 0	7.0	8.0	開削	0	_
25	サービス建屋~チェックポイント歩道上屋	8. 0	7.0	8. 0	開削	0	_
26	サービス建屋ボンベ室	8. 0	7. 0	8.0	開削	0	
27	所内ボイラー用ボンベ庫	8. 0	7.0	8.0	開削	0	
28	擁壁①	8. 0	7.0	8.0	開削	0	_
29	別館	8. 0	7. 0	8.0	開削	0	
80	PR第二電気室	8. 0	7.0	8.0	開削	0	
31	給水処理建屋	8. 0	7. 0	8.0	開削	0	
32	固体廃棄物貯蔵庫A棟	8. 0	1.6	8.0	開削	×	14. 7
33	固体廃棄物貯蔵庫B棟	8. 0	2. 6	8.0	開削	×	12.5
34	給水加熱器保管庫	5. 0	4.0	5.0	開削	0	
35	取水口電気室	8. 0	7.0	8.0	開削	0	
6	屋外第二電気室	8. 0	7.0	8.0	開削	0	
37_	補修装置等保管倉庫	8. 0	6.9	8.0	開削	0	
8	プロパンガスボンベ室	8. 0	7.0	8.0	開削	0	
9	機材倉庫	8. 0	7.0	8.0	開削	0	
1	No. 1保修用油倉庫 No. 2保修用油倉庫	8. 0	7.0	8.0	開削 開削	0	
2	INO. 2休砂用佃倉庫 固体廃棄物作業建屋	8. 0 8. 0	7. 0 5. 0	8. 0 8. 0	土留	×	6.9
	型			8.0	土留		9.2
4	<u> </u>	8. 0 8. 0	4. 0 7. 0	8.0	用削 開削	X	9. 4
15	原子炉建屋(東海発電所)	8. 0	-11.1	8.0	開削	0	
6	タービンホール (東海発電所)	8. 0	0.6	8.0	開削	0	
17	サービス建屋(東海発電所)	8. 0	6.6	8.0	開削	0	
18	燃料倉庫	8. 0	7. 0	8.0	開削	Ö	_
9	工具倉庫	8. 0	7. 0	8.0	開削	Ö	_
60	固化処理建屋	8. 0	6. 7	8.0	開削	Ö	_
	サイトバンカー建屋	8. 0	2. 0	8.0	開削	×	13.8
	放射性廃液処理施設	8. 0	4. 0	8.0	開削	0	
	地下タンク上屋(東)	8. 0	7. 0	8.0	開削	Ö	_
4	地下タンク上屋 (西)	8. 0	7. 0	8.0	開削	Ö	
55	使用済燃料貯蔵施設	8. 0	6.1	8.0	開削	0	_
6	Hバンカー	8. 0	6. 1	8.0	開削	0	
7	黒鉛スリーブ貯蔵庫	8. 0	6.1	8.0	開削	0	_
8	燃料スプリッタ貯蔵庫	8. 0	6.1	8.0	開削	0	
9	低放射性固体廃棄物詰ドラム貯蔵庫	8. 0	7. 0	8.0	開削	0	
0	保修機材倉庫	8. 0	7. 0	8.0	開削	0	
51	ボーリングコア倉庫	8. 0	7. 0	8.0	開削	0	
2	ランドリー建屋	8. 0	7. 0	8.0	開削	0	
3	再利用物品置場テントNo.4	8. 0	7. 0	8.0	開削	0	
54	再利用物品置場テントNo.5	8. 0	7. 0	8.0	開削	0	
55	再利用物品置場テントNo.6	8. 0	7. 0	8.0	開削	0	
6	ボイラー上屋	8. 0	7. 0	8.0	開削	0	
7	使用済燃料乾式貯蔵建屋	8. 0	7.0	8.0	開削	0	
8	非常用ディーゼルポンプ室	8. 0	7.0	8.0	開削	0	_

<見直し後>

			基礎 ※	地下		アクセス	埋戻部の	
No.	名称	路面高	下端	水位	掘削形式	ルートへの 影響	沈下量	適正化の 分類
		T. P. + (m)	T. P. + (m)	T.P.+ (m)	開削, 土留	影響有:×	(cm)	JJ 79H
1 機	&械工作室用ボンベ庫	8.0	7.0	8.0	開削	<u>₩</u>	(CIII)	_
1.7.	は視所	8. 0	7. 0	8. 0	開削	0	_	_
	5防自動車車庫	8. 0	7. 0	8.0	開削	Ö		
	202ボンベ庫	8. 0	7. 0	8. 0	開削	Ö	_	_
	との2 ホン・ (単) 後械工作室	8. 0	6. 3	8. 0	開削	Ö	_	(3)
	800年11年 8内開閉所	8. 0	6. 0	8. 0	開削	Ö	_	3
	ペトロール車車庫	8. 0	7. 0	8. 0	開削	Ö	_	_
	2002ガスボンベ貯蔵庫	8. 0	7. 0	8. 0	開削	0	_	_
	三発電機用ガスボンベ庫 - 発電機用ガスボンベ庫	8. 0	7. 0	8. 0	開削	Ö	_	_
	7ービン建屋	8. 0	-14.9	8. 0	開削	×	52. 7	_
	(子炉建屋)	8. 0	-15. 0	-15.0	開削	X	23. 0	
	トービス建屋	8. 0	6. 3	8. 0	開削	Ô		(3)
	く電解装置建屋	8. 0	6. 9	8. 0	開削	0	_	(1)
	<u>、电解表色建度</u> ドーラー建屋	8. 0	4. 0	8.0	開削	0	_	(3)
				8. 0		Ö		(1)
	トンプルタンク室 (R∕W) トパフィルター室	8. 0 8. 0	6. 9 4. 1	8. 0	開削 開削	0		(3)
	-ハフィルター <u>室</u> -イクロ無線機室	8. 0	7. 0	8. 0	開削	0		3
	イクロ無極機至 ・ルタル混練建屋				開削	0		
	:ルタル底線建屋 産棄物処理建屋	8. 0 8. 0	7. 0 -13. 2	8. 0 -13. 2	土留	×	21. 2	
	6乗物処理建産 ‡気筒モニター室							
		8.0	7. 0	8.0	開削	0		
	後器搬入口建屋	8. 0	7. 0	8. 0	開削			
	也下排水上屋(東西)	8. 0	7. 0	8.0	開削	0	_	_
	02ボンベ室	8. 0	7. 0	8. 0	開削	0	_	
	・ エックポイント - バコオピュイ トポイン・1 上来 1 ピ	8. 0	7. 0	8.0	開削	0	_	
	ーービス建屋~チェックポイント歩道上屋	8. 0	7.0	8. 0	開削	0		
	トービス建屋ボンベ室	8. 0	7. 0	8.0	開削	0	_	
	「内ボイラー用ボンベ庫 	8. 0	7. 0	8.0	開削	0		
	<u> </u>	8. 0	7. 0	8. 0	開削	0		
	川館	11. 0	9. 0	11.0	開削	0		
	R第二電気室	11. 0	10.0	11.0	開削	0		
	水処理建屋	11. 0	10.0	11.0	開削	0		
]体廃棄物貯蔵庫A棟	8. 0	1.6	8.0	開削	×	14.8	_
	は は は は は は は は は に は に に に に に に に に に に に に に	8. 0	2. 5	8.0	開削	×	12.7	1
	6水加熱器保管庫	5. 0	4.0	5.0	開削	O	_	_
	水口電気室	3. 0	2.0	3.0	開削	0	_	_
	外第二電気室	8. 0	4.5	8.0	開削	×	8.1	3
	前修装置等保管倉庫	8. 0	7. 0	8.0	開削	0	_	1
	プロパンガスボンベ室	8. 0	7. 0	8.0	開削	0	_	_
	後材倉庫	8. 0	7. 0	8.0	開削	0	_	
	o.1保修用油倉庫	8. 0	7. 0	8.0	開削	0	-	_
41 No	o.2保修用油倉庫	8. 0	7. 0	8.0	開削	0	_	_
42 固	体廃棄物作業建屋	8. 0	5. 3	8.0	土留	×	6.3	1
	《急時対策室建屋	8. 0	4. 1	8.0	土留	×	9.0	1
44 事	務本館	8. 0	5. 7	8.0	開削	0	_	3
	(子炉建屋 (東海発電所)	8. 0	1.6	8.0	開削	0	_	2
	ービンホール(東海発電所)	8. 0	0.9	8.0	開削	0	_	1
	トービス建屋(東海発電所)	8. 0	6. 6	8.0	開削	0	_	_
	料倉庫	8. 0	7. 0	8.0	開削	Ö	_	_
	具倉庫	8. 0	7. 0	8.0	開削	Ö	_	_
	1化処理建屋	8. 0	5. 7	8.0	開削	Ö	_	2
	トイトバンカー建屋	8. 0	1. 9	8.0	開削	×	14.1	(1)
	対性廃液処理施設	8. 0	2. 9	8.0	開削	0	_	2
	也下タンク上屋(東)	8. 0	_	-	-	Ö	_	(3)
	也下タンク上屋(西)	8. 0	7. 0	8.0	開削	Õ	_	_
	E用済燃料貯蔵施設	8. 0	6. 1	8.0	開削	Ö	_	_
	バンカー	8. 0	6. 2	8.0	開削	Ö	_	(Ī)
	農鉛スリーブ貯蔵庫	8. 0	6. 2	8.0	開削	Ö	_	(1)
	**料スプリッタ貯蔵庫	8. 0	6. 2	8.0	開削	Ö	_	(1)
	な対 な射性固体廃棄物語ドラム貯蔵庫	8. 0	7. 0	8. 0	開削	Ö	_	_
	ながれて回体廃棄物品ドクス別蔵庫 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8. 0	6.8	8. 0	開削	Ö		3
	<u>ドド検州 日 庫</u> ドーリングコア倉庫	8. 0	7. 0	8. 0	開削	0		_
	シンドリー建屋	8. 0	7. 0	8. 0	開削	0		
	手利用物品置場テントNo.4	8.0	7. 0	8.0	開削	0		
	手利用物品置場テントNo.5	8. 0		8. 0	開削			
	手利用物品置場テントNo. 6	8. 0	7. 0	8.0	開削	0	_	_
	イラー上屋	8. 0	7. 0	8.0	開削	0	_	_
	5用済燃料乾式貯蔵建屋	8. 0	5. 8	8.0	開削	0	_	3
	常用ディーゼルポンプ室	8. 0	_	_	_	0	_	(3)

建屋基礎下端標高を適正化した内容

- 建屋基礎下端標高を適正化した内容は、下記のとおりである。
- ① 数値の丸め方(少数点以下第二位を四捨五入→切り捨て)及び基礎下端とする位置(砕石下端→躯体下端)を見直した。
- ② 同一建屋において高さの異なる基礎があり、採用する基礎下端標高を見直した。
- ③ 同一規模の建屋との比較により基礎高さを1mと判断していたが、図面調査等により基礎高さを確認できたため、基礎下端標高を見直した。
- 下表に適正化の分類を示す。

<見直し前>

<見直し後>

					:沈下量が1	15cmを超える	箇所
No.	名称	路面高	基礎下端	地下水位	掘削形式	アクセス ルートへの 影響	埋戻部の 沈下量
		T.P.+ (m)	T. P. + (m)	T. P. + (m)	開削,土留	影響有:×	(cm)
69	C. W. P制御盤室	8.0	7.0	8.0	開削	0	_
70	油倉庫	8. 0	7.0	8.0	開削	0	_
71	配電設備室	8.0	7.0	8.0	開削	0	_
72	水処理倉庫	8.0	7.0	8.0	開削	0	_
73	資料2号倉庫	8.0	7.0	8.0	開削	0	_
74	資料5号倉庫	8. 0	7.0	8.0	開削	0	_
75	資料4号倉庫	8.0	7.0	8.0	開削	0	_
76	擁壁②	8.0	7.0	8.0	開削	0	_
77	常設代替高圧電源装置	8.0	7.0	8.0	開削	0	_
78	排水処理建屋	8.0	7.0	8.0	開削	0	_
79	送水ポンプ室	8.0	7.0	8.0	開削	0	_
80	受水槽量水器小屋	8.0	7.0	8.0	開削	0	_
81	加圧式空気圧縮機小屋	8.0	7.0	8.0	開削	0	_
82	飲料水ポンプ室	8.0	7.0	8.0	開削	0	_
83	空気圧縮機室	8. 0	7.0	8.0	開削	0	_
84	ホットワークショップ	8.0	5.0	8.0	開削	0	_
85	屋外タンク上屋	8. 0	7.0	8.0	開削	0	_
86	飲料水次亜鉛滅菌装置室	8. 0	7.0	8.0	開削	0	_
87	緊急時対策所建屋	23.0	22.0	23.0	開削	0	_
88	原子力館	8.0	7.0	8.0	開削	0	_
89	正門監視所	8.0	7.0	8.0	開削	0	_
90	放管センター	8. 0	7.0	8.0	開削	0	_
A	275kV送電鉄塔 (No. 1)	8.0	7.0	8.0	開削	0	_
В	154kV・66kV送電鉄塔 (No.6)	20.0	19.0	20.0	開削	0	_
С	154kV・66kV送電鉄塔(No.7)	8.0	7.0	8.0	開削	0	_
D	154kV・66kV送電鉄塔 (No.8)	8.0	7.0	8.0	開削	0	_
Е	多目的タンク	8.0	7.0	8. 0	開削	0	_
F	純水貯蔵タンク	8.0	7.0	8.0	開削	0	_
G	ろ過水貯蔵タンク	8.0	7.0	8.0	開削	0	_
Н	原水タンク	8. 0	7.0	8.0	開削	0	_
I	溶融炉苛性ソーダタンク	8.0	7.0	8.0	開削	0	_
J	溶融炉アンモニアタンク	8.0	7.0	8.0	開削	0	_
K	主要変圧器	8.0	7.0	8.0	開削	0	_
L	所内変圧器	8.0	7.0	8. 0	開削	0	_
M	起動変圧器	8. 0	7.0	8. 0	開削	0	_
N	予備変圧器	8. 0	7.0	8. 0	開削	0	_
0	廃棄物処理建屋 換気空調ダクト	8.0	7.0	8.0	開削	0	_
Р	排気筒	8. 0	4.5	8.0	土留	0	_
0	排気筒 (東海発電所)	8. 0	4.5	8.0	開削	Ö	
R	Mo. 1所内トランスN2タンク	8. 0	7.0	8.0	開削	0	_
S	No. 1主トランスN2タンク	8. 0	7.0	8.0	開削	0	
T	No. 2主トランスN2タンク	8.0	7.0	8.0	開削	0	
U	No. 2所内トランスN2タンク	8.0	7.0	8.0	開削	0	
V	NO. 2月 PN トランスN2タンタ 600t純水タンク	8. 0	7.0	8.0	開削	0	
	000に作むハグ イン	0.0	1.0	0.0	#1 FI	\cup	

*	基礎下端高さは,	基礎高さ1m未満の	建屋は、基礎	高さを 1 m。	とする。

					: 沈下量が1	l5cmを超える	箇所	
No.	名称	路面高	基礎下端	地下水位	掘削形式	アクセス ルートへの 影響	埋戻部の 沈下量	適正化の 分類
		T. P. + (m)	T. P. + (m)	T.P.+ (m)	開削,土留	影響有:×	(cm)	
	C. W. P制御盤室	8.0	7.0	8.0	開削	0	_	_
	油倉庫	8.0	7.0	8. 0	開削	0	_	_
71	配電設備室	8.0	7.0	8. 0	開削	0	_	_
	水処理倉庫	8.0	7.0	8. 0	開削	0	_	_
73	資料2号倉庫	8.0	7.0	8.0	開削	0	_	_
74	資料5号倉庫	8.0	7.0	8. 0	開削	0	_	_
75	資料4号倉庫	8.0	7.0	8.0	開削	0	_	_
76	擁壁②	8.0	7.0	8.0	開削	0	_	_
77	常設代替高圧電源装置	11.0	-24.0	11.0	土留	_	_	_
78	排水処理建屋	11.0	8.4	11.0	開削	0	_	_
79	送水ポンプ室	11.0	10.0	11.0	開削	0	_	_
80	受水槽量水器小屋	11.0	6.4	11. 0	開削	0	_	_
81	加圧式空気圧縮機小屋	11.0	10.0	11.0	開削	0	_	_
82	飲料水ポンプ室	11.0	10.0	11.0	開削	0	_	_
83	空気圧縮機室	8.0	7.0	8. 0	開削	0	_	_
	ホットワークショップ	8.0	4.5	8. 0	開削	0	_	(2)
85	屋外タンク上屋	8.0	7.0	8. 0	開削	Ô	_	_
86	飲料水次亜鉛滅菌装置室	8.0	7.0	8. 0	開削	Ô	_	_
87	緊急時対策所建屋	23. 0	20.8	23. 0	開削	_	_	(3)
	原子力館	8.0	6.8	8, 0	開削	0	_	3
89	正門監視所	8.0	7.0	8. 0	開削	Ö	_	_
90	放管センター	8.0	6. 2	8. 0	開削	Ö	_	(3)
A	275kV送電鉄塔 (No.1)	8. 0	2. 7	8. 0	開削	Ö	_	3
В	154kV·66kV送電鉄塔 (No. 6)	16. 4	13. 6	16. 4	開削	Ö	_	
С	154kV・66kV送電鉄塔(No. 7)	18. 6	14. 3	18. 6	開削	0	_	_
	154kV・66kV送電鉄塔(No. 8)	14.1	9.9	14.1	開削	0		
E	多目的タンク	11. 0	10. 0	11. 0	開削	0		
F	純水貯蔵タンク	11. 0	10.0	11.0	開削	0	_	
G	る過水貯蔵タンク	11. 0	10. 0	11. 0	開削	0		
Н		11.0	10.0	11.0	開削	0	_	
п Т	溶融炉苛性ソーダタンク	8. 0	7. 0	8, 0	開削	0	_	
_	溶融炉可性/ ニタタンク	8.0	7.0	8. 0	開削	0		
J					開削	0		3
K	主要変圧器	8.0	3.5	8. 0		\sim	_	<u> </u>
L	所内変圧器	8.0	7. 0	8. 0	開削	0		
M	起動変圧器	8.0	4.0	8. 0	開削	0	_	<u>3</u> 3
N	予備変圧器	8.0	4.0	8. 0	開削			
0	廃棄物処理建屋 換気空調ダクト		_	_	_	_	_	3
P	主排気ダクト		4.5		1 1571	_	_	
_	排気筒	8.0	4.5	8. 0	土留	0	_	_
R	排気筒 (東海発電所)	-	_	_		_	_	3
S	No. 1所内トランスN2タンク	8.0	7.0	8. 0	開削	0	_	_
T	No.1主トランスN2タンク	8.0	7.0	8. 0	開削	0	_	
	No. 2主トランスN2タンク	8.0	7.0	8. 0	開削	0		
V	No. 2所内トランスN2タンク	8.0	7.0	8. 0	開削	0	_	_
W	600t純水タンク	8.0	7.0	8. 0	開削	0	_	_
Χ	154kV引留鉄構	11.0	9.7	11.0	開削	0	_	_

建屋基礎下端標高を適正化した内容(1/5)

- 建屋基礎下端標高を適正化した内容②について以下に例示する。
- ② 同一建屋において高さの異なる基礎があり、採用する基礎下端標高を見直した。
- ② の見直し例(No.45 原子炉建屋(東海発電所))

(E) 建設の容易性と経済性

この発電所で最も重量が大きく重要なものは原子炉建物(105,0001)であるが, 敷地全体をE . L . E

原子沪建物の工事ならびに重量機器組立のため高さ125 m, 約揚1251のメーンデリックを原子炉建物の原側中央に接して設けると共に、4基の三脚デリック(シビル・デリック)を同建物の四隅に設け、その附近に圧力容器組立上家、碘交換器組立工場(SRU Workshop)等を設けた。その他工事用変電所、給水設備、コンクリート製造工場、溶接教育訓練所、焼鈍炉、各社事務所、倉庫、作業場、材料償場等を仮設道路に沿って主として北側および原側に配置している。

なお倉庫類は工事中収容品の内容に応じ一部改造の上転用をはかり、永久重物の一部早期完成により工事用建物として利用し、仮設道路を永久道路へ転用する等費用の節減をはかつた。

工事記録より抜粋

東海発電所の原子炉建屋基礎構造はケーソン基礎で岩着させており、当初ケーソン基礎下端を基礎下端標高と考えていたが、工事記録の調査によって、掘削はE.L.+1.6mまでオープンカットされ、ケーソン基礎は沈設していることが判明したため、基礎下端標高を建屋躯体下端(E.L.+1.6m)に見直した。

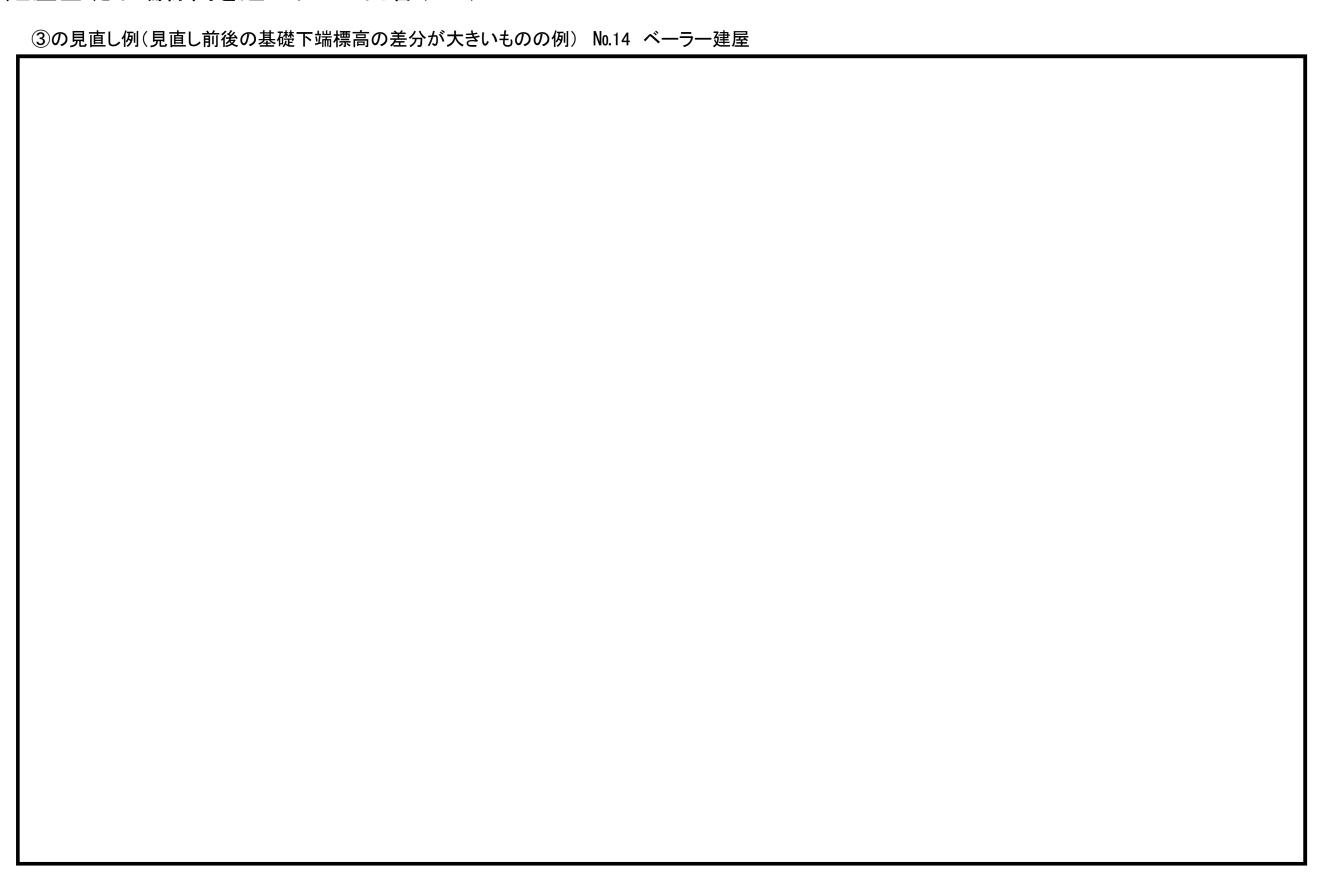
建屋基礎下端標高を適正化した内容(2/5)	
② の見直し例(No.50 固化処理建屋)	

建屋基礎下端標高を適正化した内容(3/5)

- 建屋基礎下端標高を適正化した内容③の考え方は以下のとおりである。
- ③ 同一規模の建屋との比較により基礎高さを1mと判断していたが、図面調査等により基礎高さを確認できたため、基礎下端標高を見直した。
- 以下に例示する建屋は、鉄筋コンクリート造の中規模建屋であるが、基礎高さは1mであり、これらの建屋と同程度又はこれ以下の規模の建屋を基礎高さ1mと判断した。
- 図面調査等の進捗により基礎高さが確認できたため、基礎下端標高を見直した。
- 見直し前後の基礎下端標高の差分が大きいものについては、地下室等が存在したもの、地下埋設物を避けるために深い位置に基礎を支持させていたもの等がある。

以下に例示する建屋は,基礎高さが1mであるため,これらの建屋との比較により他の建屋基礎高さを1mと判断した。

建屋基礎下端標高を適正化した内容(4/5)



建屋基礎下端標高を適正化した内容(5/5)

③の見直し例(基礎下端標高見直し後に標高を「一」とした建屋の例) No.53 地下タンク上屋(東) [※] ※No.53 地下タンク上屋(東), No.54 地下タンク上屋(西)は, No.52 放射性廃液処理建屋に増築された上屋である。(地下タンクは放射性廃液処理建屋内に設置されている	5)

<見直し前>

40.07	1			構造	物諸元				影響評価	
三 図面	No	アクセスルート周辺構造物	建物 構造	高さ (m) H	アクセスルート	・アクセスルート 幅(m)W	評価方法	判定値:L-H 正の数:干渉なし	判定値: L+W-H 5m以上:影響なし	判定
		機械工作室用ボンベ庫	5	2.5	29.7	7. 5		27.2	34. 7	A
		監視所	RC	4.6	2. 2	7. 5		-2.4	5. 1	A
		消防自動車車庫	S	5.0	7. 9	10.0		2.9	12.9	A
		H202ポンベ庫	S	4.4	24.6	7. 5		20.2	27. 7	A
	5	機械工作室	S	10.3	33.2	7. 5	損壊による影響範囲	22.9	30. 4	A
		屋内開閉所	5	16.8	8. 3	10.0	をHとして評価	-8.5	1.5	В
	7	パトロール車車庫	S	6.0	3. 0	10.0		-3.0	7. 0	A
	8	H2C02ガスボンベ貯蔵庫	S	5.5	14.3	10.0		8.8	18.8	A
	9	主発電機用ガスボンベ庫	S	4.5	26.1	10.0	l'	21.6	31. 6	A
	10	タービン建屋	RC	32.5	39.2	10.0		6.8	16.8	A
	11	原子炉達屋	RC		## I	355	耐震評価により損壊 しないことを確認	*	3 5 3	A
			S	130		100	W .	5		A ³⁶ 1
	35.53	to consume	Yes	2000023	31.4 (東側)	7. 5		16.7	24. 2	A
	12	サービス達屋	RC	14.7	0.0 (南側)	5. 0		-14.7	-9.7	C M2
	13	水電解装置進屋	RC	8.2	8. 2	10.2		0.0	10. 2	A
第2.5図		ベーラー連星	RC	6.0	6. 0	5. 0	損壊による影響範囲	0.0	5. 0	A
		サンプルタンク室 (R/W)	S	9.9	0.0	5. 0	をHとして評価	-9.9	-4.9	
	10	ヘパフィルター室	P.C	5.7	1.4(東側)	6, 2		-4.3	1.9	A ^{M7}
	10	ヘハフィルター宝	RC	0.1	3.2 (南側)	5. 0	1	-2.5	2. 5	A 1863
	17	マイクロ無線機室	5	3.6	3. 6	5, 5		0.0	5. 5	A
	18	モルタル混練遠屋	5	14.9	12.4	5. 5		-2.5	3.0	B
	19	察案物処理達嚴	RC		211	2072	耐震評価により損壊 しないことを確認	ā	4 2 -	A
	1		5	:50	. 	1.7				A **1
	20	排気塔モニター室	RC	4.0	11.7	10.2		7.8	18.0	A
	21	機器搬入口建屋	5	8.4	7. 5	10.0	1	-0.9	9.1	A
	22	地下排水上屋 (東西)	RC	2.9	14.1	10.0	損譲による影響範囲	11.2	21.2	A
		C02ポンベ室	5	4.9	5. 9	10.0	をHとして評価	1.1	11.1	A
	24	チェックポイント	RC	11.4	11.4	10.0		0.0	10.0	A
	25	サービス建屋~チェックポイント歩道上屋	S	2.0	0.0	10.0			3.00	A 284
	26	サービス建屋ボンベ室	S	3.2	2.3	5. 0		-0.9	4.2	C _{M3}

【判定】 ____:「A」通行性に影響がない構造物(耐震性があるため損壊しない、がれきがルートに干渉しない、

がれきがルートに干渉するがルートの必要幅が確保可能, 設備の移設等の対策を実施)

| : 「B」がれき撤去によりアクセスルートを確保する構造物 (車両通行のみの場合はがれき撤去不要な構造物も含む)

:「C」がれき発生時は別ルートを通行する構造物

: がれき発生時は重機によるがれき撤去は行わずに人力でがれき上にホース等を敷設する構造物

※1: 脱落及び損傷しないこととすることにより、通行性を確保(参考資料-2参照)

※2: 当該構造物近傍のルートは、放水砲設置時にだけ使用するルートであるため、がれき影響がある場合は、他のルートによりがれき影響がない箇所に放水砲を設置する

※3: 当該箇所は人力でホースを敷設する範囲のため、1.4m以上のルート幅が確保できればホース敷設作業に影響はない。

※4:対策を実施することで通行性を確保(第8図参照)

参照	No			構造	物諸元	アクセスルート			影響評価	
図面	No	アクセスルート周辺構造物	達物構造	高さ (m) H	アクセスルート 対象距離 (m) L	幅 (m) W	評価方法	判定値:L-H 正の数:干渉なし	判定値: L + W - H 5m以上: 影響なし	判定
	27	所内ポイラー用ポンペ庫	5	2.5	33.1	7.5		30.6	38.1	A
	28	推壁①	5	3.6	1. 5	7.5]	-2.1	5.4	A
第2.5図	29	別館	RC	9.4	19. 5	7.5	1	10.1	17.6	A
	30	PR第二電気室	RC	4.3	18. 5	7.5		14.2	21.7	A
	31	給水処理建屋	S	9.0	35.1	7.5	1	26.2	33.7	A
		固体痉挛物貯蔵庫A棟	RC	5.9	2. 5	7.5	1	-3.4	4.1	C
		固体廃棄物貯蔵庫B棟	RC	10.6	3. 6	10. 5	i	-7.0	3. 5	C
		給水加熱器保管庫	RC	9.4	6. 2	15. 0	1	-3.2	11.8	A
		取水口電気室	RC	4.0	18.3	7.5	1	14.3	21.8	A
		屋外第二種気室	5	5.5	3. 1	7.5		-2.4	5. 1	A
第3,6図	37	補修装置等保管倉庫	S	10.0	2.9	10. 2		-7.1	3.1	В
35° 0 [2]		プロパンガスボンベ室	S	7.3	1.5	10.0		-5.8	4.2	В
	39	機材倉庫	S	9.8	2. 7	10. 2		-7.1	3.1	В
		No. 1保修用油倉庫	S	4.9	20.2	10. 2		15.3	25.5	A
	41	No. 2保修用油倉庫	5	4.9	20.2	10. 2		15.3	25.5	A
	42	固体廃棄物作業速量	RC	20.7	0 (東側)	9.0		-20.7	-11.7	С
	3737		2.5	- F700	0 (南側)	9.0	損壊による影響範囲	-20.7	-11. 7	C
		緊急時対策室達屋	RC	13.8	0. 9	7.5	をHとして評価	-12.9	-5.4	C
		事 務本館	RC	28.2	20.5	7.5		-7.7	-0.2	C
		原子炉建屋(東海発電所)	RC	61.0	80. 3	5.0		19.3	24.3	A
		タービンホール (東海発電所)	S	23.8	20. 9	7.5		-3.0	4.6	
		サービス建屋(東海発電所)	RC+S	9.9	1.9	9.0		-8.0	1.0	В
		燃料倉庫	S	12.4	11. 2	10.0	4	-1.2	8.8	A
		工具倉庫	5	2.9	11. 2	10.0		8. 3	18.3	A
	50	固化処理達量	RC	9.0	10.8	8. 7		1.8	10.5	A
第4.7図	51	サイトバンカー建屋	S	9.9	6.3 (北側) 0.0 (東側)	9.0		-3, 6 -9 9	5. 4 3. 8	B
	52	放射性廢液処理施設	5	9.4	20, 7	10.0	1	11.3	21.3	A
		地下ダンク上屋(東)	S	4.0	20, 7	10.0	1	16.7	26.7	A
		地下タンク上屋(西)	5	6.7	20. 7	10.0	1	14.0	24.0	A
		使用済燃料貯蔵施設	5	21.7	45. 1	10.0		23.4	33.4	A
		レベンカー	S	16.6	57. 9	10.0		41.3	51.3	A
	57	黒鉛スリーブ貯蔵庫	5	15.0	28. 7	10.0		13.7	23.7	A
		燃料スプリッタ貯蔵庫	S	15.0	22. 3	10.0		7. 3	17.3	A
	59	低放射性固体廃棄物語ドラム貯蔵庫	5	5.5	42. 1	10.0		36.6	46.6	A

【判定】 $= : \lceil A \rfloor$ 通行性に影響がない構造物(耐震性があるため損壊しない、がれきがルートに干渉しない、

がれきがルートに干渉するがルートの必要幅が確保可能、設備の移設等の対策を実施)

: 「B」がれき撤去によりアクセスルートを確保する構造物(車両通行のみの場合はがれき撤去不要な構造物も含む)

:「C」がれき発生時は別ルートを通行する構造物

: がれき発生時は重機によるがれき撤去は行わずに人力でがれき上にホース等を敷設する構造物

※対策を実施することで通行性を確保(第9図参照)

<見直し後>

				-	物諸元				影響評価	
参照図面	No	アクセスルート周辺構造物	建物	高さ	アクセスルート	アクセスルート 幅 (m) W	評価方法	判定値:L-H	判定値: L+W-H	
区田			構造	(m) H	対象距離 (m) L	VB (m) W		正の数:干渉なし	5m以上:影響なし	判定
	1	機械工作室用ボンベ庫	S	2.5	29.7	7.5		27.2	34. 7	Α
		監視所	RC	4.6	2. 2	7.5		-2.4	5.1	А
	3	消防自動車車庫	S	5.0	7. 9	10.0		2. 9	12. 9	A
	4	H202ボンベ庫	S	4.4	24.6	7.5		20.2	27. 7	A
	5	機械工作室	S	10.3	33. 2	7.5	損壊による影響範囲	22.9	30. 4	Α
	6	屋内開閉所	S	16.8	8. 3	10.0	をHとして評価	-8.5	1.5	В
		パトロール車車庫	S	6.0	3.0	10.0		-3.0	7.0	A
		H2C02ガスボンベ貯蔵庫	S	5. 5	14. 3	10.0		8. 8	18. 8	A
	_	主発電機用ガスボンベ庫	S	4.5	26. 1	10.0		21.6	31. 6	A
	10	タービン建屋	RC	32.5	39. 2	10.0		6.8	16. 8	Α
	11	原子炉建屋	RC	ı	-	-	耐震評価により損壊 しないことを確認	-	-	A
			S	-	-	-		-	-	A *1
	12	サービス建屋	RC	14.7	@ 1.1. — 1.1		/ I > ~ ~ / / / / / / / / / / / / / / / / /	+	24. 2	A C **2
	13	3 水電解装置建屋		8. 2	(1)地 卜科	『水上屋	付近西側排	接続 ロの	10, 2	A
第2,5図		ベーラー建屋	RC RC	6, 0		· ·			5, 0	A
	15	サンプルタンク室 (R/W)	S	9, 9	設計消	捗反映			-4. 9	_
	16	ヘパフィルター室	RC	5. 7	A, 11.1.			9.5	1. 9 2. 5	A*3
		- 2 h - 4m (ch kilo ri-	-	0.0	3.2 (南側)	5. 0		-2.5		A*3
		マイクロ無線機室	S	3.6	3. 6	5. 5		0.0	5. 5	A
	18	モルタル混練建屋	S	14.9	12. 4	5. 5	TI # 27 (m to 1) to 10 (m	-2.5	3.0	В
	19	廃棄物処理建屋	RC		-	-	耐震評価により損壊 しないことを確認	-	=	Α
			S	-	-	-		-	-	A*1
	-	排気塔モニター室	RC	4.0	11. 7	10. 2		7.8	18. 0	A
		機器搬入口建屋	S	8.4	7. 5	10.0		-0.9	9.1	Α
1	-	地下排水上屋 (東西)	RC	2.9	4. 0	10.0	損壊による影響範囲	1. 1	11. 1	Α
1	23	C02ボンベ室	S	4.9	5. 9	10.0	をHとして評価	1. 1	11. 1	Α
1	-	チェックポイント	RC	11.4	11.4	10.0		0.0	10.0	A
	_	サービス建屋~チェックポイント歩道上屋	S	2.0	0.0	10.0		-	=	A*4
	26	サービス建屋ボンベ室	S	3.2	2. 3	5.0		-0.9	4.2	C **2

【判定】 ____:「A」通行性に影響がない構造物(耐震性があるため損壊しない,がれきがルートに干渉しない,

がれきがルートに干渉するがルートの必要幅が確保可能, 設備の移設等の対策を実施)

: 「B」がれき撤去によりアクセスルートを確保する構造物(車両通行のみの場合はがれき撤去不要な構造物も含む)

:「C」がれき発生時は別ルートを通行する構造物

: がれき発生時は重機によるがれき撤去は行わずに人力でがれき上にホース等を敷設する構造物

※1: 脱落及び損傷しないこととすることにより、通行性を確保 (参考資料-2 参照) ※2: 当該構造物近傍のルートは、放水砲設置時にだけ使用するルートであるため、がれき影響がある場合は、他のルートによりがれき影響がない箇所に放水砲を設置する ※3: 当該箇所は人力でホースを敷設する範囲のため、1.4m以上のルート幅が確保できればホース敷設作業に影響はない

※4:対策を実施することで通行性を確保(第8図参照)

							•				
参照					構造	物諸元	アクセスルート			影響評価	
図面	No	アクセス	ルート周辺構造物	建物構造	高さ (m) H	アクセスルート 対象距離 (m) L	幅 (m) W	評価方法	判定値: L - H 正の数: 干渉なし	判定値: L+W-H 5m以上:影響なし	判定
	27	所内ボイラー用ボン	/ベ庫	S	2.5	33.1	7.5		30.6	38. 1	А
	28	擁壁①		RC	3.6	1. 5	7.5		-2.1	5.4	А
第2,5図	29	別館		RC	9.4	19. 5	7.5	İ	10.1	17. 6	Α
	30	PR第二電気室		RC	4.3	18. 5	7. 5	1	14.2	21. 7	А
	31	給水処理建屋		S	9.0	35. 1	7.5	1	26. 2	33. 7	А
	32	固体廃棄物貯蔵庫A	棟	RC	5. 9	2. 5		•			С
	33	固体廃棄物貯蔵庫B	棟	RC	10.6	3. 6	②市海:	必 電記性1	田区はより	⋭ ⋹ । ⊁₋	С
	34	給水加熱器保管庫		RC	9.4	6. 2	少果冲:	発電所管理	生兦墺とタ	う應しに	А
	35	取水口電気室		RC	4.0	18.3		1 = ~==.=1	<u> </u>		A
	36	屋外第二電気室		S	5. 5	3. 1	ノレーロ	ト幅の設計	谁物反既	L	Α
第3,6図	37	補修装置等保管倉庫				2. 9	•			`	В
214-7-1	38	プロパンガスボン〜		. По	11/3	1.5	10.0		-5.8	4. 2	В
	39	機材倉庫	③CAD読 <i>a</i>	ナ以	り担り	2. 7	10. 2		-7.1	3. 1	В
	40	No.1保修用油倉庫	修用油倉庫			20. 2	10.		15.0	05.5	
	41	No. 2保修用油倉庫	精緻化			20.2	10.	八工 七斤 白十小十	田丛成蚕	#無き士じ二 /	-
	42	固体廃棄物作業建園	11119210			(東側)	$\frac{9}{9}$ $\frac{9}{5}$	/15/12/11年	凹冲兇果	物詰ドラム	\ -
	43	緊急時対策室建屋		RC	13.8	0.9	7.	04 ** c + ++		MINI I	-
<u> </u>	43	(RC	28. 2	20.5	7.	貯蔵厘果	側り脚堤	沿いルート	`
小人米石	上	NEW	電所)	RC	61. 0	80, 3	-	****			
ノリンダメ	ᄴ		[海発電所]	8	23.8	20. 9	7.	の設計進	掰 反 映		
=- +6	<u>_</u>	մ± <i>Δτ.</i> Ε. / I .	発電所)	RC+S	9. 9	1.9	9.	42 HX H I X	12 12 1		1
記述	7	精緻化		S	12.4	11. 2	10. 0	1	-1.2	8.8	A
HO -174	_	1134901		S	2.9	11. 2	10.0		8.3	18. 3	Α
	50	固化処理建屋		RC	9.0	10.8	8.7	/	1.8	10. 5	Α
第4,7図	51	サイトバンカー建屋	2	S	9. 3	6.3 (北側)	9.0	/	-3, 6	5. 4	B **2
,						7.0 (東側)	6. 7	/	-2.9	3.8	В
	52	放射性廃液処理施設		S	9.4	20. 7	10.0	/	11.3	21. 3	A
	53	地下タンク上屋(東		S	4.0	20. 7	10.0	-	16.7	26. 7	A
	54 55	地下タンク上屋(西 使用済燃料貯蔵施設	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	S	6.7	20. 7 45. 1	10.0	/	14. 0 23. 4	24. 0 33. 4	A
	56	使用資燃料貯廠施設 Hバンカー	3	S.	16, 6	45. 1 44. 0	10.0	+ /	23. 4	33. 4 37. 4	A
	57	黒鉛スリーブ貯蔵庫	T.	37	15. 1	28. 7	10.0	/	13.6	23. 6	A A
	101	ポペダロ ハ ソ ・ ノ 沢丁胤									$I\Lambda$
	58	燃料スプリッタ貯蔵					 	Ĺ			А
	58 59	燃料スプリッタ貯蔵 低放射性固体廃棄物	支庫	S	15. 1	22. 3 42. 1	10.0	f	7. 2 36. 6	17. 2 44. 6	A A

【判定】 : 「A」通行性に影響がない構造物(耐震性があるため損壊しない、がれきがルートに干渉しない、

がれきがルートに干渉するがルートの必要幅が確保可能, 設備の移設等の対策を実施)

: 「B」がれき撤去によりアクセスルートを確保する構造物(車両通行のみの場合はがれき撤去不要な構造物も含む): 「C」がれき発生時は別ルートを通行する構造物

: がれき発生時は重機によるがれき撤去は行わずに人力でがれき上にホース等を敷設する構造物 ※1:対策を実施することで通行性を確保(第9図参照)

※2:廃棄物処理建屋の地山と埋め戻し部との境界部の段差発生のため、ルート幅をがれき撤去により確保

<見直し前>

±255				構造	物路元	アクセスルート			影響評価	
国面	No	アクセスルート周辺構造物	建物構造	高台(風) H	アクセスルート 対象距離 (m) L	福 (m) W	評価方法	判定値: L-H 正の数:干渉なし	利定値: L + W - H 5m以上:影響なし	判定
	60	保修機材倉庫	S	5.5	31.1	8.0		25. 6	33. 6	A
	61	ボーリングコア倉庫	S	3.3	72.3	10.0] 1	69.0	79. 0	A
	62	ランドリー建屋	RC	4.1	14.7	8. 0]	10.6	18. 6	A
	63	再利用物品置場テントNo. 4	- 1	6.4	8.1	8.0] 1	1.7	9. 7	A
	64	再利用物品置場テントNo.5	-	6.2	15.3	8.0]	9.1	17. 1	A
	65	再利用物品置場テントNo.6	-	6.3	22.6	8. 0		16.3	24. 3	A
		ボイラー上屋	5	6.9	37. 4	8.0		30.5	38. 5	A
	67	使用资燃料乾式貯蔵建屋	RC	22.0	23.0	10.0	損壊による影響範囲	1.0	11. 0	A
	68	非常用ディーゼルポンプ室	RC	5.2	4.8	7.5	技術による影響範囲 をHとして評価	-0.4	7.1	A
第4.7回	59	C. W. P制御盤室	S	4.0	33. 1	7.5	SUCCINE	29.1	36. 6	A
	70	油倉庫	S	7.0	16.9	5.0]	9.9	14. 9	A
	71	配理設備室	RC	3.2	39. 2	5.0]	36.0	41.0	A
	72	水処理倉庫	5	2.8	40.8	7.5]	38.0	45. 5	A
	73	資料2号倉庫	. 5	5.6	18.0	5.0	1 1	12.4	17. 4	A
	74	資料5号倉庫	5	5.5	16.8	8.0		11.3	19. 3	A
	75	資料4号倉庫	S	7.2	5.6	8. 0		-1.6	6.4	A
	76	擁壁②	RC	3.0	1.5	7, 5	1	-1.5	6.0	A
	77	常設代替高圧電源装置	RC	151	=:	:=	耐震評価により損壊 しないことを確認	95		A
	78	排水処理遺屋	RC	9.5	52, 6	7.5		43.1	50. 6	A
	79	送水ポンプ室	RC	2.8	28.0	7.0		25. 2	32. 2	A
第2.5図	80	受水槽量水器小屋	\$	2.5	40.1	7. 5		37.6	45, 1	A
	81	加圧式空気圧縮機小屋	\$	3.5	57. 5	7.0	損壊による影響範囲	54.0	61. 0	A
	82	飲料水ポンプ室	S	2.5	42.8	7.0		40.3	47. 3	A
	83	空気圧縮機室	S	6.0	57.9	8.0	をHとして評価	51.9	59. 9	A
第4.7四	84	ホットワークショップ	S	12.5	41.5	8.0		29.0	37. 0	A
#1. (E)	85	屋外タンク上屋	\$	6.5	39. 0	8.0		32.5	40. 5	A
	86	飲料水次亜鉛減苗装置室	RC	3.3	55. 6	7. 5		52.3	59, 8	A
		緊急時対策所建星	RC	120	발이	22	耐震評価により損壊 しないことを確認	14	-	A
第1図	88	原子力館	RC	16.2	91.7	10.0		75.5	85. 5	A
		正門監視所	RC	4.0	60.3	10.0	損壊による影響範囲	56.3	66. 3	A
	90	放管センター	S	8.1	83.3	10.0	をHとして評価	75.2	85. 2	A

【判定】 ____: 「A」通行性に影響がない構造物(耐震性があるため損壊しない,がれきがルートに干渉しない,

がれきがルートに干渉するがルートの必要幅が確保可能, 設備の移設等の対策を実施)

: 「B」がれき撤去によりアクセスルートを確保する構造物(車両通行のみの場合はがれき撤去不要な構造物も含む): 「C」がれき発生時は別ルートを通行する構造物: がれき発生時は重機によるがれき撤去は行わずに人力でがれき上にホース等を敷設する構造物

参照			1	* 造物踏 元	アクセスルート幅			影響評価	
図面	No	アクセスルート周辺構造物	高さ (m) H	アクセスルート 対象距離 (m) L	(m) W	評価方法	判定値: L-H 正の数: 干渉なし	判定値:L+W-H 5m以上:影響なし	判定
	A	275kV送電鉄塔(No.1)	57.5	56. 0	10.0	損壊による影響範囲 をHとして評価	-1.5	8. 5	A
第1図	В	154kV·66kV送電鉄塔 (No.6)	42.9		858	送電線の影響を別途	1.00	155	-
	С	154kV・66kV送電鉄塔 (No.7)	42.9	· **:	140	評価	1 4	1961	-
	D	154kV・66kV送電鉄塔(No.8)	32.6	32.3	8. 0	MIENS:	-0.3	7. 7	А
	E	多目的タンク	13.3	10.8	7. 5		-2.5	5.0	A
	F	絶水貯蔵タンク	10.0	19. 1	7. 0		9.1	16.1	A
	G	る過水貯蔵タンク	13.3	25.6	7. 0		12.4	19. 4	A
	H	原水タンク	10.7	30.9	7. 0		20.3	27.3	A
	I	溶融炉苛性ソーダタンク	2. 1	0.0	9. 0	to serve to a second men	-2.1	6. 9	A #2
	J	溶融炉アンモニアタンク	1.4	0.0	9. 0	損譲による影響範囲 をHとして評価	-1.4	7. 6	A **2
## 0 E F7	K	主変圧器	10.0	12.3	10.0	で口てして計画	2.3	12.3	A
第2.5图 —	L	所內定圧器	5. 4	25. 3	10.0	1	19. 9	29. 9	A
	M	起動変圧器	7. 4	28.9	7. 5	1	21.5	29. 0	A
	N	予備変圧器	6.0	6.0	5. 0		0.0	5. 1	A
	0	廃棄物処理建屋 換気空調ダクト	7.6	0.0	5. 5				-
	P	主排気ダクト	26.4	0.0	5.0		12		C*1
	Q	排気筒	-	-	770	耐震評価により損壊 しないことを確認	=	-	A
	R	排気筒 (東海発電所)	89.7	99. 6	5. 0		9.9	14.9	A
	S	No. 1所内トランスN2タンク	2. 7	12.5	7. 5		9.8	17.3	A
第4.7回	I	No. 1主トランスN2タンク	4.5	11. 9	7. 5	Local Company	7.4	14. 9	A
77.10	U	No. 2主トランスN2タンク	4.5	11.9	7. 5	損害による影響範囲	7.4	14.9	A
	V	No. 2所内トランスN2タンク	2. 7	12.5	7. 5	をHとして評価	9.8	17.3	A
	W	600t絶水タンク	9. 0	27. 5	7. 5		18. 5	26_0	A
ATT 0 - 1773	X	154kV引留鉄樽	16.50	4. 0	7. 0		-12.5	-5. 5	A × Z
第2.5図	Y	崩壊土砂①	3.00	1.50	7. 50	斜面高さの2倍を影	-4.5	3.00 ***	В
第4.7図	Z	崩壊土砂②	3. 00	1.50	7. 50	響範囲として評価	-4.5	3.00***	С
第3.6図	4.8	側方流動		91.0	7.50 (西側)	水際線から100mの範囲を影響範囲として	-9.0	-1.5	С
250,0E	AA	180 J7 (PL %)		91.0	20.0 (南西側 ^{※4})	四を影響範囲として	-9.0	11.0	A

【判定】 : 「A」通行性に影響がない構造物(耐震性があるため損壊しない,がれきがルートに干渉しない,

がれきがルートに干渉するがルートの必要幅が確保可能、設備の移設等の対策を実施)

:「B」がれき撤去によりアクセスルートを確保する構造物(車両通行のみの場合はがれき撤去不要な構造物も含む) :「C」がれき発生時は別ルートを通行する構造物

: がれき発生時は重機によるがれき撤去は行わずに人力でがれき上にホース等を敷設する構造物

※1: 当該構造物近傍のルートは、放水砲設置時にだけ使用するルートであるため、がれき影響がある場合はがれき影響がない箇所に放水砲を設置する ※2: 対策を実施することで通行性を確保(第 9, 10 図参照) ※3: L+W-2 H (斜面高さの 2 倍) で計算 ※4: 側方流動の影響評価範囲外 (道路交差部)

<見直し後>

参照				構造	物諸元	アクセスルート			影響評価	
図面	No	アクセスルート周辺構造物	建物 構造	高さ (m) H	アクセスルート 対象距離 (m) L	幅 (m) W	評価方法	判定値: L-H 正の数:干渉なし	判定値:L+W-H 5m以上:影響なし	判定
		保修機材倉庫	S	5.5	31.1	8. 0	_	25.6	33.6	Α
		ボーリングコア倉庫	S	3.3	72.3	10.0		69.0	79. 0	A
		ランドリー建屋	RC	4.1	14. 7	8.0		10.6	18.6	A
		再利用物品置場テントNo.4	-	6.4	8. 1	8.0]	1. 7	9. 7	A
	64	再利用物品置場テントNo.5	-	6.2	15.3	8.0]	9. 1	17.1	A
		再利用物品置場テントNo.6	-	6.3	22.6	8.0]	16.3	24. 3	A
		ボイラー上屋	S	6.9	37.4	8.0		30.5	38. 5	A
		使用済燃料乾式貯蔵建屋	RC	22.0	23.0	10.0	損壊による影響範囲	1.0	11.0	A
	68	非常用ディーゼルポンプ室	RC	5.2	4.8	7. 5	根象による影響駆曲 をHとして評価	-0.4	7. 1	Α
第4,7図	69	C. W. P制御盤室	S	4.0	33.1	7. 5	ZIIC C CHTIM	29. 1	36.6	Α
	70	油倉庫	S	7.0	16.9	5.0		9. 9	14.9	Α
	71	配電設備室	RC	3.2	39. 2	5. 0		36.0	41.0	Α
	72	水処理倉庫	S	2.8	40.8	7. 5		38.0	45. 5	A
	73	資料2号倉庫	S	5.6	18.0	5. 0		12.4	17.4	A
	74	資料5号倉庫	S	5.5	16.8	8.0		11.3	19.3	A
	75	資料4号倉庫	S	7.2	5. 6	8.0		-1.6	6.4	Α
	76	擁壁②	RC	3.0	1.5	7.5		-1.5	6. 0	Α
	77	常設代替高圧電源装置	RC	=	=	=	耐震評価により損壊 しないことを確認	=	=	А
	78	排水処理建屋	RC	9.5	52.6	7.5		43.1	50.6	A
	79	送水ポンプ室	RC	2.8	28.0	7.0	1	25. 2	32.2	А
第2,5図	80	受水槽量水器小屋	S	2.5	40.1	7.5		37.6	45.1	А
	81	加圧式空気圧縮機小屋	S	3.5	57.5	7.0	10 (de) = 1. = 0. HZ 900 000	54.0	61.0	А
	82	飲料水ポンプ室	S	2.5	42.8	7.0	損壊による影響範囲 をHとして評価	40.3	47.3	A
	83	空気圧縮機室	S	6.0	57.9	8.0	を口として計画	51.9	59.9	A
第4,7図	84	ホットワークショップ	S	12. 5	41.5	8.0	Ī	29.0	37.0	А
弗4, (凶	85	屋外タンク上屋	S	6.5	39.0	8.0		32.5	40.5	A
	86	飲料水次亜鉛滅菌装置室	RC	3.3	55.6	7.5		52.3	59.8	А
	87	緊急時対策所建屋	RC	=	-	=	耐震評価により損壊しないことを確認	=	-	А
第1図	88	原子力館	RC	16. 2	91.7	10.0	世界によって日く細いか四	75. 5	85.5	A
	89	正門監視所	RC	4.0	60.3	10.0	損壊による影響範囲 をHとして評価	56.3	66.3	А
İ	90	放管センター	S	8 1	83 3	10.0	Tで11C して計1M	75. 2	85.2	А

【判定】 □ :「A」通行性に影響がない構造物(耐震性があるため損壊しない,がれきがルートに干渉しない, がルートに干渉するがルートの必要幅が確保可能,設備の移設等の対策を実施)

⑥275kV送電鉄塔影響範囲 回避によるルート幅の 設計進捗反映

准保する構造物(車両通行のみの場合はがれき撤去不要な構造物も含む)

冓造物 わずに人力でがれき上に

⑦154kV•66kV送電鉄塔(No.8) 東側ルート幅の設計進捗反映

						/			
参照			棹	造物諸元	アクセスルート幅	1		影響評価	
図面	No	アクセスルート周辺構造物	高さ	アクセスルー	(m) W	評価方法	判定値: L-H	判定値: L+W-H	判定
123 183			(m) H	対象距離 (m)	L (iii) "		正の数:干渉なし	5m以上:影響なし	刊足
	A	275kV送電鉄塔 (No.1)	57. 5	57. 5	10.0	損壊による影響範囲 をHとして評価	0.0	10.0	Α
第1図	В	154kV・66kV送電鉄塔 (No. 6)	42.9	-	- /	送電線の影響を別途	-	-	-
	С	154kV・66kV送電鉄塔 (No. 7)	42.9	-		評価	-	-	-
	D	154kV・66kV送電鉄塔 (No. 8)	32.6	32.3	7. 0		-0.3	6. 7	Α
	Е	多目的タンク	13.3	10.8	7. 5		-2. 5	5. 0	Α
	F	純水貯蔵タンク			7. 0		9. 1	16. 1	Α
	G	8予備変圧	哭稅	設先の	7. 0		12.4	19. 4	A
	Н	///// V V V	古口(2)	スノしマノ	7. 0		20.3	27. 3	A
	Ι	溶融炉苛性ソーダタンク 設計進捗	臣品		9. 0	損壊による影響範囲	-2.1	6.9	A **2
	J	溶融炉アンモニアタンク	火 吹		9. 0	- をHとして評価	-1.4	7.6	A **2
第2,5図	K	主変圧器			10.0	C11 C O C H I IIII	2.3	12. 3	A
7,72,0121	L	所内変圧器	5.4	25.3	10.0		19.9	29. 9	A
	M	起動変圧器	7.4	28.9	7. 5		21.5	29. 0	Α
	N	予備変圧器	6.0	7.4	7. 0		1.5	8. 5	Α
	0	廃棄物処理建屋 換気空調ダクト	7.6	0.0	5. 5		-	-	
	P	主排気ダクト	26.4	0.0	5. 0		-	-	C *1
	Q	排気筒	-	-		耐震評価により指懐			Α
	R	排気筒 (東海発電所)	89. 7	99.6	の ヱ雌	変圧器南	Ու լ և հն	5 A 9	Α
	S	No. 1所内トランスN2タンク	2.7	12. 5		炙冮砧闸	別ルーで	田 ()	A
66 . = F	Т	No. 1主トランスN2タンク	4.5	11. 9	=n=⊥	光作二吨		9	A
第4,7図	U	No. 2主トランスN2タンク	4. 5	11. 9	設計	進捗反映		9	A
	V	No. 2所内トランスN2タンク	2.7	12.5				3	Α
	W	600t純水タンク	9.0	27. 5	7.5	1	18.5	26, 0	А
第2,5図	Х	154kV引留鉄構	16.50	2.3	7.0		-14. 2	-7. 2	A*2
372, JA	Y	崩壊土砂①	3. 00	1.50	7. 50	斜面高さの2倍を影	-4.5	3. 00 ^{**3}	В
第4,7図	Z	崩壊土砂②	3.00	1.50	7. 50	響範囲として評価	-4.5	3. 00 ^{**3}	С
第3,6図	ДΔ	側方流動	_ /	91.0	7.50 (西側)	水際線から100mの範 囲を影響範囲として	-9.0	-1.5	С
,770, UZI	1111			1.0	20.0 (南西側※4)	評価	-9.0	11.0	A
		1015413721切外提表	Ail .		· ·				

⑩154kV引留鉄構南側 ルートの設計進捗反映

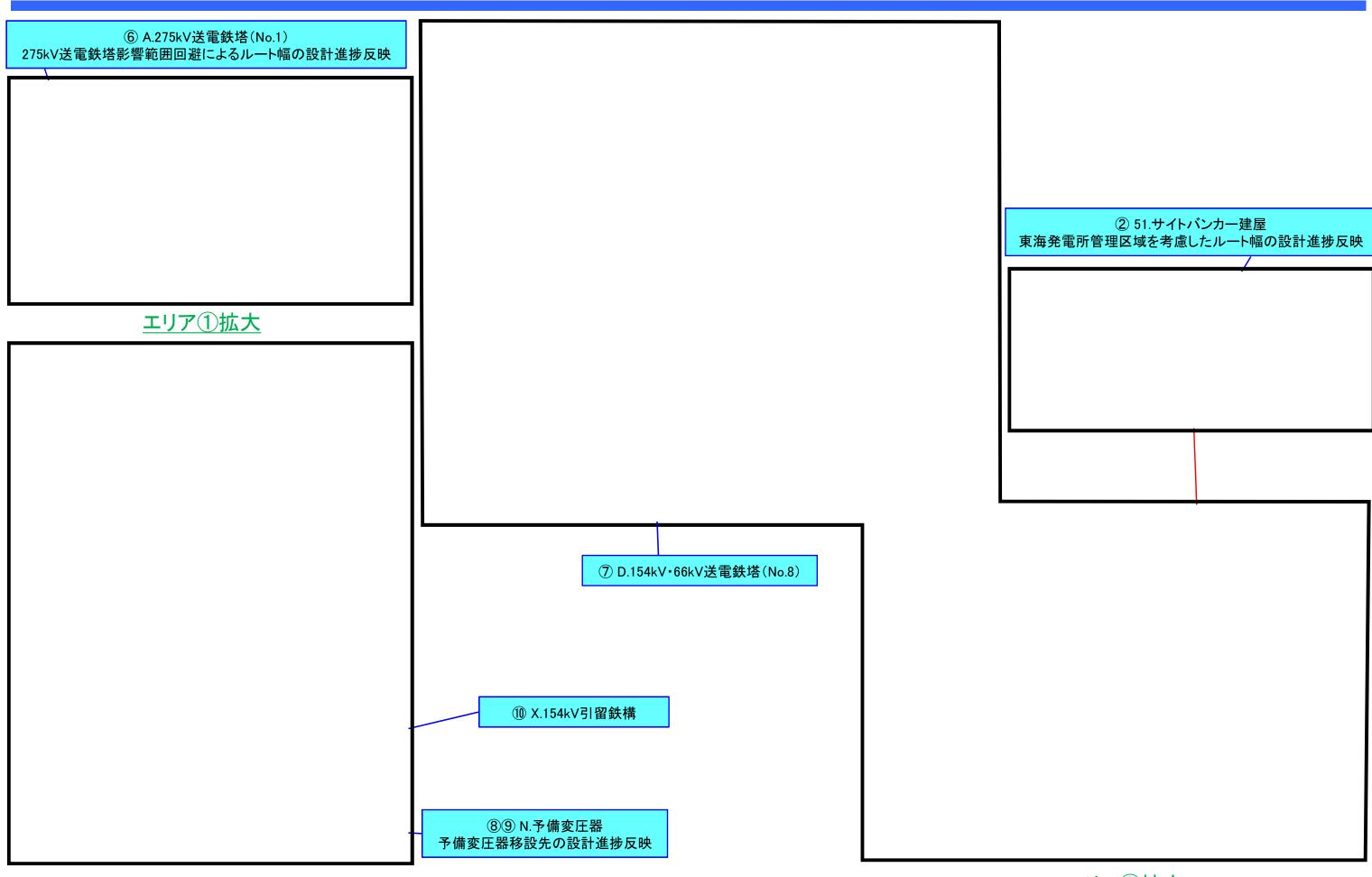
ため損壊しない、がれきがルートに干渉しない、

トに干渉するがルートの必要幅が確保可能, 設備の移設等の対策を実施)

る構造物(車両通行のみの場合はがれき撤去不要な構造物も含む)

: がれき発生時は重機によるがれき撤去は行わずに人力でがれき上にホース等を敷設する構造物

※1: 当該構造物近傍のルートは、放水砲設置時にだけ使用するルートであるため、がれき影響がある場合はがれき影響がない箇所に放水砲を設置する ※2:対策を実施することで通行性を確保(第9,10図参照) ※3:L+W-2H(斜面高さの2倍)で計算 ※4:側方流動の影響評価範囲外(道路交差部)



エリア②拡大

アクセスルートの沈下量の評価(地山と埋戻部の境界:建屋)の適正化に係る評価結果一覧

No.	名 称	路面高	基礎下端		掘削形式	ア	見 介 : 生 を	埋戻部の沈下量	1111	羊細評価結果	対策方針	借 考
	機械工作室用ボンベ庫	路 田 同	左傾 下	一 一	1年刊70年	_^	の影響の有無 無	(詳細評価要否)	(対策の要否)	刈泉刀町	·
2	監視所 消防自動車車庫	_	_	_	_ _	_	無無					
4	H202ボンベ庫	_			_	_	無					
	機械工作室	_	0	_ _	_ _		無無					
7	パトロール車車庫 H2CO2ガスボンベ貯蔵庫	_		_	_		無無					
9	主発電機用ガスボンベ庫	_			_	_	無					
	タービン建屋 原子炉建屋	_		_	_ _	_	無 → 有 有	■ (追加) 要 - 要		(追加) 否		
12	サービス建屋	_	0	_	_	_	無			П		
	水電解装置建屋 ベーラー建屋	_	0	_	_ _		無無					
	サンプルタンク室 (R/W) ヘパフィルター室	_	0		_ _	1	無無					
17	マイクロ無線機室	_		_	_	_	無					
19	モルタル混練建屋 増強廃棄物処理建屋	_	<u> </u>	<u> </u>	_ _		無 有	_ 要	_	否		
	排気筒モニター室 機器搬入口建屋	_		_	_	-	無無					
22	地下排水上屋(東西)	_	_		_	_	無					
	CO2ボンベ室 チェックポイント	_			_ _		無無					
25	サービス建屋〜チェックポイント歩道上屋 サービス建屋ボンベ室	<u> </u>	_	_	<u> </u>		無無					
27	所内ボイラー用ボンベ庫	_	_	_	_	_	無					
	<u>擁壁①</u> 別館	_	_	_	_	_	無無					
30	PR第二電気室 給水処理建屋				_	_	無無					
32	固体廃棄物貯蔵庫A棟	_		_	_	_	有	_ 否				
	固体廃棄物貯蔵庫B棟 給水加熱器保管庫	_ _	<u> </u>	_ _	_ _	_	有 無					
35	取水口電気室 屋外第二電気室	-		I	_	_	無	〇 (追加) 否				
37	補修装置等保管倉庫	_	0	<u> </u>	_	0	無 → 有 無	〇 (追加) 否				
	プロパンガスボンベ室 機材倉庫	_ _			_ _		無無					
40	No. 1保修用油倉庫	_	_		_	_	無					
	No. 2保修用油倉庫 固体廃棄物作業建屋	_	<u> </u>		_ _	-	無 有	- 否				
43	緊急時対策室建屋 事務本館	_	0		_	_	有	_ 否				
45	原子炉建屋(東海発電所)	_	0	_	_	_	無無					
$\frac{46}{47}$	タービンホール(東海発電所) サービス建屋(東海発電所)	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	_	_	無無					
48	燃料倉庫 工具倉庫	_		_	_		無					
50	固化処理建屋	_	0	_	_	_	無無					
	サイトバンカー建屋 放射性廃液処理施設	_ _	0	_	_ _	_	有 無	_ 否				
53	地下タンク上屋(東)	_	Ō	0	0	_	無					
	地下タンク上屋(西) 使用済燃料貯蔵施設	_			_ _	-	無無					
	Hバンカー 黒鉛スリーブ貯蔵庫	_	0	_	_ _		無					
58	燃料スプリッタ貯蔵庫	_	Ō	_	_	_	無無					
	低放射性固体廃棄物語ドラム貯蔵庫 保修機材倉庫	_	0		_ _		無無					
	ボーリングコア倉庫 ランドリー建屋	_			_	1 1	無無					
63	再利用物品置場テントNo.4	_			_	_	無					
	再利用物品置場テントNo.5 再利用物品置場テントNo.6	_		_	_	_	無無					
66	ボイラー上屋 使用済燃料乾式貯蔵建屋	_	_ O	_	_		無無					
68	非常用ディーゼルポンプ室	_	0	0	0		無					
	C. W. P制御盤室 油倉庫	<u> </u>	_	<u> </u>	<u> </u>	_	無無					
71	配電設備室 水処理倉庫	_	_	_	_ _	_	無無					
73	資料2号倉庫	_	_	_	_		無					
	資料5号倉庫 資料4号倉庫	_ _		_	<u> </u>		無無					
76	擁壁②	_	_	_	_	_	無					der =n, U = n ₩
	常設代替高圧電源装置排水処理建屋		-		<u> </u>	<u> </u>	無					新設施設※
79	送水ポンプ室 受水槽量水器小屋				_	_	無					
81	加圧式空気圧縮機小屋				_	_	無無					
82 83	飲料水ポンプ室 空気圧縮機室	_	_	_	_ _	_	無無					
84	ホットワークショップ 屋外タンク上屋	_	0	_	_	_	無					
86	飲料水次亜鉛滅菌装置室	_			_	_	無無					
	緊急時対策所建屋 原子力館	_	00	_	_ _	0	無					新設施設※
89	正門監視所	_			_		無					
90 A	放管センター 275kV送電鉄塔 (No. 1)	_	0	<u> </u>	_ _	_	無無					
	154kV · 66kV送電鉄塔(No. 6)				<u> </u>		無					
D	154kV・66kV送電鉄塔(No. 7) 154kV・66kV送電鉄塔(No. 8)				_	_	無無					
E F	多目的タンク 純水貯蔵タンク				_ _		無無					
G	ろ過水貯蔵タンク				_	_	無					
H I	原水タンク 溶融炉苛性ソーダタンク	-	=	-	<u> </u>		無無					
J K	溶融炉アンモニアタンク 主要変圧器	_	_ O	_	_		無無					
	所内変圧器	_	_		_	_	無					
M N	起動変圧器 予備変圧器	_ _	0		_ _	_	無無					
0	廃棄物処理建屋 換気空調ダクト 主排気ダクト	0	Ō	0	0	_	無(追加)無					
Q	排気筒	0	0	0	0	0	無					
	排気筒(東海発電所) No.1所内トランスN2タンク	0 –	0	0	0		無無					
T	No. 1主トランスN2タンク	_	_	_	_	_	無					
V	No. 2主トランスN2タンク No. 2所内トランスN2タンク	_	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	_	無無					
W	600t純水タンク 154kV引留鉄構	_ O	_ O	_ O	_ O	- C	無(追加)無					
Λ	10.147.1 田 於川县	U					(足加) 無					

■ : TAF誤りの水平展開により判明した適正化する箇所 : 沈下量が15cmを超える箇所 : 設計の進捗に伴い変更する箇所 : 変更なし : 変更なし : 新規制対応のための新設施設であり、設計において反映する。